

EPSON

取扱説明書

Home Projector

EH-QS100B

EH-QS100W

マニュアル中の表示の意味	6	HDMIケーブルでコンピューターと接続する	28
マニュアルの使い方と情報の探し方	7	USB機器を接続する	29
キーワードで検索する	7	USB機器のデータを投写する	29
しおりから直接ジャンプする	7	USB機器を接続する	29
必要なページだけ印刷する	7	USB機器を取り外す	30
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	8	メディアストリーミング端末を接続する	30
eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する	31	有線LANに接続する	32
有線LANに接続する	32	有線LANを設定する	32
有線LANを設定する	32	サイドカバーを取り付ける	34
プロジェクトの使用の前に	9	リモコンに電池を取り付ける	35
本機の特長	10	リモコンを操作する	36
高精細な大画面を、かんたんに省スペースで	10	プロジェクトの基本機能を使用する	37
かんたん設置	10	プロジェクトの電源を入れる	38
ホーム画面	39	プロジェクトの電源を切る	41
プロジェクトの各部名称と働き	11	日時を設定する	42
プロジェクトの各部名称 - 前面	11	メニューの言語を選択する	45
プロジェクトの各部名称 - 上面/側面	12	設置モードを変更する	46
プロジェクトの各部名称 - 底面	13	スクリーンタイプを設定する	48
プロジェクトの各部名称 - インターフェイス	14	映像の位置を調整する (スクリーン位置)	49
プロジェクトの各部名称 - 操作パネル	15	映像の高さを調整する	51
プロジェクトの各部名称 - リモコン	16	テストパターンを表示する	52
プロジェクトを準備する	18	ピントを調整する	53
プロジェクトの設置	19	映像の形状を補正する	54
プロジェクトの設置・取り付け	20	ウィザードを使って映像のゆがみを補正する	54
設置に関するご注意	21		
セーフティーワイヤーを取り付ける	23		
天吊り金具ELPMB22をお使いのとき	23		
天吊り金具ELPMB30をお使いのとき	24		
セッティングプレートELPMB75をお使いのとき	25		
プロジェクトを接続する	28		
HDMIケーブルでビデオ機器と接続する	28		

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	55	PC Freeの表示オプション	87
湾曲補正で映像のゆがみを補正する	58	コンテンツ再生モードで投写する	89
ポイント補正で映像のゆがみを補正する	60	コンテンツ再生モードに切り替える	89
映像の大きさを調整する	63	プレイリストを再生する	90
映像の位置を調整する（デジタルピクチャーシフト）	64	Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する	90
投写映像を切り替える	66	映像に効果を加える（エフェクト機能）	93
映像のアスペクト比を設定する	67	コンテンツ再生モードの制限事項	94
映像のアスペクト比を切り替える	67	映像を一時的に停止する	95
アスペクトモードの種類	67	プロジェクターの設定をメモリーに保存する	96
映像を最適化する（カラーモード）	69	セキュリティ機能	97
カラーモードを変更する	69	操作パネルのボタン操作を制限する	97
カラーモードの種類	69	ボタンロックを解除する	98
映像の光量を調整する	69	セキュリティケーブルを取り付ける	98
フレーム補間を設定する	71	セキュアHTTP	98
映像の色合いを調整する	73	メニューからWebサーバー証明書を設定する	99
色相、彩度、明度を調整する	73	サポートするWebサーバー証明書の一覧	100
ガンマを調整する	74	プロジェクターを監視および制御する	101
映像の解像感を調整する	76	Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する	102
明るさを設定する	78	Web Controlの画面一覧	103
映像の光量を調整する	78	Webブラウザで証明書を設定する	111
プロジェクターの便利な機能	80	ESC/VP21コマンドを使用する	112
HDMIリンク機能	81	ESC/VP21コマンドリスト	112
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	81	ケーブル配線	112
PC Free機能で投写する	83	PJLinkについて	113
サポートファイル形式	83	Crestron Connectedについて	114
PC Free使用時の注意事項	84	Crestron Connectedを設定する	114
PC Freeのスライドショーを開始する	85	Web API	116
PC Freeで動画を投写する	86	Web APIを有効にする	116

プロジェクターのイベントスケジュールを設定する	117
-------------------------------	-----

メニューの設定 **120**

プロジェクターメニューを操作する	121
------------------------	-----

ソフトキーボードを操作する	122
ソフトキーボードで入力可能な文字	122

映像調整メニュー	123
----------------	-----

信号入出力メニュー	126
-----------------	-----

設置メニュー	128
--------------	-----

表示メニュー	131
--------------	-----

動作メニュー	132
--------------	-----

管理メニュー	134
--------------	-----

ネットワークメニュー	136
------------------	-----

ネットワーク設定メニュー	136
ネットワーク設定 - 有線LANメニュー	137
ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー	137

メモリーメニュー	140
----------------	-----

節電メニュー	141
--------------	-----

初期・全体設定メニュー	142
-------------------	-----

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）	143
--------------------------------------	-----

USBメモリーを使って一括設定する	143
コンピューターを使って一括設定する	144
一括設定でエラーが発生したときは	145

プロジェクターをメンテナンスする **147**

プロジェクターのメンテナンス	148
----------------------	-----

投写窓を清掃する	149
----------------	-----

障害物検知センサーを清掃する	150
----------------------	-----

本機を清掃する	151
---------------	-----

エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	152
-----------------------------	-----

エアフィルターを清掃する	152
エアフィルターを交換する	154
吸気口を清掃する	156

液晶パネルの色ずれを補正する（液晶アライメント）	157
--------------------------------	-----

ファームウェアを更新する	159
--------------------	-----

USBストレージを使ってファームウェアを更新する	159
コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する	160

困ったときに **163**

トラブルの対処方法	164
-----------------	-----

インジケーターの見方	165
------------------	-----

映像や音声に関するトラブル	167
---------------------	-----

映像が表示されない	167
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される	168
Windowsのノートパソコンから映像を出力する	168
Macのノートパソコンから映像を出力する	168
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される	169
映像の一部が表示されない	169
映像がゆがむ	169
映像にノイズが入る、乱れる	170
映像がぼやける	170
映像の明るさや色合いが違う	171
映像に残像が残る（焼き付き）	171
音が出ない、小さい	171
映像と音声がずれる	172
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない	172
PC Freeで映像が投写できない	172

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル	173
電源が入らない、予期せず切れる	173
リモコンで操作できない	173
パスワードが入力できない	174
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される	174
コンテンツ再生モードに関するトラブル	175
ネットワークに関するトラブル	176
Webブラウザを使って設定を変更できない	176
HDMIリンクで操作できない	177

付録 178

オプション・消耗品一覧	179
スクリーン	179
設置用金具	179
外付けオプション	179
消耗品	179
スクリーンサイズと投写距離	180
対応解像度	181
本機仕様	182
接続端子	182
外形寸法図	183
Epson Projector Content Managerの対応機能	184
安全規格対応シンボルマークと説明	185
レーザー製品を安全にお使いいただくために	187
レーザー警告ラベル	187
用語解説	189
一般のご注意	191



使用限定について	191
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	191
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	191
JIS C 61000-3-2適合品	191
表記について	191
商標について	192
ご注意	192
著作権について	192

マニュアル中の表示の意味




安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【Esc】ボタン
[メニュー名/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [映像調整] メニューを選択する
▶▶	関連事項を記載しているページを示しています。
	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶▶ 関連項目

- 「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.7](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

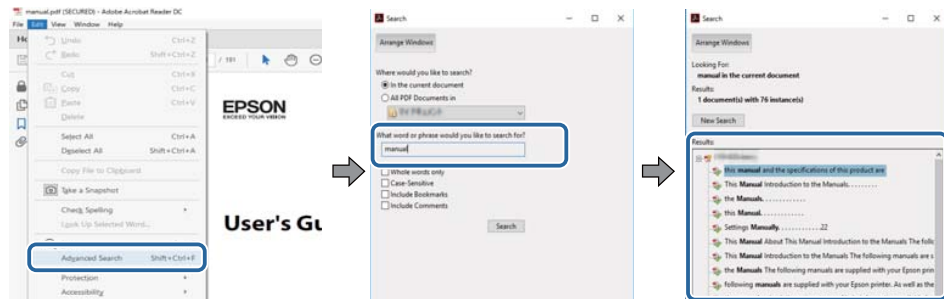
PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- 「キーワードで検索する」 p.7
- 「しおりから直接ジャンプする」 p.7
- 「必要なページだけ印刷する」 p.7

キーワードで検索する

[編集]メニューの[高度な検索]をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード(語句)を入力して、[検索]をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

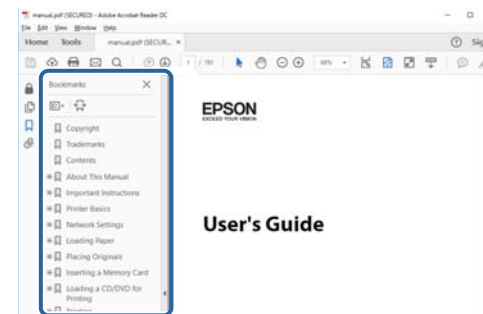


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。+または>をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows: [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

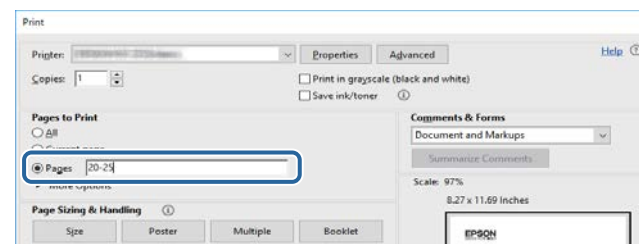
- Mac OS: commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル]メニューの[印刷]をクリックして、[印刷するページ]の[ページ指定]で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例: 20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例: 5,10,15



説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶▶ 関連項目

- 「本機の特長」 [p.10](#)
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)

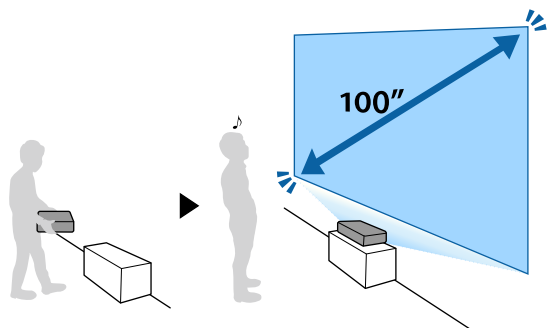
本機は、用途に合わせたさまざまな機能を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

▶▶ 関連項目

- 「高精細な大画面を、かんたんに省スペースで」 [p.10](#)
- 「かんたん設置」 [p.10](#)

高精細な大画面を、かんたんに省スペースで

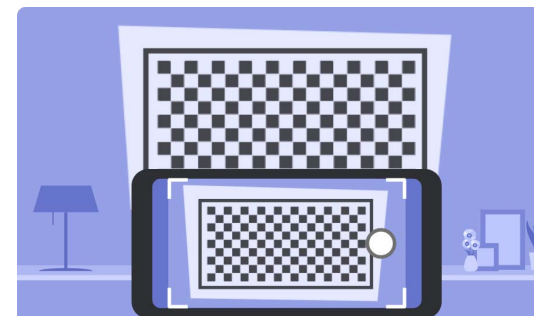
迫力のある100インチ超の画面を、かんたんに省スペースで設置することができます。



- 4,500 lmの高輝度により、明るい環境でも鮮明な映像を投写できます。
- 4Kエンハンスメントテクノロジーによる高解像度により、WUXGA、Full HDを上回る多くの情報を表示できます。
- 1人で持ち運ぶことができ、壁際に置くだけで簡単に設置できます。
- 壁際に設置して100インチの画面を投写することができます。投写光が人影に遮られないので、会議室のスペースを有効に活用できます。
- 机上、壁掛け、天吊りといったさまざまな方法で設置できます。

かんたん設置

- カメラ機能付きスマートフォンまたはタブレットでEpson Setting Assistantを使うと、より簡単に歪みを補正することができます。



▶▶ 関連項目

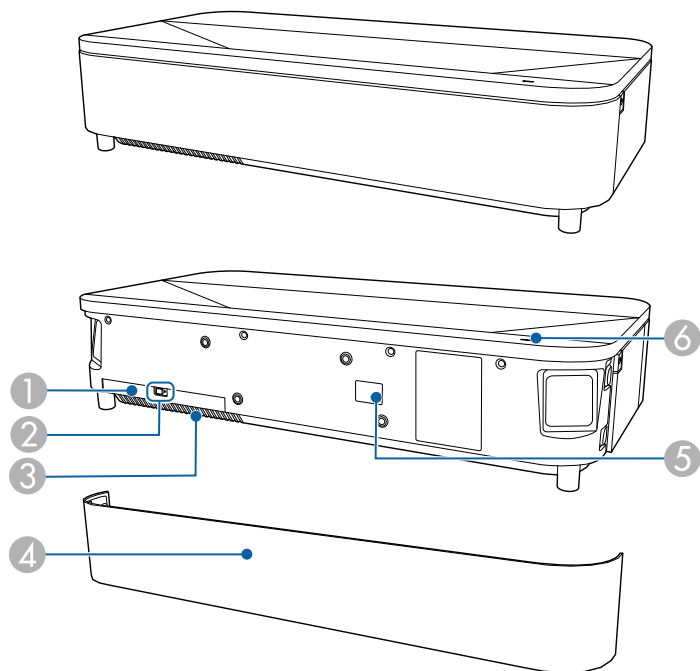
- 「ウィザードを使って映像のゆがみを補正する」 [p.54](#)

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - 前面」 [p.11](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 上面/側面」 [p.12](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 底面」 [p.13](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 [p.14](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 [p.15](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 [p.16](#)

プロジェクターの各部名称 - 前面

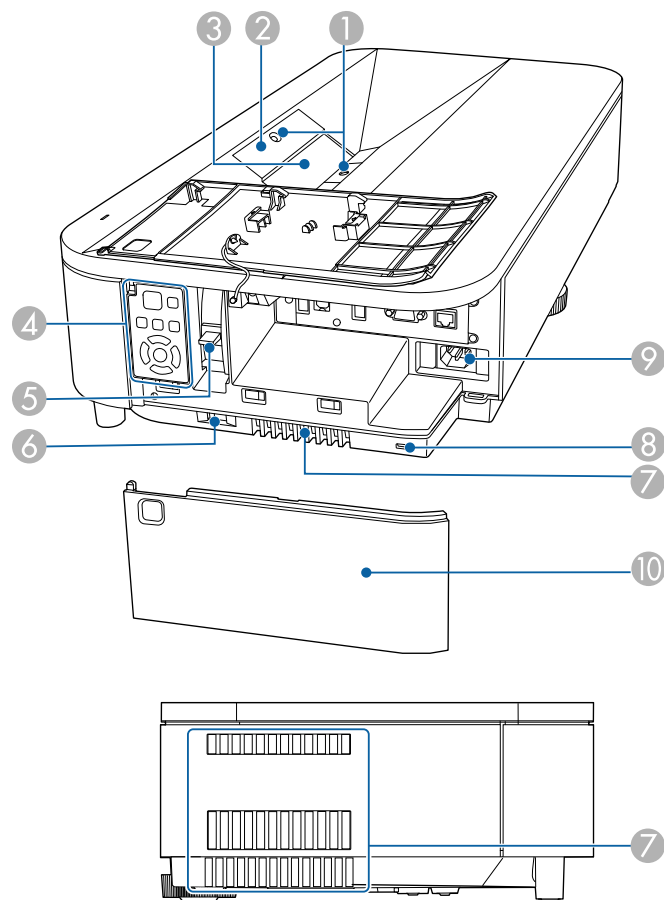


名称	働き
① エアフィルターカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
② エアフィルターカバー操作つまみ	エアフィルターカバーを取り外すときに横に動かします。
③ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
④ フロントカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑥ ステータスインジケータ	本機の状態を表示します。

▶▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.152](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.36](#)
- 「インジケータの見方」 [p.165](#)

プロジェクターの各部名称 - 上面/側面



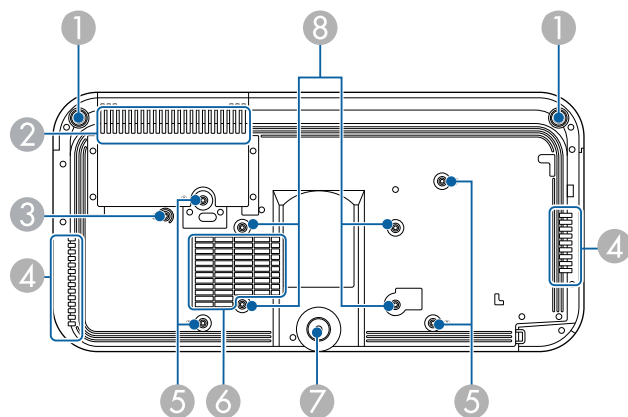
名称	働き
① 障害物検知センサー	投写エリア付近の障害物を検知して、安全のため光源の明るさを落とします。
② リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

名称	働き
③ 投写窓	内部の投写レンズから映像を投写します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 投写中は投写窓をのぞかないでください。 投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。投写光が集束するため高温になり、やけどや変形、火災の原因になります。 </div>
④ 操作パネル	本機の操作をします。
⑤ フォーカスレバー	映像のピントを調整します。
⑥ サイドカバー操作つまみ	サイドカバーを取り外すときに横に動かします。
⑦ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div>
⑧ セキュリティー slots	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
⑨ 電源端子	電源コードを接続します。
⑩ サイドカバー	接続端子部、フォーカスレバー、操作パネルを使用するときはこのカバーを開きます。

▶ 関連項目

- 「障害物検知センサーを清掃する」 p.150
- 「投写窓を清掃する」 p.149
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.152
- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.15
- 「ピントを調整する」 p.53
- 「リモコンを操作する」 p.36
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.98
- 「サイドカバーを取り付ける」 p.34

プロジェクターの各部名称 - 底面



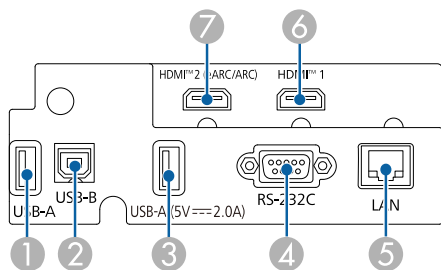
名称	働き
① フロントフット	机上設置時に、フットを回して映像のゆがみを補正します。 ⚠ 注意 本機を壁や天井に取り付けるときは、すべてのフットを取り外してください。

名称	働き
② 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
③ ワイヤークランプ固定部	オプションの壁掛けまたは天吊り金具を取り付けるときは、落下防止のため、カラビナをここに取り付けてセーフティーワイヤーを通します。 本体に②の印がついています。
④ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
⑤ 金具固定部 (4箇所)	壁や天井に取り付けるとき、または縦置きするときは、ここに金具を取り付けます。 本体に①の印がついています。
⑥ 吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑦ リアフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ⚠ 注意 本機を壁や天井に取り付けるときは、すべてのフットを取り外してください。
⑧ VESA規格の金具固定部 (4箇所)	壁や天井に取り付けるときはVESA規格 (100×200mm) に準拠した市販の金具をここに取り付けます。

▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.152
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.98

プロジェクターの各部名称 - インターフェイス



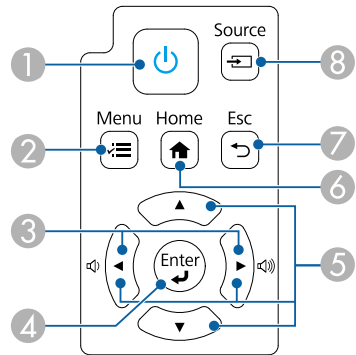
名称	機能
① USB-A端子 (USB-A1)	<p>USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画や画像をPC Freeまたはコンテンツ再生モードで投写します。</p> <p>USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログを保存します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本書では、USB-A1端子とUSB-A2端子をまとめてUSB-A端子と表記しています。</p> </div>
② USB-B端子	<p>一括設定機能でメニュー設定をコピーするときや、ファームウェアを更新するときに使います。</p>

名称	機能
③ USB-A (5V/2.0A) 端子 (USB-A2)	<p>USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画や画像をPC Freeまたはコンテンツ再生モードで投写します。</p> <p>USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログを保存します。</p> <p>市販のメディアストリーミング端末に電力を供給します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本書では、USB-A1端子とUSB-A2端子をまとめてUSB-A端子と表記しています。</p> </div>
④ RS-232C端子	<p>RS-232Cケーブルを接続して、コンピューターから本機を制御します。(制御用の端子で、通常は使用しません。)</p>
⑤ LAN端子	<p>LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。</p>
⑥ HDMI1端子	<p>HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。</p> <p>HDCP 2.3に準拠しています。</p>
⑦ HDMI2 (eARC/ARC) 端子	<p>HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。</p> <p>HDCP 2.3に準拠しています。</p> <p>HDMI eARC/ARCに対応しています。</p>

▶ 関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 p.28
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.98

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル

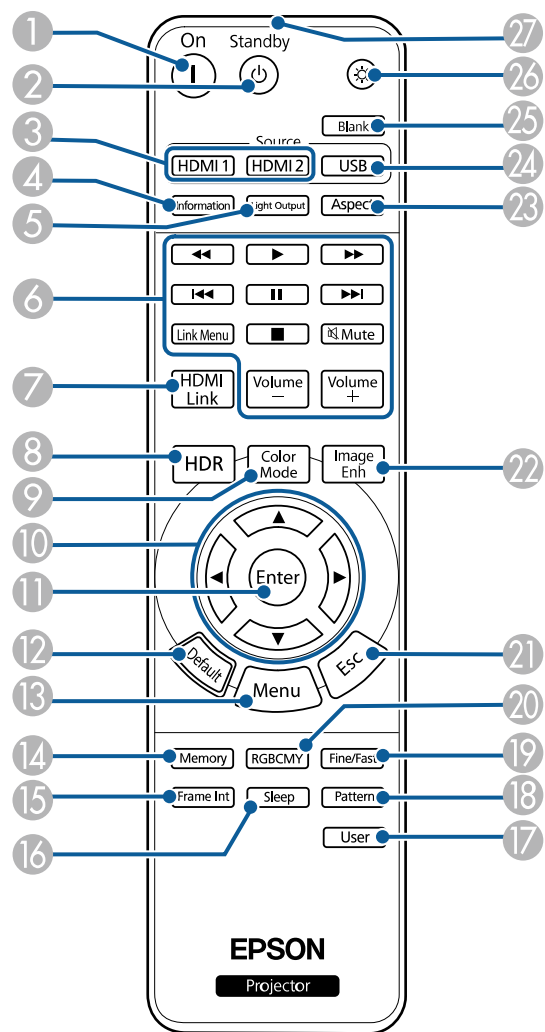


▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.38](#)
- 「メニューの設定」 [p.120](#)
- 「ホーム画面」 [p.39](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.66](#)

名称	働き
① 電源ボタン【】	本機の電源をオン/オフします。
② 【Menu】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
③ 音量調整ボタン	外部スピーカーの音量を調整します。 メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
④ 【Enter】ボタン【】	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑤ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ 【Home】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑦ 【Esc】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑧ 【Source】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
② 【Standby】 ボタン	本機の電源を切ります。
③ 【HDMI1】、【HDMI2】 ボタン	HDMI1端子とHDMI2 (eARC/ARC)端子からの映像に切り替えます。
④ 【Information】 ボタン	[情報表示] 画面を表示します。
⑤ 【Light Output】 ボタン	[明るさレベル] 画面を表示します。
⑥ 再生操作ボタン	HDMI CEC規格対応の機器を操作します。
⑦ 【HDMI Link】 ボタン	[HDMIリンク] 画面を表示します。
⑧ 【HDR】 ボタン	[ダイナミックレンジ] 調整画面を表示します。
⑨ 【Color Mode】 ボタン	[カラーモード] 画面を表示します。
⑩ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑪ 【Enter】 ボタン	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑫ 【Default】 ボタン	選択した設定を初期値に戻します。
⑬ 【Menu】 ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑭ 【Memory】 ボタン	[メモリー] メニューを表示します。
⑮ 【Frame Int】 ボタン	[フレーム補間] の強度を設定します。
⑯ 【Sleep】 ボタン	[オン] にすると、一定時間映像信号の入力がないとき自動的に本機の電源が切れます。
⑰ 【User】 ボタン	[管理] メニューの [ユーザーボタン] で設定した機能を実行します。
⑱ 【Pattern】	[テストパターン] 画面を表示します。
⑲ 【Fine/Fast】 ボタン	[映像処理] 画面を表示します。

名称	働き
① 【On】 ボタン	本機の電源を入れます。

名称	働き
⑳ 【RGBCMY】 ボタン	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。
㉑ 【Esc】 ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
㉒ 【Image Enh】 ボタン	[イメージ強調] 画面を表示します。
㉓ 【Aspect】 ボタン	[アスペクト] 画面を表示します。
㉔ 【USB】 ボタン	USB-A端子からの映像に切り替えます。
㉕ 【Blank】 ボタン	映像を一時的に非表示にして、音声のみを再生します。再開するときは、再度このボタンを押します。
㉖ イルミネーション ボタン	このボタンを押すと、リモコン上のボタンが約10秒間光ります。暗がりでもリモコンを操作するときに便利です。
㉗ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.38](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.89](#)
- 「メニューの設定」 [p.120](#)
- 「映像を最適化する (カラーモード)」 [p.69](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.67](#)
- 「映像の大きさを調整する」 [p.63](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.95](#)
- 「ホーム画面」 [p.39](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.36](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「セーフティワイヤーを取り付ける」 [p.23](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.28](#)
- 「有線LANに接続する」 [p.32](#)
- 「サイドカバーを取り付ける」 [p.34](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.35](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.36](#)

プロジェクターは、壁や天井に取り付けたり、机に置いたりして使います。

壁や天井に取り付けるときは、オプションの金具またはVESA規格（100×200 mm）に準拠した金具を使用できます。

本機はさまざまな角度で映像を投写できます。垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。
- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。

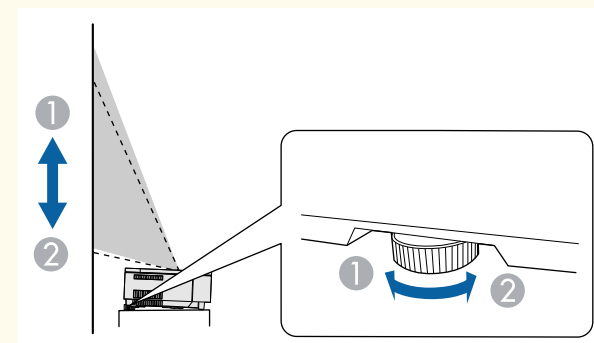
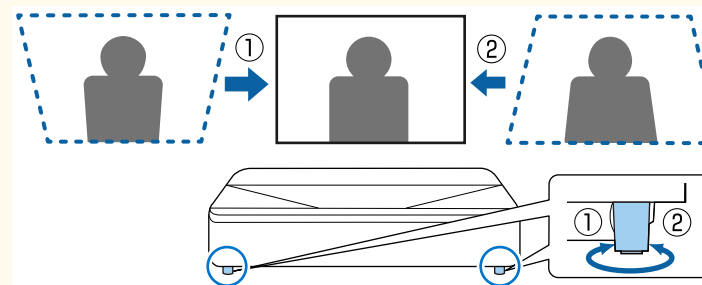


投写面に対して平行に設置できないときは、プロジェクターの機能を使って映像のゆがみを補正します。投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

- プロジェクターを固定の位置に設置するときは、[設置]メニューの[固定設置]をオンにします。



投写映像のゆがみや高さは、フロントフットとリアフットを使って調整できます。



⚠ 警告

- 壁や天井への取り付け工事は、特別な技術が必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターのセッティングプレート固定部・その他の金具固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、プロジェクターが落下するおそれがあります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具を使用し、プロジェクターの天吊り固定部すべてに確実に固定してください。また、同梱またはオプションのセーフティーワイヤーを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

- 油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- 溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
- 油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
- イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）
- 加湿器の近く

⚠ 警告

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターにホコリが詰まって、故障や火災につながる可能性があります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- 塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

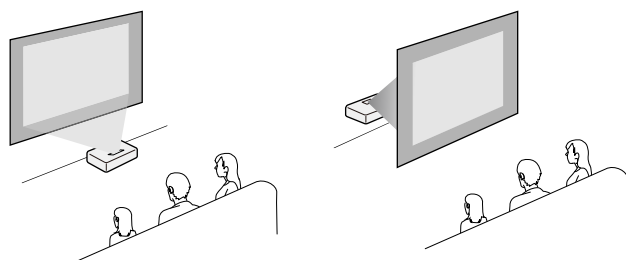
- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

▶▶ 関連項目

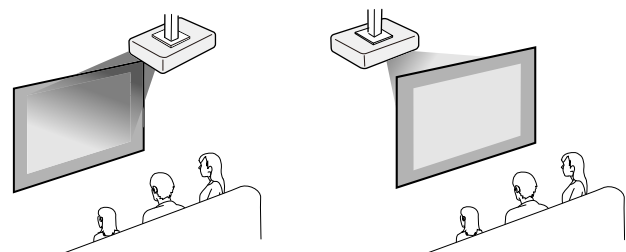
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20
- 「設置に関するご注意」 p.21

プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。
フロント/リア



フロント・上下反転/リア・上下反転



設置する場所や方法に合わせて、[設置]メニューで[設置モード]を選択します。必要に応じて、[動作]メニューの[方向ボタン反転]の設定を変更してください。



[設置モード]の初期設定は[フロント]です。

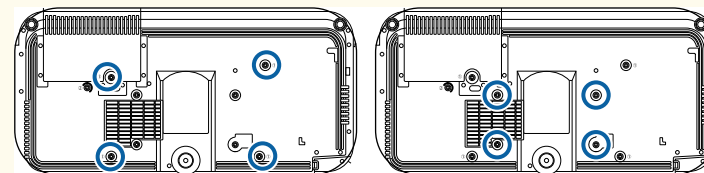
▶▶ 関連項目

- 「設置モードを変更する」 [p.46](#)

設置に関するご注意

注意

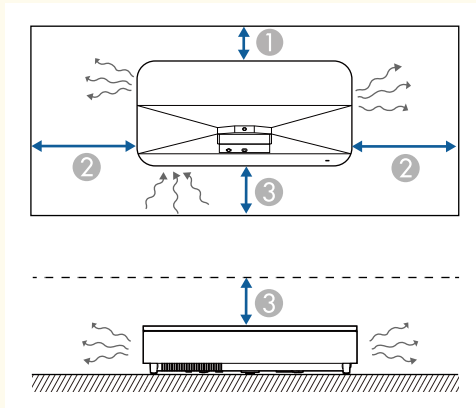
- 本機を傾けて設置する場合は、専門業者にご依頼のうえ、本機に対応した専用の設置用金具をお使いください。
- 正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- M4ネジ（最大深さ9 mm）を使って、本機底面の金具固定部（4箇所）またはVESA規格の金具固定部（4箇所）と設置用金具を固定してください。



設置スペース

注意

吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。

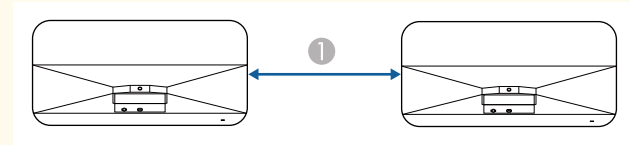


- ① 2.3 cm
- ② 20 cm
- ③ 10 cm

設置スペース（複数台並べて設置するとき）

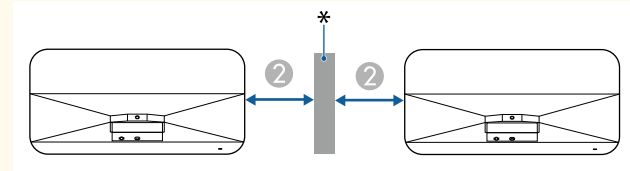
注意

- 排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。



- ① 110 cm

- 仕切りを置くときは、以下のスペースを確保してください。



- ② 20 cm
- * 仕切り

本機を天吊り設置するときは、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けます。

⚠ 警告

セーフティーワイヤーは、必ずエプソン純正の天吊り金具に同梱されているものをご使用ください。セーフティーワイヤーは、別途セーフティーワイヤーセット ELPWR01としてもお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- 「天吊り金具ELPMB22をお使いのとき」 [p.23](#)
- 「天吊り金具ELPMB30をお使いのとき」 [p.24](#)
- 「セッティングプレートELPMB75をお使いのとき」 [p.25](#)

天吊り金具ELPMB22をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

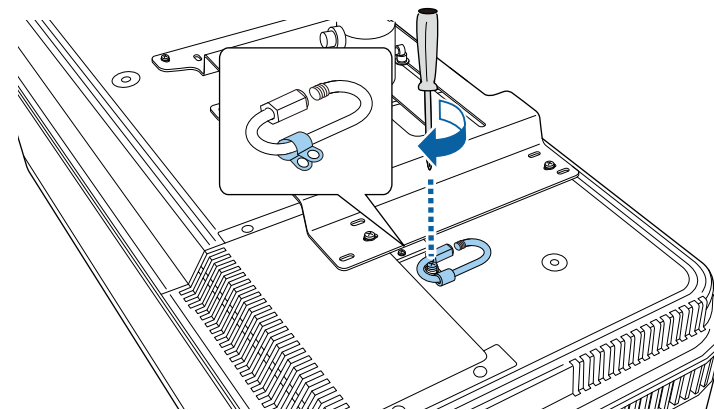
事前に、フロントフットとリアフットを本機から取り外す必要があります。また、天吊り金具（ELPMB22）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- セーフティーワイヤー × 1
- カラビナ × 2（ELPMB22で使用するカラビナは1つです。）
- ワイヤークランプ × 1
- 取付用ネジ（M4 × 10 mm） × 1

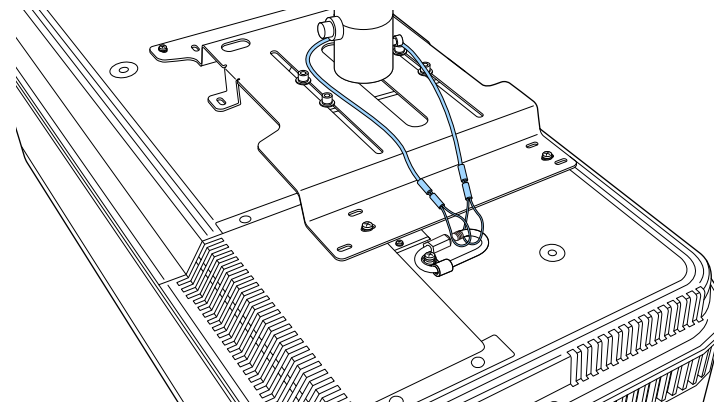


天吊り金具ELPMB22について詳しくは『天吊り金具 ELPMB22/ELPMB23 取扱説明書』をご覧ください。

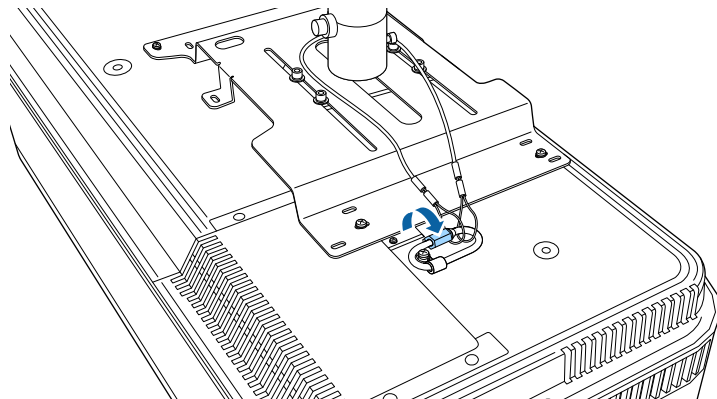
- 1** カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部 (2) に取付用ネジで固定します。



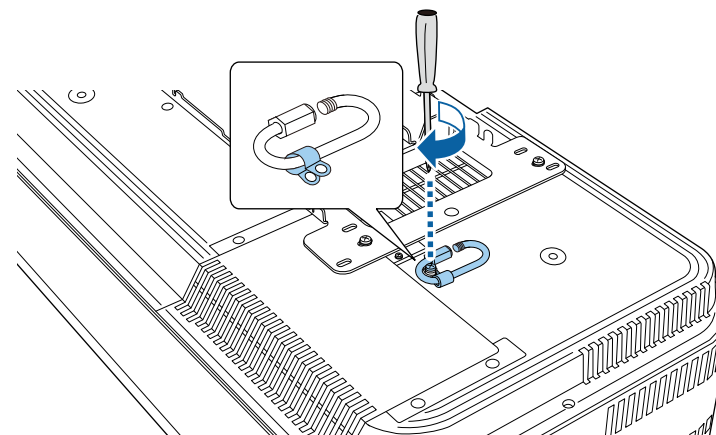
- 2** セーフティーワイヤーを天吊り金具の支柱に引っ掛けて、両端をプロジェクター側のカラビナに取り付けます。



3 カラビナを締めます。



1 カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部 (2) に取付用ネジで固定します。



天吊り金具ELPMB30をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

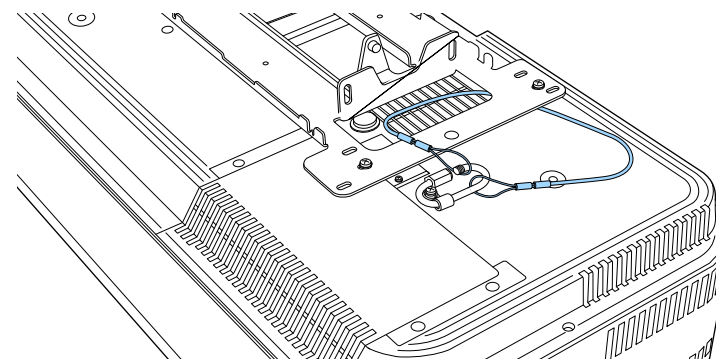
事前に、フロントフットとリアフットを本機から取り外す必要があります。また、天吊り金具 (ELPMB30) が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- セーフティーワイヤー×1
- カラビナ×2 (ELPMB30で使用するカラビナは1つです。)
- ワイヤークランプ×1
- 取付用ネジ (M4×10 mm) ×1

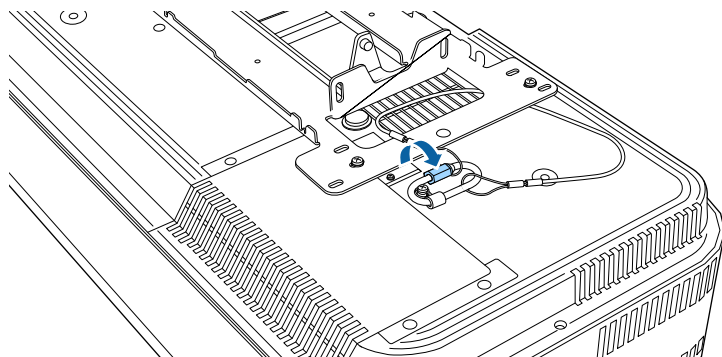


天吊り金具ELPMB30について詳しくは『ELPMB30取扱説明書』をご覧ください。

2 セーフティーワイヤーを天吊り金具に通して、両端をカラビナに取り付けます。



3 カラビナを締めます。



セッティングプレートELPMB75をお使いのとき

以下の手順でセーフティワイヤーを取り付けます。

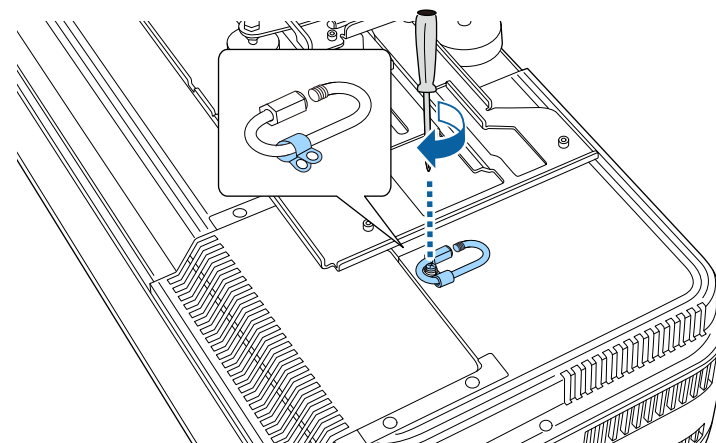
事前に、フロントフットとリアフットを本機から取り外す必要があります。また、セッティングプレート（ELPMB75）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- セーフティワイヤー×1
- カラビナ×2
- ワイヤークランプ×1
- 取付用ネジ（M4×10mm）×1

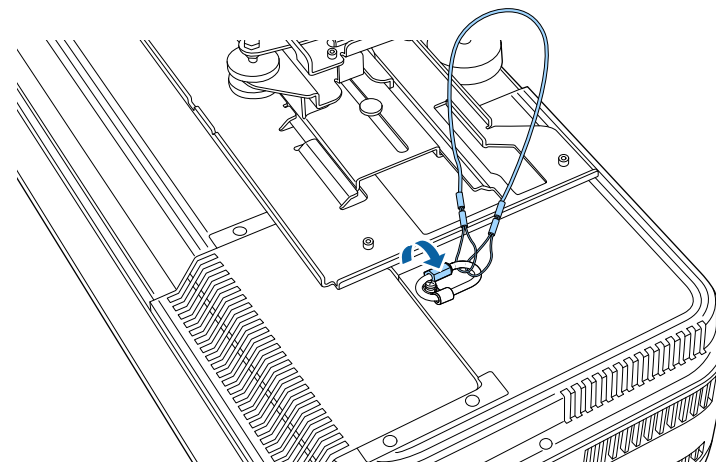


ELPMB75について詳しくは『ELPMB75 User's Guide』をご覧ください。

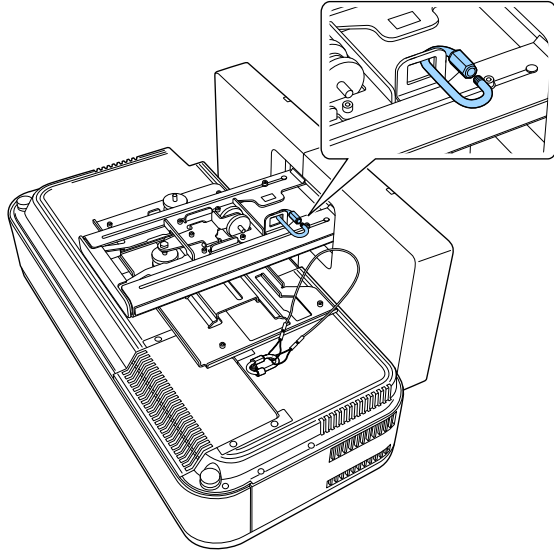
1 カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部（②）に取付用ネジで固定します。



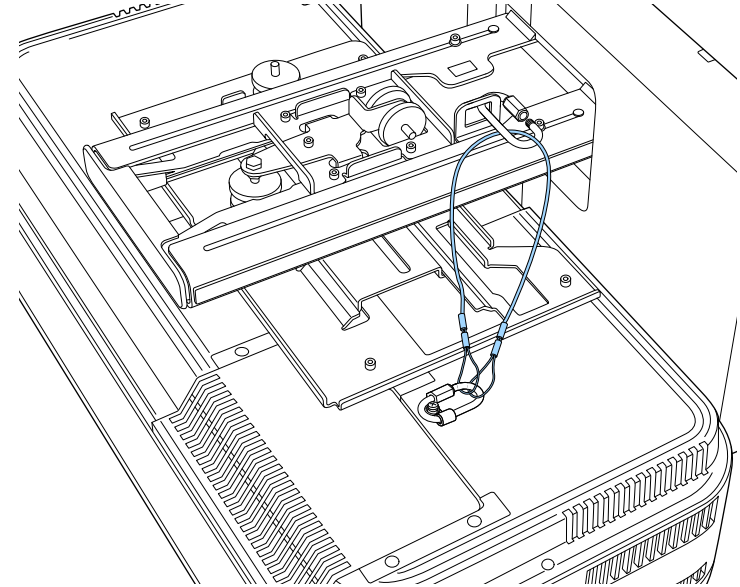
2 カラビナにセーフティワイヤーの両端を通して、カラビナを締めます。



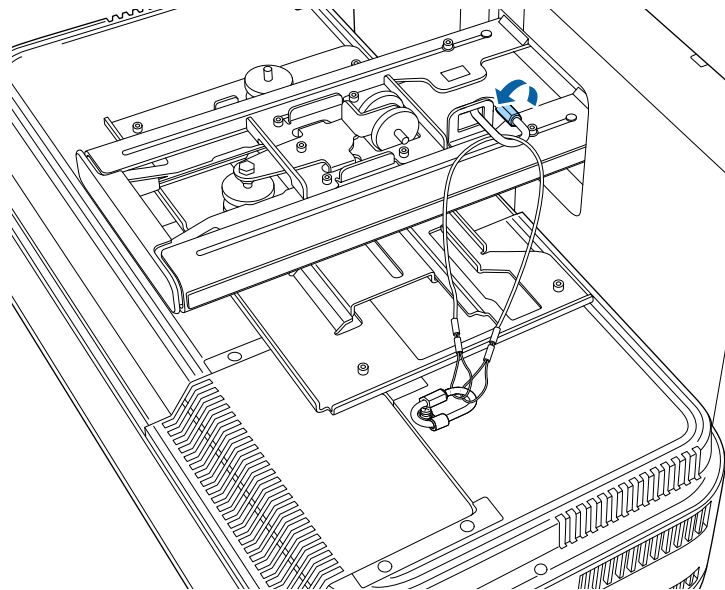
3 セッティングプレートのアームの穴にもう1つのカラビナを通します。



4 セッティングプレートに取り付けたカラビナにセーフティーワイヤーを通します。



5 カラビナを締めます。



プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

- 接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクタを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。
- 接続機器とケーブルの形状によっては、サイドカバーを取り付けられないことがあります。その場合、無理にカバーを取り付けしないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、市販品をお買い求めください。

▶ 関連項目

- 「HDMIケーブルでビデオ機器と接続する」 [p.28](#)
- 「HDMIケーブルでコンピューターと接続する」 [p.28](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.29](#)
- 「メディアストリーミング端末を接続する」 [p.30](#)
- 「eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する」 [p.31](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

HDMIケーブルでビデオ機器と接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続できます。

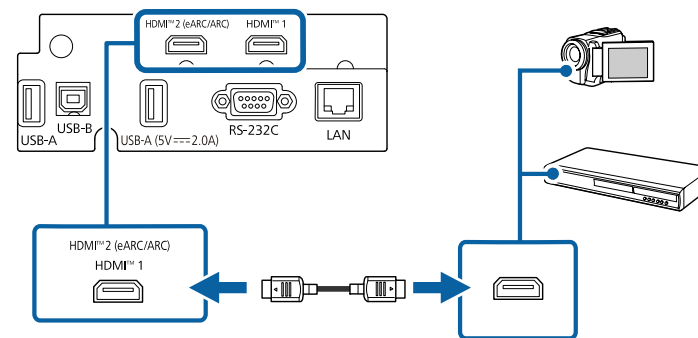
注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。



- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI端子のどちらかに接続します。

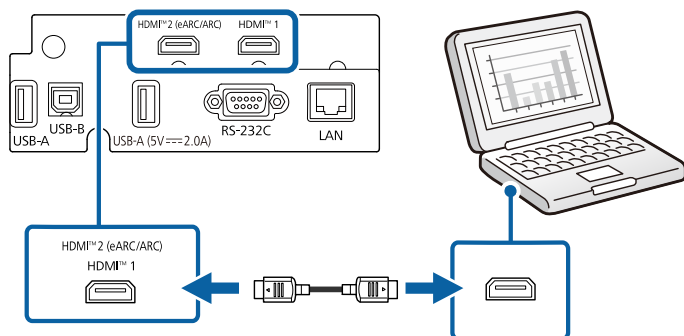


HDMIケーブルでコンピューターと接続する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続できます。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子のどちらかに接続します。



USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

▶▶ 関連項目

- 「USB機器のデータを投写する」 [p.29](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.29](#)
- 「USB機器を取り外す」 [p.30](#)

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくてもUSB機器内の映像ファイルを投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスタストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマスタストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマスタストレージクラスの機器もあります）
 - フォーマット形式がFAT16/32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

コンテンツ再生モードでは、USBメモリーにプレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。

▶▶ 関連項目

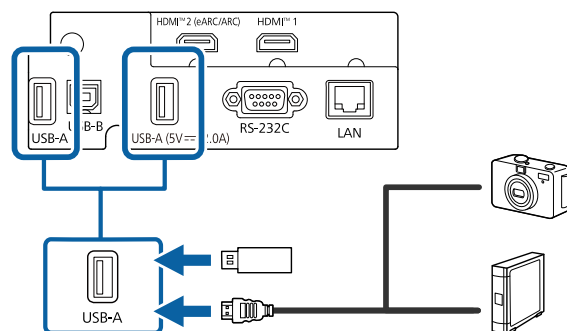
- 「PC Free機能で投写する」 [p.83](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.89](#)

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1** USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。

- 2** 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3** USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1** USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2** プロジェクターからUSB機器を取り外します。

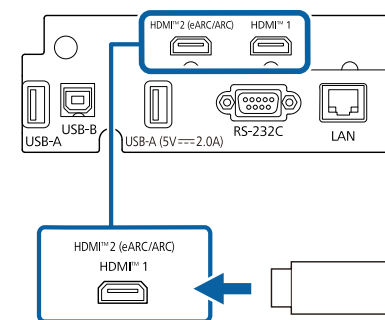
メディアストリーミング端末を接続する

メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミング端末に電力を供給できます。



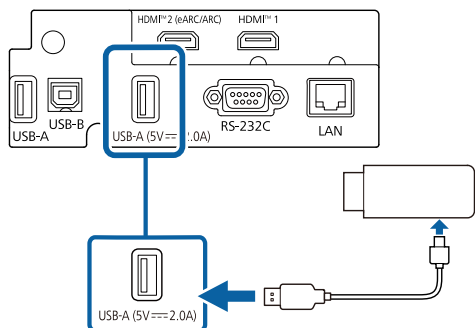
メディアストリーミング端末の接続方法や動作条件はお使いの機器によって異なります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。取扱説明書に従わないと、正常に動作しないことがあります。

- 1** メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。

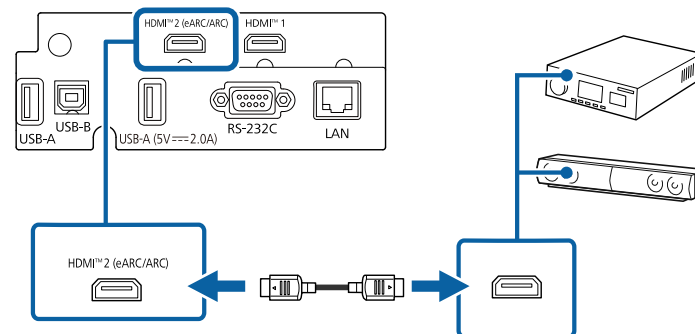


- 2** USB給電ケーブルを本機のUSB-A端子に接続します。

- 3** 給電ケーブルのもう一方のコネクターをメディアストリーミング端末に接続します。



- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI2 (eARC/ARC)端子に接続します。



eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する

HDMI端子を搭載したAVアンプやサウンドバーなどの外部スピーカーを使用しているときは、イーサネット対応のHDMIケーブルを使って、これらの機器に音声を出力できます。



- 本機にAVアンプを接続しているときは、[HDMIリンク] を [オン] に設定します。
 ● [信号入出力] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]
- eARC/ARCの対応音声形式について詳しくは、『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

- 1** AVアンプやスピーカーのHDMI出力端子 (eARC/ARC対応) にHDMIケーブルを接続します。

- 3** 必要に応じてAVアンプやスピーカーの設定をしてください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

ネットワーク経由でプロジェクターを監視、制御することができます。
ネットワーク機能を使用するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピューターのネットワーク設定をします。

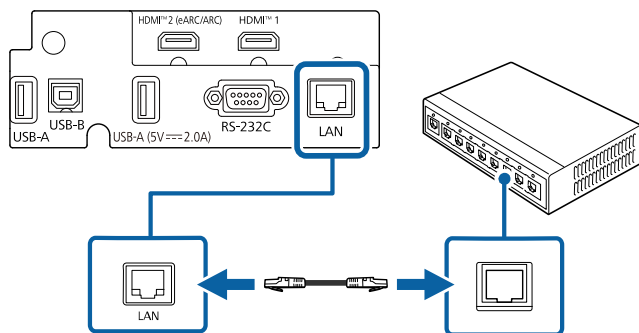
▶ 関連項目

- 「有線LANに接続する」 p.32
- 「有線LANを設定する」 p.32

有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、LANケーブルを使用します。
誤作動防止のために、カテゴリ5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1 LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



有線LANを設定する

ネットワークでコンピューターを使用するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

よく使う項目	ネットワーク
映像調整	有線LAN情報
信号入出力	ネットワーク設定
設置	ネットワーク初期化
表示	メモリー
動作	メモリー保存
管理	メモリー呼出
ネットワーク	メモリー名称変更
メモリー	メモリー削除
節電	メモリー初期化
初期・全体設定	節電
	光源モード ノーマル
	スリープモード オン
	スリープモード時間 10分
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新

- 2 [ネットワーク設定] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 3 [プロジェクター名] にネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。

- 4** [有線LAN] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

[有線LAN]	戻る
IP設定	
DNSサーバー1	0.0.0.0
DNSサーバー2	0.0.0.0
IPv6	オフ <input type="checkbox"/>
IPアドレス表示	オン <input type="checkbox"/>

- 5** 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、 [IP設定] を選択し、 [DHCP] を [オン] にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、 [IP設定] を選択し、 [DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、 [サブネットマスク]、 [ゲートウェイアドレス] を入力します。
- 6** 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないようにするには、 [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。
- 7** 設定が終わったら、 [ネットワーク設定] の画面に戻り、 [設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



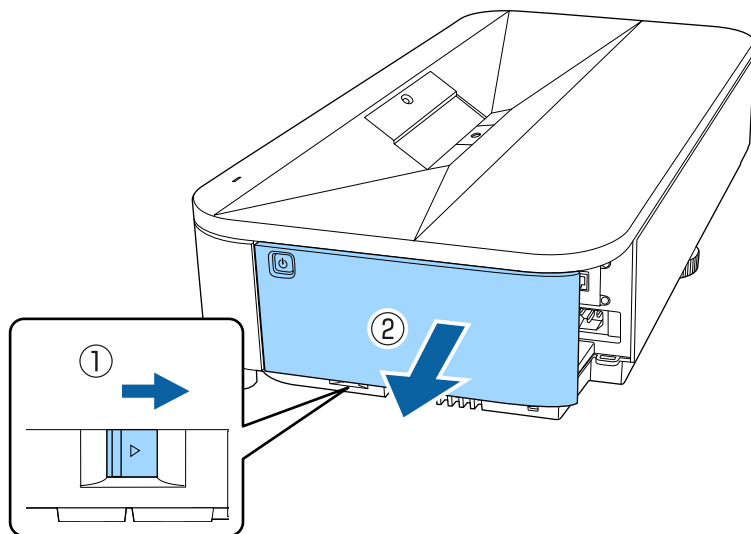
Web制御パスワードが設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

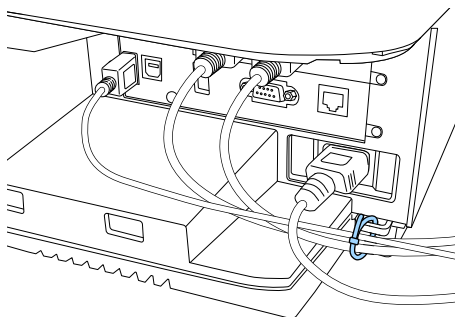
- 「ネットワーク設定メニュー」 [p.136](#)

サイドカバーを装着して、ケーブル類を目立たなくすることができます。

- 1 サイドカバーを取り外します。



- 2 市販の結束バンドなどをケーブルホルダーに通し、ケーブル類を束ねます。



⚠ 注意

電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の原因となることがあります。

- 3 サイドカバーを取り付けます。

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

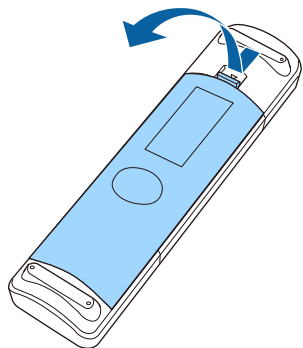
注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。



電池がなくなったら電池を交換してください。リモコンには、単3マンガン電池またはアルカリ電池2個を使用します。

1 電池カバーを外します。

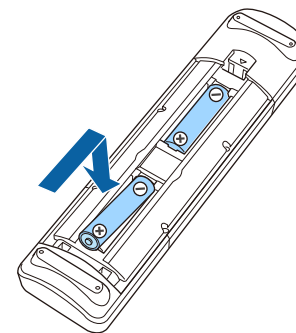


2 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

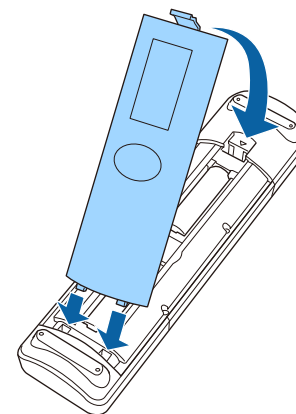
3 電池の + と - の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

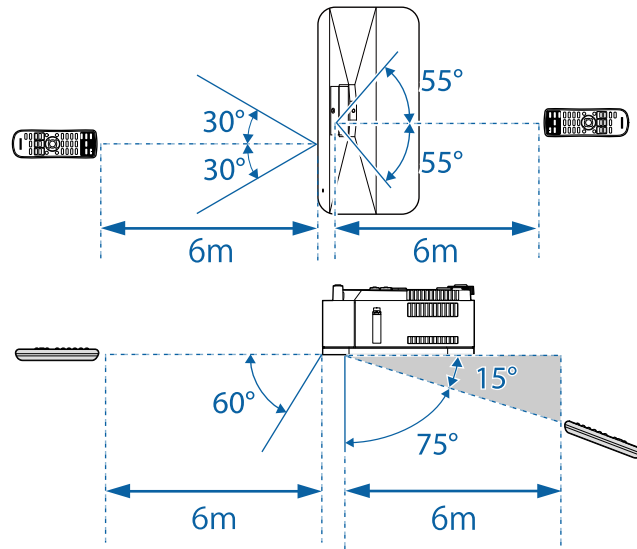
電池ホルダー内の表示を確認して、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを操作できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

プロジェクターの基本機能を使用する

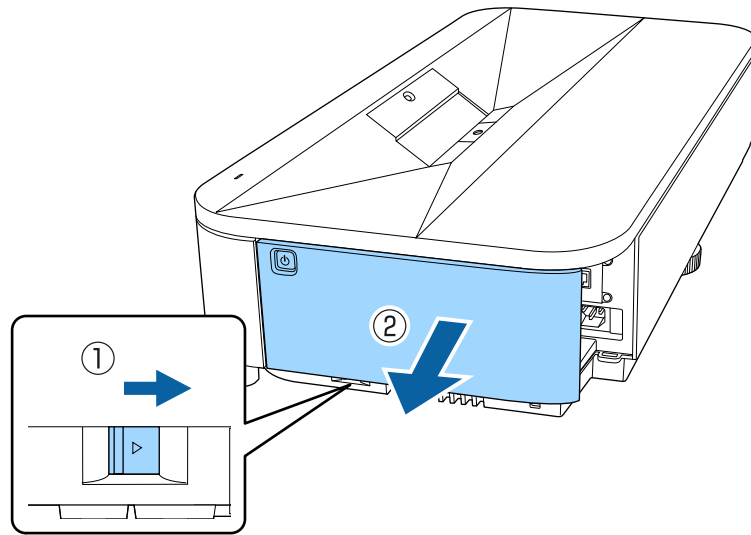
プロジェクターの基本機能を説明します。

▶ 関連項目

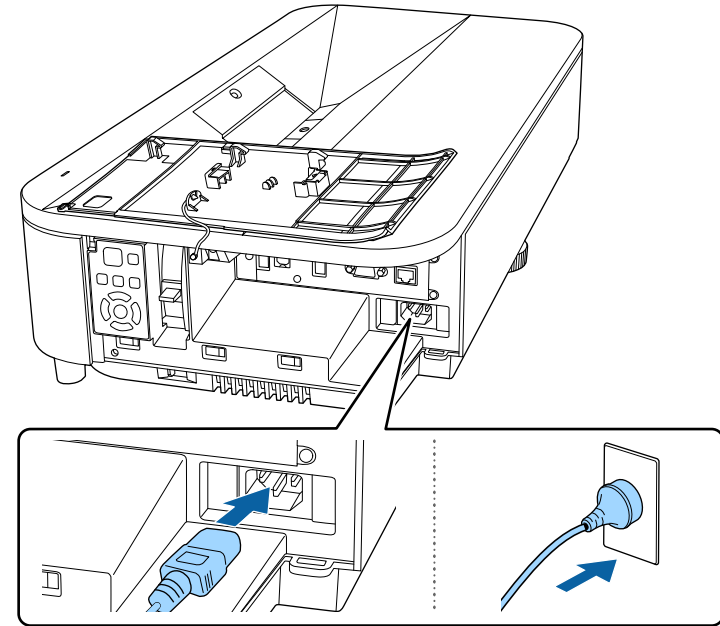
- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.38](#)
- 「プロジェクターの電源を切る」 [p.41](#)
- 「日時を設定する」 [p.42](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.45](#)
- 「設置モードを変更する」 [p.46](#)
- 「スクリーンタイプを設定する」 [p.48](#)
- 「映像の高さを調整する」 [p.51](#)
- 「テストパターンを表示する」 [p.52](#)
- 「ピントを調整する」 [p.53](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.54](#)
- 「映像の大きさを調整する」 [p.63](#)
- 「映像の位置を調整する（デジタルピクチャーシフト）」 [p.64](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.66](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.67](#)
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.69](#)
- 「フレーム補間を設定する」 [p.71](#)
- 「映像の色合いを調整する」 [p.73](#)
- 「映像の解像感を調整する」 [p.76](#)
- 「明るさを設定する」 [p.78](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

1 サイドカバーを取り外します。



2 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケーターが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

3 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。



- 最初に本機の電源を入れたときには、初期設定ウィザードが表示されます。初期設定ウィザードの画面の指示に従って設定してください。
- [ネットワーク設定] で [Web制御パスワード] が設定されていないときは、[Web制御パスワード] 画面が表示されます。この画面でパスワードを設定してください。コンピューターのWebブラウザを使ってネットワークに接続されたプロジェクターの制御をするときに、Web制御パスワードが必要です。
- [高速起動] は [動作] メニューでも選択できます。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルの【Source】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときは本機の電源を切ってください。



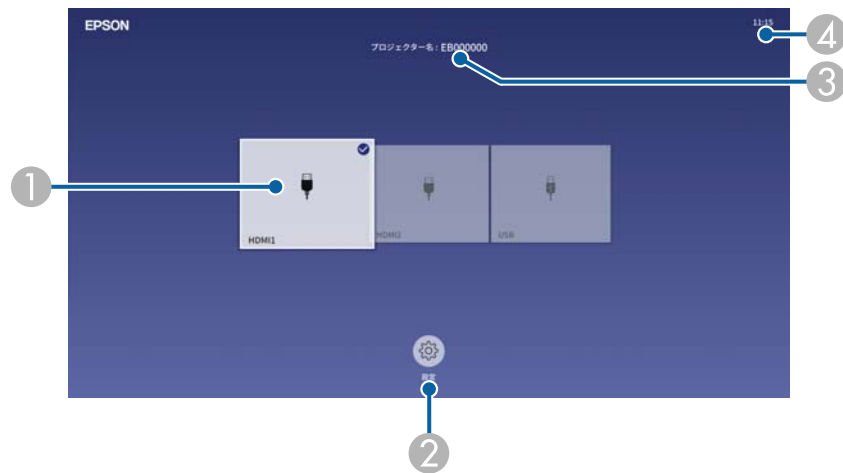
- [動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
- [動作] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、接続機器からの入力信号が検出されたときに自動で電源が入ります。

▶▶ 関連項目

- 「ホーム画面」 [p.39](#)
- 「動作メニュー」 [p.132](#)

ホーム画面

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルの【Home】ボタンを押すと表示されます。本機の電源投入時に、入力信号がないときにもホーム画面が表示されます。操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【Enter】ボタンを押します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

- ① 投写したい入力ソースを選択します。
現在投写している入力ソースには右上にチェックマークが付きます。
現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます（コンテンツ再生モード時のUSB入力ソース以外）。
- ② 以下の機能の設定を変更します。（表示される項目は設定により異なります。）
 - [カラーモード]
 - [明るさレベル]
 - [幾何学歪み補正]（[Quick Corner] が利用できます。）
 - [アスペクト]
 - [再設置]



[幾何学歪み補正] は、[設置] メニューの [固定設置] が [オフ] で、[幾何学歪み補正] が [Quick Corner] のときのみ表示されます。

- ③ プロジェクター名とプロジェクターキーワードを表示します。
- ④ 現在の時刻を表示します。

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過にもなって低下します。
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

1 操作パネルの電源ボタンまたはリモコンの【Standby】ボタンを押します。

シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  ボタンを押す

いいえ: 他のボタンを押す

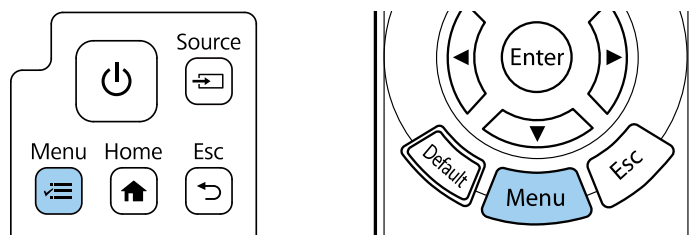
2 再度電源ボタンまたは【Standby】ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)

光源がオフになり、ステータスインジケータが消灯します。

3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

プロジェクターの日時を設定します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 3 [管理] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	管理
映像調整	ユーザーボタン 光源モード
信号入出力	チャイルドロック オフ
設置	操作ボタンロック オフ
表示	4Kエンハンスメント オン
動作	ユニフォーミティー
管理	リフレッシュモード
ネットワーク	日付&時刻
メモリー	スケジュール設定
節電	ログ保存先 USBおよび内部メモリー
初期・全体設定	一括設定範囲
	言語 日本語
	情報表示
	ステータス表示
	ログ表示
	管理初期化
	ネットワーク
	有線LAN情報

- 4 [日付&時刻] を選択して【Enter】ボタンを押します。次の画面が表示されます。

[日付&時刻]	戻る
日付&時刻	
夏時間設定	↑
夏時間	オフ
夏時間開始	
夏時間終了	
夏時間調整 (分)	0
インターネット時刻	

- 5 [日付&時刻] を選択して【Enter】ボタンを押します。次の画面が表示されます。

[日付&時刻]	戻る
日付	2010-01-01
時刻	00:00
時差 (UTC)	+
	00:00
	設定

- 6 [日付] を選択して【Enter】ボタンを押します。表示されたソフトウェアキーボードで本日の日付を入力します。

7 [時刻] を選択して【Enter】ボタンを押します。表示されたソフトウェアキーボードで現在の時刻（現地時間）を入力します。



手順8で [時差 (UTC)] を設定するときは、協定世界時を入力します。

8 [時差 (UTC)] を選択し、【Enter】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。

9 終了したら、[設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。

10 夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を [オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[夏時間設定]	戻る
夏時間	オン ^
夏時間調整 (分)	0
夏時間開始	
月	1
週	1
曜日	月
時刻	00:00
夏時間終了	
月	1
週	1
曜日	月
時刻	00:00
	設定

11 終了したら、[設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。

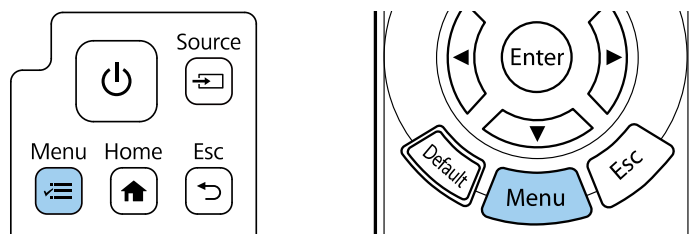
- 12** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、[インターネット時刻] を [オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[インターネット時刻]	戻る
インターネット時刻	オン ^
インターネット時刻サーバー	0.0.0.0
	設定

- 13** 終了したら、[設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 14** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

[言語] 設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 4** [言語] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5** 使用する言語を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 6** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

- 3** [管理] を選択して【Enter】ボタンを押します。

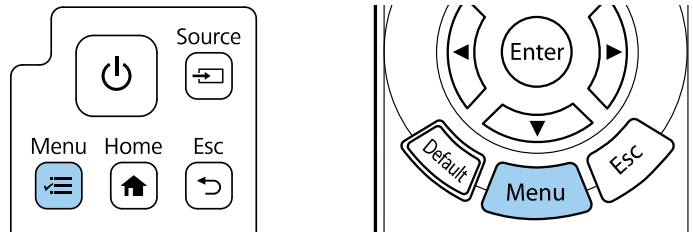
よく使う項目	管理	
映像調整	ユーザーボタン	光源モード
信号入出力	チャイルドロック	オフ
設置	操作ボタンロック	オフ
表示	4Kエンハンスメント	オン
動作	ユニフォーミティー	
管理	リフレッシュモード	
ネットワーク	日付&時刻	
メモリー	スケジュール設定	
節電	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
初期・全体設定	一括設定範囲	
	言語	日本語
	情報表示	
	ステータス表示	
	ログ表示	
	管理初期化	
	ネットワーク	
	有線LAN情報	

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- [フロント]：机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- [フロント・上下反転]：壁掛けまたは天吊り設置して、映像を上下反転して投写します。
- [リア]：リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- [リア・上下反転]：壁掛けまたは天吊り設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [設置] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整ガ...	
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正	ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード	
ネットワーク	デジタルズーム	▼
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	スクリーンタイプ	16:9 ▼
初期・全体設定	高地モード	オフ
	入力ソース	HDMI1
	ブランキング	
	初期値に戻す	
	再設置	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青

4 [設置モード] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 お使いの環境に合わせた設置モードを選択して【Enter】ボタンを押します。

[設置モード]	戻る
フロント	
リア	
✓ フロント・上下反転	
リア・上下反転	

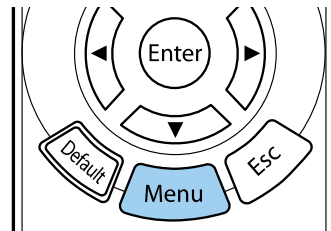
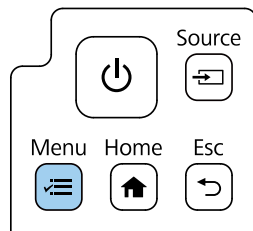
- 6 【Menu】 ボタンまたは【Esc】 ボタンを押してメニューを終了します。

映像を表示する領域がスクリーンに合うよう、お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて [スクリーンタイプ] を設定します。



- [動作] メニューの [コンテンツ再生] を [オン] に設定しているときは、[スクリーンタイプ] を変更できません。
- [スクリーンタイプ] を変更すると、[幾何学歪み補正] は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 3 【設置】 を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整ガ...	
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正	ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード	
ネットワーク	デジタルズーム	▼
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	スクリーンタイプ	16:9 ▼
初期・全体設定	高地モード	オフ
	入力ソース	HDMI1
	ブランキング	
	初期値に戻す	
	再設置	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青

- 4 [スクリーンタイプ] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5 お使いのスクリーンのアスペクト比を選択して【Enter】ボタンを押します。

[スクリーンタイプ]	戻る
4:3	
✓ 16:9	
16:10	

6 【Menu】 ボタンを押して終了します。



プロジェクターを再起動してください。画面の指示に従って操作します。

7 必要に応じて投写映像のアスペクト比を調整します。



[スクリーンタイプ] の設定が変更されると、[EDID] の設定は自動調整されます。

▶ 関連項目

- 「映像の位置を調整する (スクリーン位置)」 [p.49](#)

映像の位置を調整する (スクリーン位置)

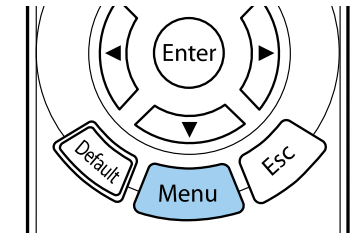
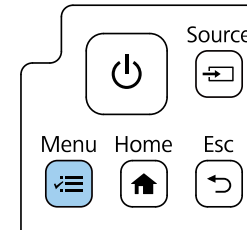
映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。



[スクリーンタイプ] の設定が [16:9] のときは調整できません。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】 ボタンを押します。

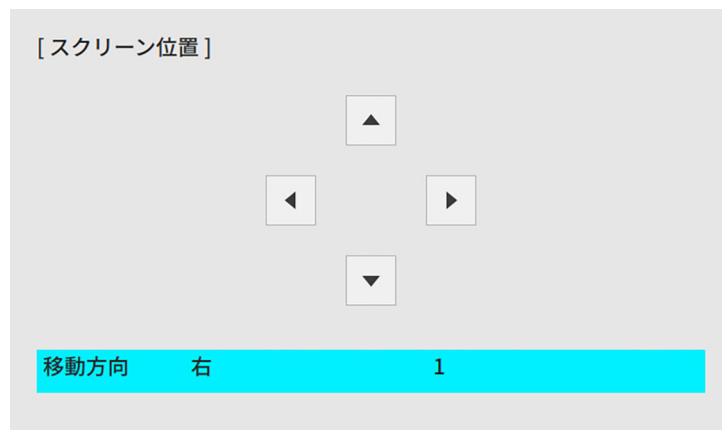


3 [設置] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整ガ...	
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正	ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード	
ネットワーク	デジタルズーム	▼
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	スクリーンタイプ	16:9 ▼
初期・全体設定	高地モード	オフ
	入力ソース	HDMI1
	ブランキング	
	初期値に戻す	
	再設置	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青

4 [スクリーン位置] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

- 5** 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで映像の位置を調整します。

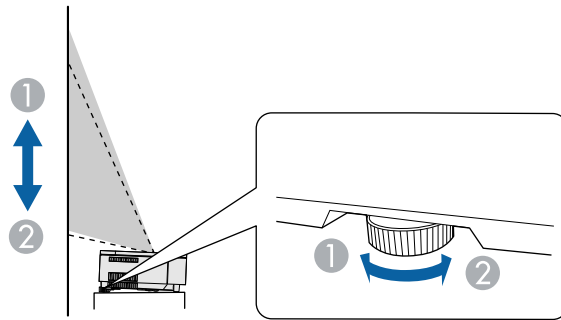


- 6** 終了したら、【Menu】ボタンを押します。

机などの平らな場所に置いて投写するときには、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを水平な場所に設置してください。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リアフットを回して映像の高さを調整します。



- 1** フットを伸ばす
- 2** フットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

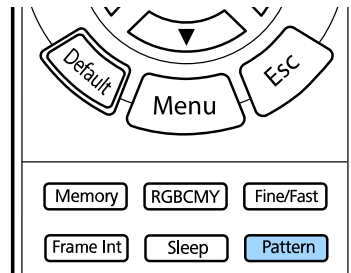
- 「映像の形状を補正する」 [p.54](#)

テストパターンを表示させて、投写映像を調整できます。



テストパターン表示中には調整できない項目があります。これらの項目は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** リモコンの【Pattern】ボタンを押します。

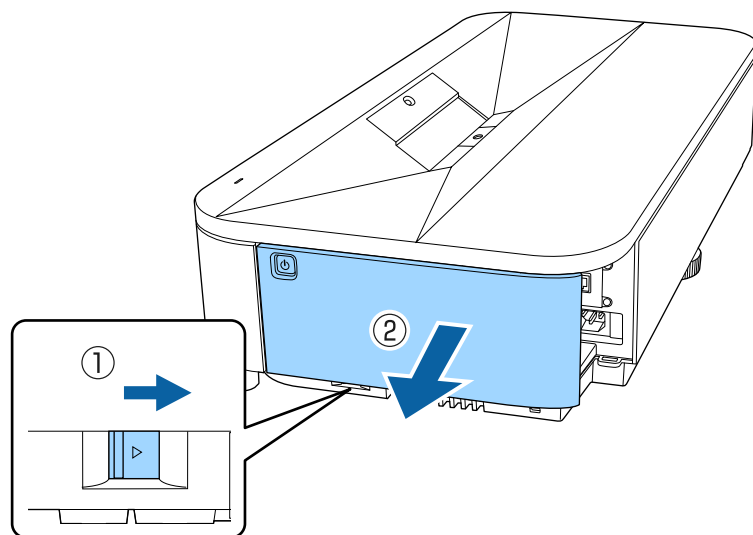


テストパターンは「設置」メニューからも表示できます。

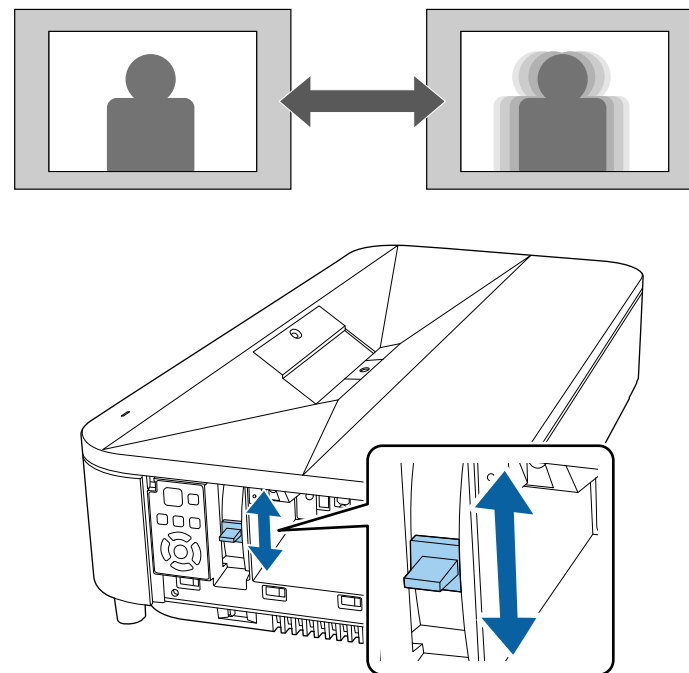
- 3** 映像を調整します。
- 4** テストパターン表示を終了するには、再度【Pattern】ボタンを押します。

フォーカスレバーを使用して、ピントのズレを補正します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 サイドカバーを取り外します。



- 3 フォーカスレバーを動かして、ピントを合わせます。



- 4 サイドカバーを取り付けます。



画面の以下の部分のピントを合わせてください。必要に応じてテストパターンを表示して調整してください。

- 机上設置：中央部と上部左右
- 天吊り設置：中央部と下部左右

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。



デジタルピクチャーシフトで画面位置を調整する場合は、幾何学歪み補正前に実施してください。

▶ 関連項目

- 「ウィザードを使って映像のゆがみを補正する」 p.54
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.55
- 「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」 p.58
- 「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 p.60

ウィザードを使って映像のゆがみを補正する

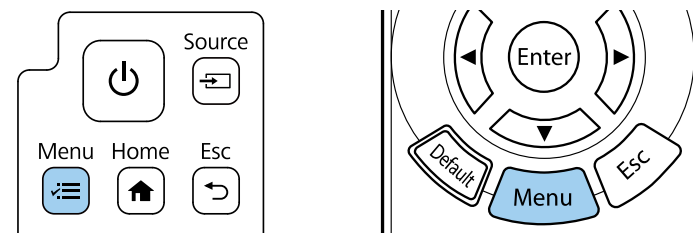
〔設置〕メニューの画面の指示に従って投写映像のゆがみを補正できます。



カメラ機能付きスマートフォンまたはタブレットでEpson Setting Assistantを使うと、より簡単にゆがみを補正することができます。投写画面に表示されるQRコードを読み取ってアプリをインストールしてください。アプリをダウンロードする際の通信料はお客様の負担となります。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



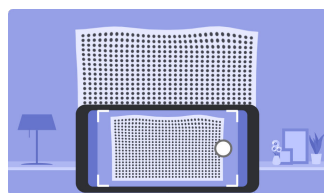
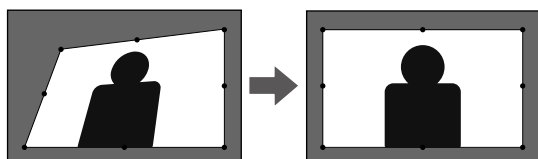
3 〔設置〕を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ…
表示	設置モード フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正 ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード
ネットワーク	デジタルズーム
メモリー	リモコン受光部 オフ
節電	スクリーンタイプ 16:9
初期・全体設定	高地モード オフ
	入力ソース HDMI1
	ブランキング
	初期値に戻す
	再設置
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青

- 4** [幾何学歪み補正ウィザード] を選択して【Enter】ボタンを押します。



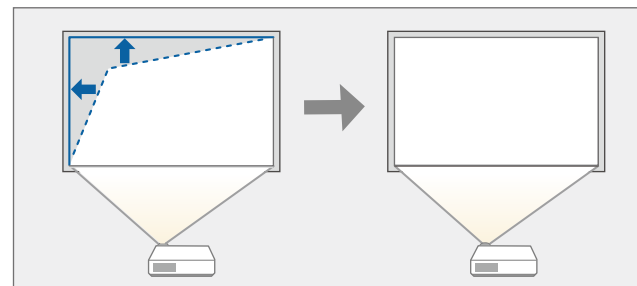
- 5** 画面の指示に従って、映像のゆがみを補正します。



- 6** メニューを閉じるには【Esc】を押します。

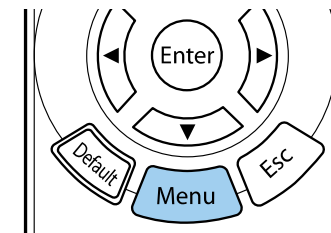
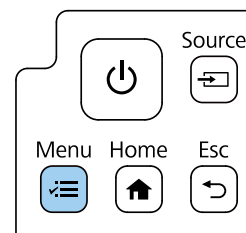
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

[Quick Corner] 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



[スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [設置] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ…
表示	設置モード フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正 ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード
ネットワーク	デジタルズーム
メモリー	リモコン受光部 オフ
節電	スクリーンタイプ 16:9
初期・全体設定	高地モード オフ
	入力ソース HDMI1
	ブランキング
	初期値に戻す
	再設置
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青

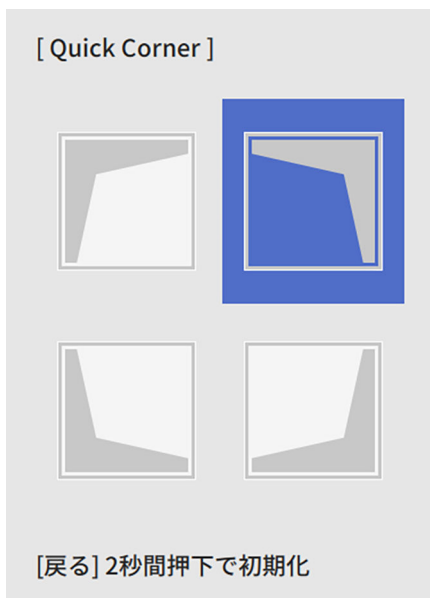
4 [幾何学歪み補正] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 [Quick Corner] を選択して【Enter】ボタンを押します。必要に応じて [はい] を選択して【Enter】ボタンを押します。

[幾何学歪み補正]	戻る
✓ Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
ゆがみ補正(スマートフォン)	
フレームフィット(スマートフォン)	
メモリー	

エリア選択画面が表示されます。

- 6** 上下左右ボタンを押して調整するコーナーを選択し、【Enter】ボタンを押します。

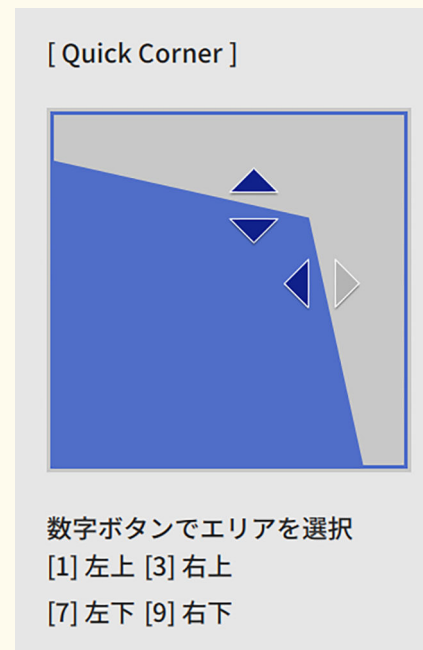


[Quick Corner] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【Esc】ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【Enter】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- リモコンの次の数字のテンキーボタンを押して、調整するコーナーを選択することもできます。
- 【1】：左上のコーナーを選択します。
- 【3】：右上のコーナーを選択します。
- 【7】：左下のコーナーを選択します。
- 【9】：右下のコーナーを選択します。
- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- 8** 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

- 9** 終了したら【Esc】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設置] メニューの [幾何学歪み補正] が [Quick Corner] に設定されます。

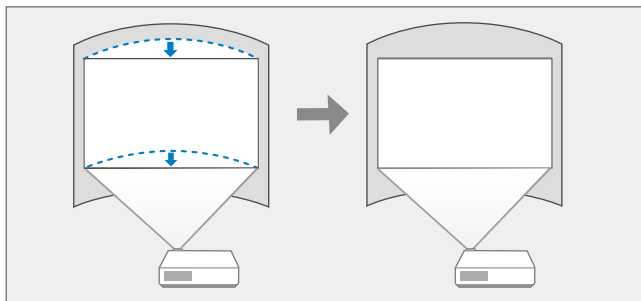


補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。

☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]

湾曲補正で映像のゆがみを補正する

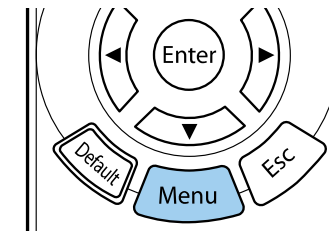
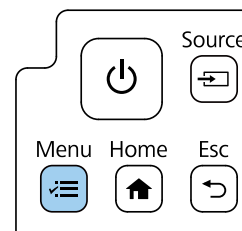
曲面に映像を投写するときは、[湾曲補正] 機能を使用して映像のゆがみを補正します。



[スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [設置] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整ガ...	
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正	ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード	
ネットワーク	デジタルズーム	▼
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	スクリーンタイプ	16:9 ▼
初期・全体設定	高地モード	オフ
	入力ソース	HDMI1
	ブランキング	
	初期値に戻す	
	再設置	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青

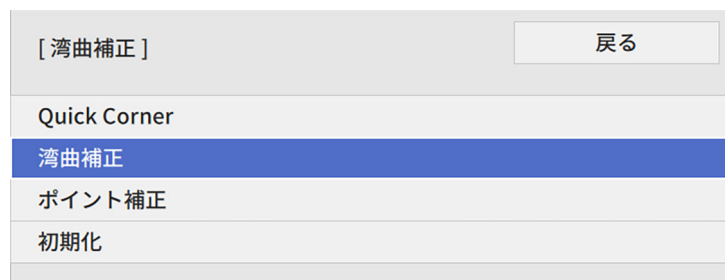
4 [幾何学歪み補正] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 [湾曲補正] を選択して【Enter】 ボタンを押します。



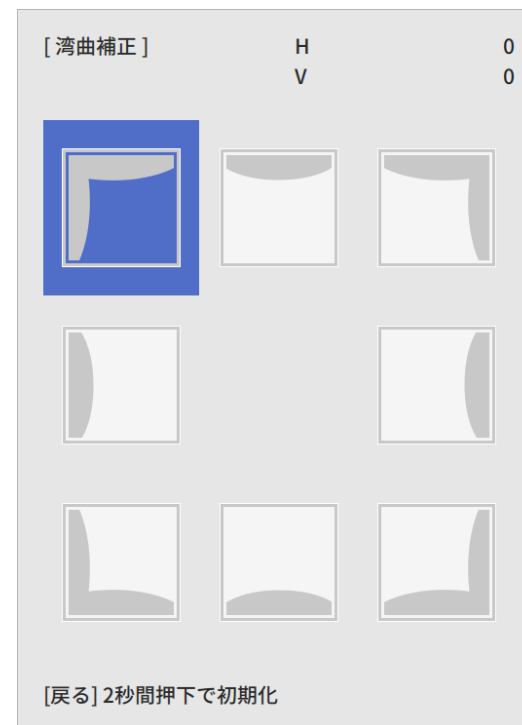
[湾曲補正] 画面が表示されます。

6 [湾曲補正] を選択して【Enter】 ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

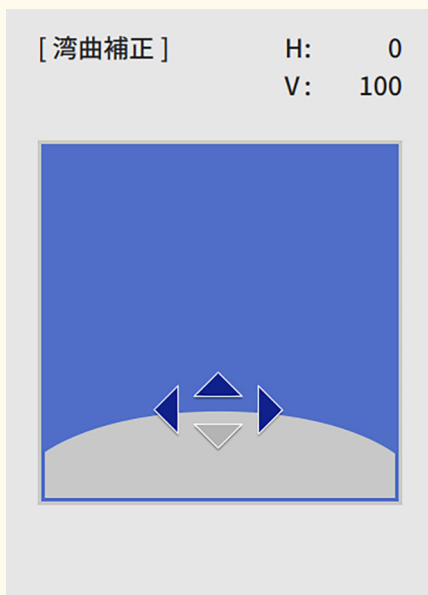
7 上下左右ボタンを押して補正するエリアを選択し、【Enter】 ボタンを押します。



8 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【Enter】 ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- 補正した結果を微調整できます。[Quick Corner] で映像の傾きを調整し、[ポイント補正] で微調整します。手順6の画面で [Quick Corner] または [ポイント補正] を選択してください。
- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
 - ☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- [湾曲補正] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【Esc】ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

▶▶ 関連項目

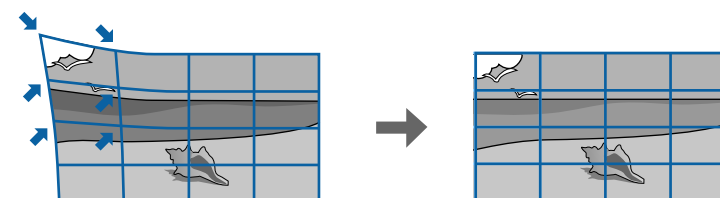
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.55](#)
- 「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 [p.60](#)

9 手順7と8を繰り返して、必要なすべてのエリアを補正します。

10 終了したら【Esc】ボタンを押します。

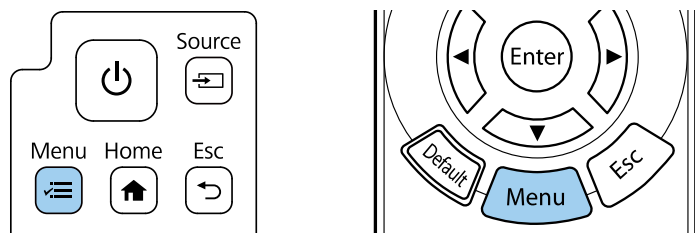
ポイント補正で映像のゆがみを補正する

[ポイント補正] 機能を使用して部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。



[スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 3 [設置] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整ガ...	
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正	ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード	
ネットワーク	デジタルズーム	▼
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	スクリーンタイプ	16:9 ▼
初期・全体設定	高地モード	オフ
	入力ソース	HDMI1
	ブランキング	
	初期値に戻す	
	再設置	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青

- 4 [幾何学歪み補正] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5 [ポイント補正] を選択して【Enter】ボタンを押します。必要に応じて [はい] を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 6 [ポイント補正] を選択して【Enter】ボタンを押します。



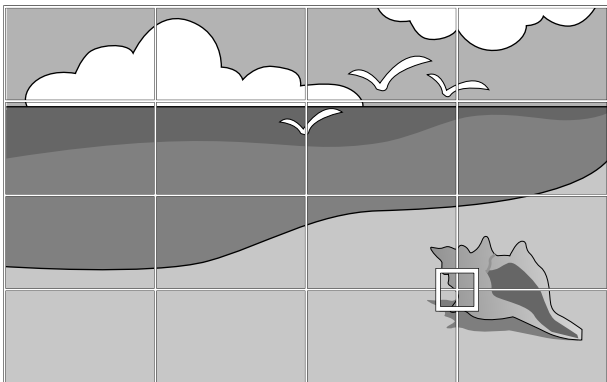
[Quick Corner] で映像のゆがみと大きさをだまかに補正し、[ポイント補正] で細かく調整します。

- 7 ポイントの数を選択して【Enter】ボタンを押します。投写画面に格子が表示されます。

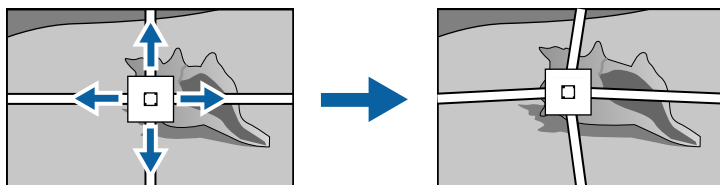


格子が見えにくいときは、【Esc】ボタンを押して、[ポイント補正]メニューの[パターン色]で色を変更します。

- 8** 上下左右ボタンを押して補正するポイントを選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 9** 上下左右ボタンで映像のゆがみを補正します。



- 10** 続けて他のポイントを補正する場合は、【Esc】ボタンを押して前の画面に戻り、手順8、9を行います。

- 11** 終了したら【Esc】ボタンを押します。

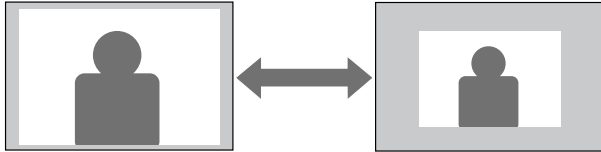


- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存]を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
 - ☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- [ポイント補正]で補正した結果を初期化するには、[ポイント補正]で[初期化]を選択します。

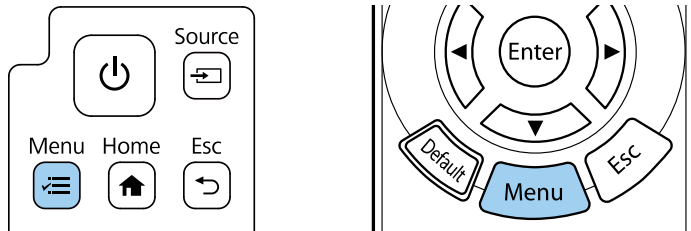
▶▶ 関連項目

- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.55](#)

ズームメニューで映像の大きさを調整できます。



- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 3 【設置】を選択して【Enter】ボタンを押します。

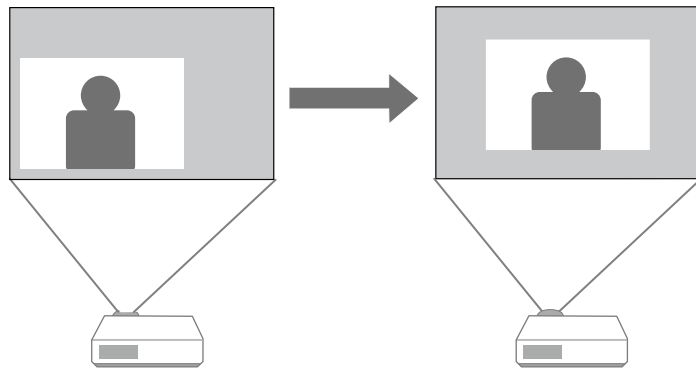
よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ…
表示	設置モード フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正 ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード
ネットワーク	デジタルズーム
メモリー	リモコン受光部 オフ
節電	スクリーンタイプ 16:9
初期・全体設定	高地モード オフ
	入力ソース HDMI1
	ブランキング
	初期値に戻す
	再設置
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青

- 4 【デジタルズーム】を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5 左右ボタンを押して映像の大きさを調整し、【Enter】ボタンを押します。
- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

[デジタルピクチャーシフト] 機能を使って、本機を動かさずに映像の投写位置を微調整できます。

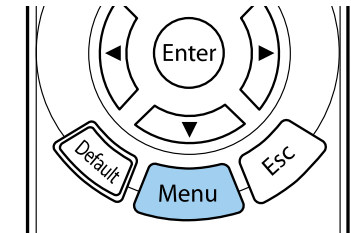
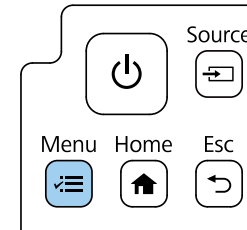


- デジタルズームで映像を縮小しているときに調整できます。
- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写位置の調整は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行ってください。
- Epson Setting Assistantと デジタルピクチャーシフトは同時に使用できません。Epson Setting Assistantの使用時に画面サイズと位置を調整したい場合は、Quick Cornerで調整してください。



1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

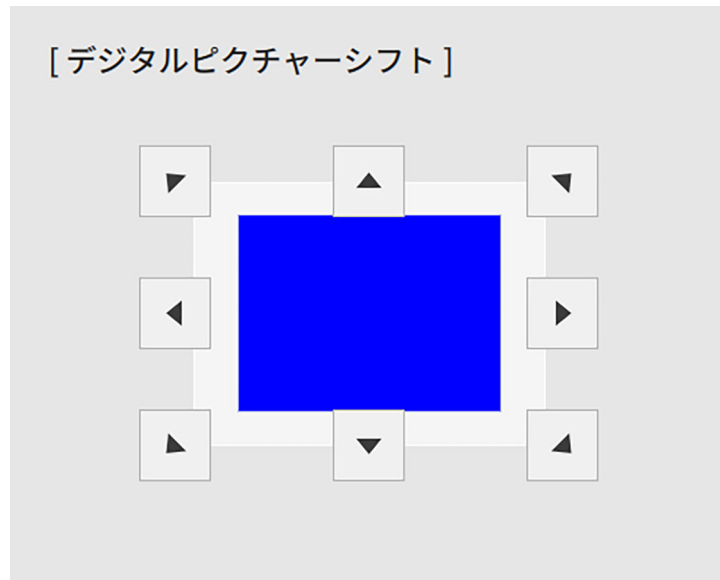


3 [設置] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ...
表示	設置モード フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正 ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード
ネットワーク	デジタルズーム
メモリー	リモコン受光部 オフ
節電	スクリーンタイプ 16:9
初期・全体設定	高地モード オフ
	入力ソース HDMI1
	ブランキング
	初期値に戻す
	再設置
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青

4 [デジタルピクチャーシフト] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



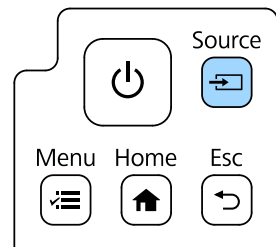
- 6** 【Esc】 ボタンを押して調整画面を終了します。
約10秒間何もしないと、調整画面は自動的に消えます。



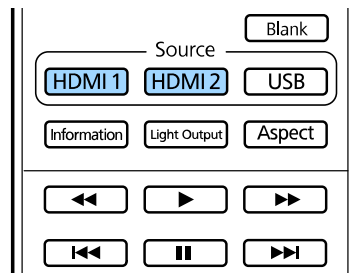
[デジタルピクチャーシフト] の設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2 ビデオ機器の映像を表示するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - 目的の機器からの映像が表示されるまで、プロジェクターの【Source】ボタンを押します。



- リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。



本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像調整]メニューでアスペクト比を設定します。

▶ 関連項目

- 「映像のアスペクト比を切り替える」 p.67
- 「アスペクトモードの種類」 p.67

映像のアスペクト比を切り替える

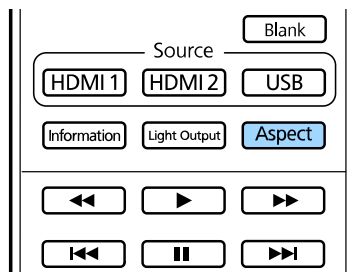
投写する映像のアスペクト比を切り替えます。



- アスペクト比を切り替える前に、[設置]メニューで[スクリーンタイプ]を設定してください。
- 入力ソースがHDMIのときのみ有効です。

1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。

2 リモコンの【Aspect】ボタンを押します。



表示される映像の形状と大きさが切り替わり、アスペクト比の名称が一時的に画面に表示されます。

3 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【Aspect】ボタンを繰り返し押します。



- 選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- 映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、[設置]メニューの[スクリーン位置]で映像の位置を調整できます。
 ● [設置] > [スクリーンタイプ] > [スクリーン位置]

アスペクトモードの種類

[スクリーンタイプ]の設定、および接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号によってアスペクト比が自動的に設定されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
Hズーム Vズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅（Hズーム）、または高さ（Vズーム）に合わせて映像を表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。

アスペクトモード	説明
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

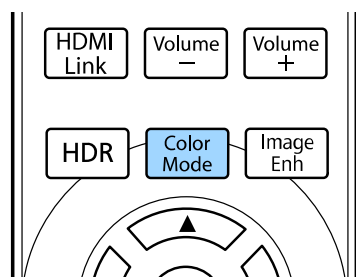
▶ 関連項目

- 「カラーモードを変更する」 p.69
- 「カラーモードの種類」 p.69
- 「映像の光量を調整する」 p.69

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1** 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** リモコンの【Color Mode】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

- 3** 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【Color Mode】ボタンを繰り返し押します。



カラーモードは [映像調整] メニューの [カラーモード] でも設定できます。

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

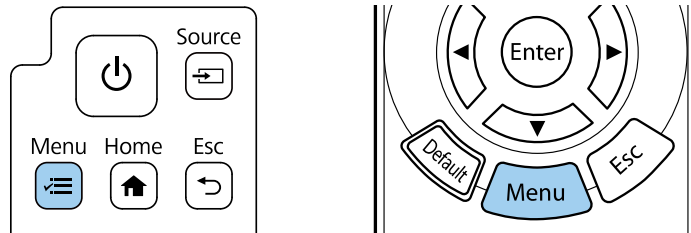
カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ビビッド	明るい部屋でさまざまなコンテンツを楽しむ場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
ナチュラル	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。

映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、映像の明るさに合わせてプロジェクターの光量を自動的に調整することで、コントラストを改善します。

- 1** 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

4 [ダイナミックコントラスト] を選択して【Enter】ボタンを押します。

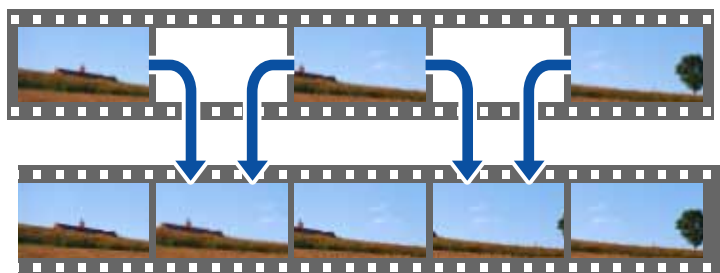
5 以下のいずれかを選択して【Enter】ボタンを押します。

- [標準]：標準の光量調整を行います。
- [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。



6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

[フレーム補間] 機能を使って、前後のフレームから中間のフレームを自動生成して補間することで、動きの速い動画をなめらかに再生できます。

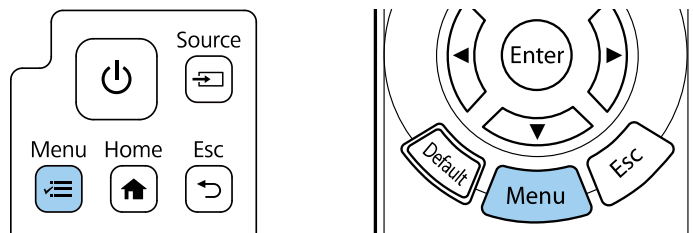


フレーム補間は以下の場合に有効です。

- 入力ソースが以下のとき
 - HDMI1
 - HDMI2
- [信号入出力] メニューの [映像処理] が [きれい] のとき

1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設定	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

4 [フレーム補間] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 補間レベルを選択して【Enter】ボタンを押します。

[フレーム補間]	戻る
✓ オフ	
弱	
標準	
強	

6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



調整後の映像にノイズが入るときは、[フレーム補間] をオフに戻します。

投写映像の色合いを細かく調整できます。

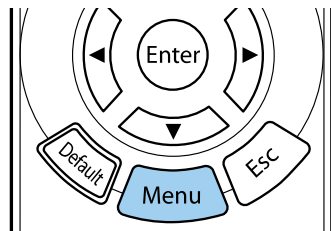
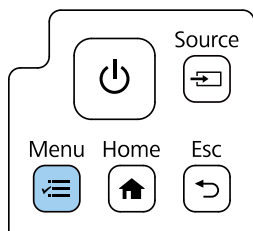
▶ 関連項目

- 「色相、彩度、明度を調整する」 p.73
- 「ガンマを調整する」 p.74

色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



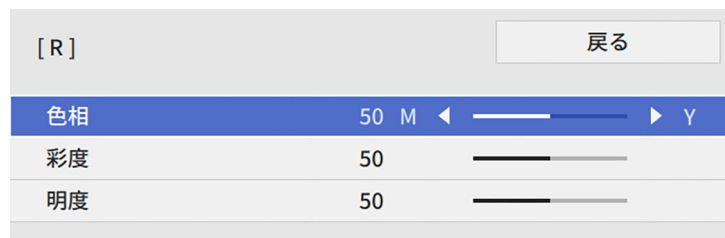
- 3 [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

- 4 [RGBCMY] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5 調整する色を選択して【Enter】ボタンを押します。

[RGBCMY]		戻る	
	色相	彩度	明度
R	50	50	50
G	50	50	50
B	50	50	50
C	50	50	50
M	50	50	50
Y	50	50	50

- 6** 必要に応じて以下を調整します。
- ・ [色相]：映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
 - ・ [彩度]：映像全体の鮮やかさを調整します。
 - ・ [明度]：映像全体の明るさを調整します。



- 7** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマを調整する

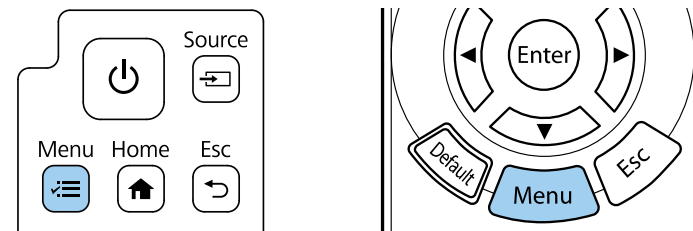
ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。



シーンに応じて階調表現を最適化し、メリハリのある映像にするときは [シーン適応ガンマ補正] で映像を補正します。

- 1** 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。

- 2** 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

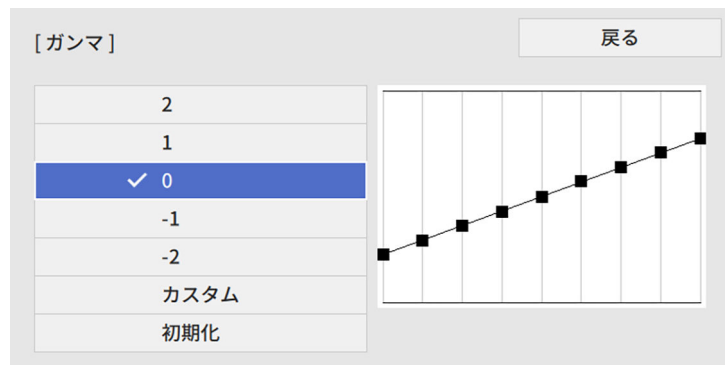


- 3** [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

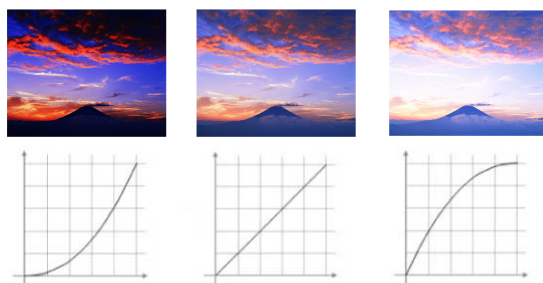
よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

- 4** [ガンマ] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 補正值を選んで調整します。



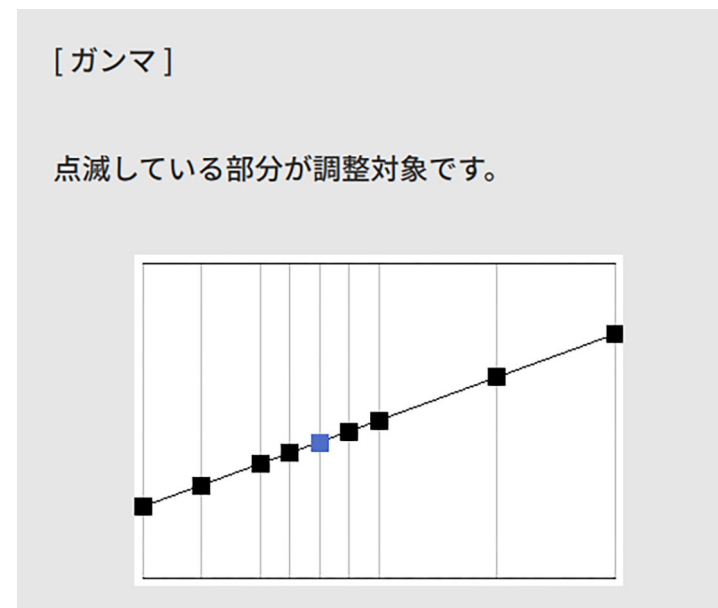
数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

6 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択して【Enter】ボタンを押します。

7 ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【Enter】ボタンを押します。



8 【Menu】 ボタンまたは【Esc】 ボタンを押してメニューを終了します。

映像の解像感を調整することで、質感や素材感のあるくっきりとした映像を表現できます。

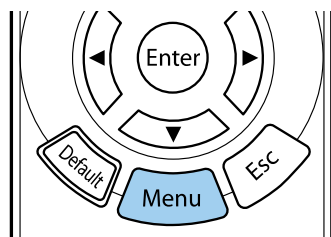
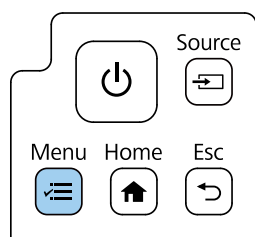


[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション] は [映像処理] が [きれい] のときに設定できます。

☞ [信号入出力] > [映像処理]

1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

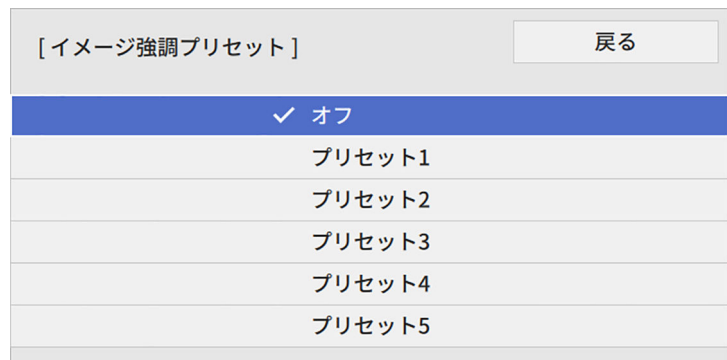
よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

4 [イメージ強調] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 [イメージ強調プリセット] を選択して【Enter】ボタンを押します。



6 プリセットを選択して【Enter】ボタンを押します。



プリセットに登録されている以下の項目の設定値が映像に反映されます。

- [ノイズリダクション]
- [MPEGノイズリダクション]
- [超解像]
- [自動コントラスト強調]

7 必要に応じて、[映像調整] メニューでそれぞれの設定値を個別に調整します。

- [ノイズリダクション]：映像のざらつきを抑えます。
- [MPEGノイズリダクション]：MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
- [超解像]：解像度の低い映像を投写するときに、解像度を高めて映像のボケを軽減します。
- [自動コントラスト強調]：映像のコントラストを部分的に自動調整して、鮮やかでメリハリのある映像にします。



調整後、プリセットの設定値は上書きされます。

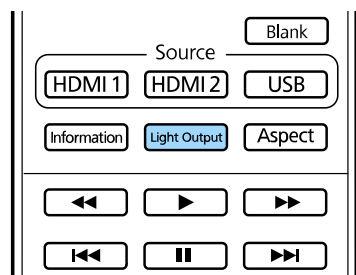
8 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



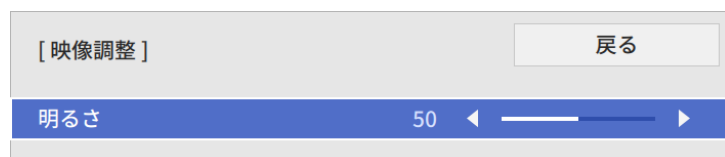
[イメージ強調] は [映像調整] メニューでも設定できます。

光源の明るさを設定します。

- 1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【Light Output】ボタンを押します。



- 3 左右ボタンで明るさを設定します。



- 4 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



「明るさレベル」は「映像調整」メニューでも設定できます。

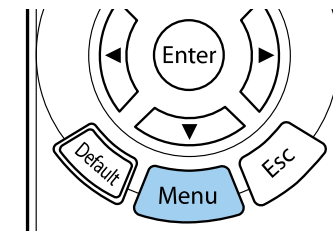
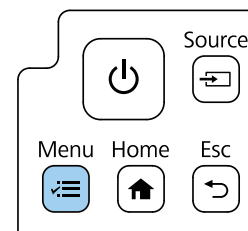
▶ 関連項目

- 「映像の光量を調整する」 p.69
- 「本機仕様」 p.182

映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、映像の明るさに合わせてプロジェクターの光量を自動的に調整することで、コントラストを改善します。

- 1 本機の電源を入れて、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



3 [映像調整] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

4 [ダイナミックコントラスト] を選択して【Enter】ボタンを押します。

5 以下のいずれかを選択して【Enter】ボタンを押します。

- [標準]：標準の光量調整を行います。
- [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

[ダイナミックコントラスト]	戻る
高速	
標準	
✓ オフ	

プロジェクターの便利な機能

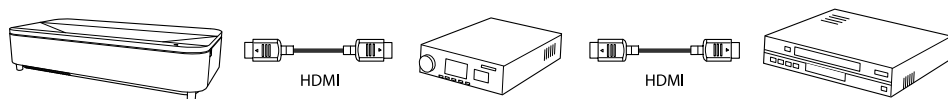
プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- 「HDMIリンク機能」 [p.81](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.83](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.89](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.95](#)
- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.96](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.97](#)

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

例：電源オン連動やAVアンプの音量調整など



- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で同時に接続できるプレーヤーは3台までです。

▶ 関連項目

- 「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 p.81

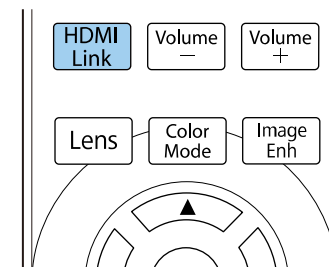
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機器を操作できます。



- HDMIリンク機能を使用するには、[信号入出力]メニューの[HDMIリンク]を[オン]に設定します。
 ● [信号入出力] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]
- 接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

1 リモコンの【HDMI Link】ボタンを押します。



2 [HDMIリンク]が[オン]に設定されていることを確認します。

3 [接続機器一覧]を選択して【Enter】ボタンを押します。

[HDMIリンク]	戻る
接続機器一覧	
HDMIリンク	オン ^
電源オン連動	双方向
電源オフ連動	オフ

4 HDMIリンクで操作したり、映像を表示したりする機器を選択して【Enter】ボタンを押します。



- HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
- 機器名が取得できないときは空欄になります。

5 必要に応じて【Esc】ボタンを押して、HDMIリンクのオプション設定をします。

- [電源オン連動]：本機や接続機器の電源を入れたときに連動する操作を設定します。



- 本機の電源を入れたときに、接続機器の電源も入るようになるには、[PJ→接続機器]または[双方向]を選択します。
- 接続機器の電源を入れたときに、本機の電源も入るようになるには、[接続機器→PJ]または[双方向]を選択します。

- [電源オフ連動]：本機の電源オフに連動して、接続機器の電源も切るかどうかを設定します。



- [電源オフ連動]は、接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効です。
- 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。

6 【HDMI Link】ボタン、または【Esc】を押してメニューを終了します。

本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、音量調整などの操作ができます。

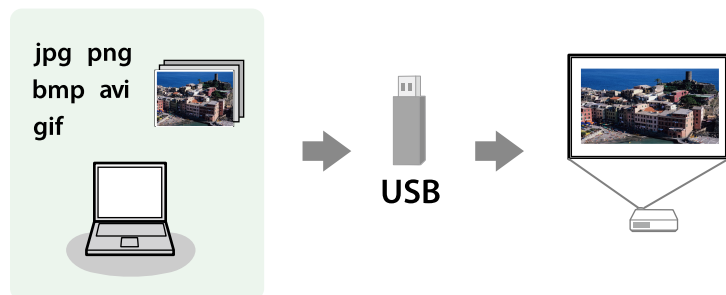


「信号入出力」メニューの「HDMIリンク」でも設定できます。

▶ 関連項目

- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



▶ 関連項目

- 「サポートファイル形式」 p.83
- 「PC Free使用時の注意事項」 p.84
- 「PC Freeのスライドショーを開始する」 p.85
- 「PC Freeで動画を投写する」 p.86
- 「PC Freeの表示オプション」 p.87

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1280×800を超えるファイル • アニメーションファイル • インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1920×1200を超えるファイル • インターレース形式 解像度1,080p対応プロジェクターでは、解像度1,920×1,200まで投写できます。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	<ul style="list-style-type: none"> バージョン：AVI 1.0のみ 解像度：最大1280×720 サイズ：最大2 GB 動画コーデック：Motion JPEG フレームレート：最大30 fps 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM 音声サンプリングレート：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
動画	.mp4/.mov (H.264, H.265)	<ul style="list-style-type: none"> 解像度：最大1920×1200 サイズ：最大2 GB 動画コーデック：H.264/MPEG-4 AVC、H.265/MPEG-H HEVC フレームレート：最大30 fps プロファイル： <ul style="list-style-type: none"> H.264/MPEG-4 AVC：Baseline Profile、Main Profile、High Profile H.265/MPEG-H HEVC：Main Profile カラーフォーマット：YUV420 ビデオのスライス構造が複数でないこと 音声コーデック：MPEG-2 AAC-LC、MPEG-4 AAC-LC、LPCM 音声チャンネル：最大2チャンネル 音声ビットレート：8ビット、16ビット 音声サンプリングレート： <ul style="list-style-type: none"> MPEG-2 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz MPEG-4 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz LPCM：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、PC Free機能が使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。

▶ 関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 p.95

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えてスライドショーを開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、【Enter】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

- 1 PC Freeファイル一覧画面が表示されるまで、リモコンの【USB】ボタンを押します。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して【Enter】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して【Enter】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、「上へ戻る」を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、「次のページ」または「前のページ」を選択して【Enter】ボタンを押します。

3 次のいずれかの操作を行います。

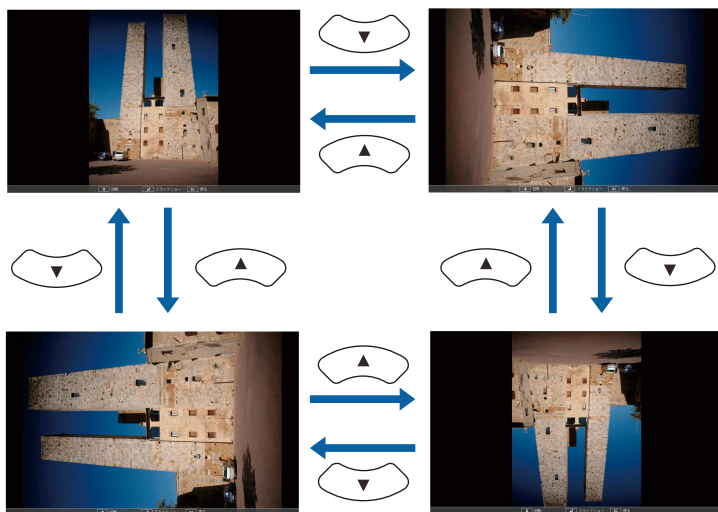
- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択して【Enter】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【Esc】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の「スライドショー」を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の「オプション」を選択し、【Enter】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【Esc】ボタンを押します。ファイル一覧画面に戻ります。

6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶▶ 関連項目

- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「PC Freeの表示オプション」 p.87

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えて動画の投写を開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、【Enter】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1** PC Freeファイル一覧画面が表示されるまで、リモコンの【USB】ボタンを押します。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して【Enter】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 2** 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して【Enter】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 3** 上下左右ボタンでファイルを選択して【Enter】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の「スライドショー」を選択します。

- 4** 投写を終了するときは、【Esc】ボタン押し、[終了]を選択して【Enter】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

- 5** 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶▶ 関連項目

- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「PC Freeの表示オプション」 p.87

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の「オプション」を選択して【Enter】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし

コンテンツ再生モードを使うと、デジタルサイネージに適した映像を投写できます。外部メモリーに保存されているプレイリストの写真や動画を投写できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。



▶ 関連項目

- 「コンテンツ再生モードに切り替える」 p.89
- 「プレイリストを再生する」 p.90
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 p.93
- 「コンテンツ再生モードの制限事項」 p.94

コンテンツ再生モードに切り替える

プレイリストを再生するには、コンテンツ再生モードに切り替えます。



【スクリーンタイプ】がプロジェクターの解像度と異なるアスペクト比に設定されているとき、【コンテンツ再生】を【オン】にすると、【スクリーンタイプ】の設定は初期値に戻ります。

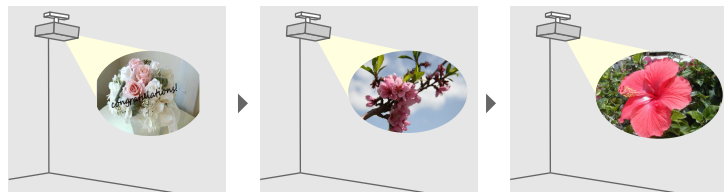
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 【Menu】ボタンを押し、【動作】を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	動作	
映像調整	自動入力検出	オン
信号入出力	光源明るさ制御	
設置	ダイレクトパワーオン	オフ
表示	オートパワーオン	オフ
動作	スリープモード	オン
管理	スリープモード時間	10分
ネットワーク	待機モード	通信オン
メモリー	高速起動	オフ
節電	USB給電	投写時オン
初期・全体設定	インジケータ表示	オン
	方向ボタン反転	オフ
	コンテンツ再生	オフ
	動作初期化	
	管理	
	ユーザーボタン	光源モード
	チャイルドロック	オフ
	操作ボタンロック	オフ

- 3 【コンテンツ再生】を【オン】にします。
確認メッセージが表示されます。
- 4 コンテンツ再生モードを有効にするために、本機の電源を入れなおします。

プレイリストを再生する

コンテンツ再生モードでは、プレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。



1 以下の方法でプレイリストを作成し、USBメモリーに保存します。

- Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。

Epson Projector Content Managerは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download

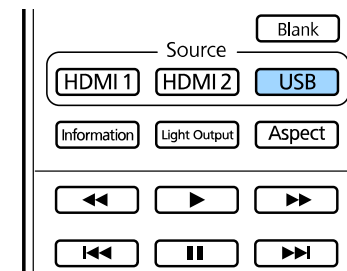
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
- Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。

Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

2 コンテンツ再生モードが有効な状態で、USBメモリーを本機のUSB-A端子に接続します。

3 リモコンの【USB】ボタンを押します。



前回再生したプレイリストが再生されます。タイムテーブルを設定しているときは、その時間に指定されているプレイリストが再生されます。



再生するプレイリストを一覧から選択するには、[動作]メニューの[USBビューアー]を選択し、上下左右ボタンで選択します。

▶▶ 関連項目

- 「Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する」 p.90
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する

コンテンツ再生モードでは、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されているUSBメモリーに保存できます。

注意

プレイリストの作成中は、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- 1** 本機がコンテンツ再生モードで動作中であることを確認します。
- 2** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3** USBメモリーがプロジェクターのUSB-A端子に接続されていることを確認します。
- 4** お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 5** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

- 6** [USBメモリー] を選択します。



7 [素材のアップロード] を選択します。



8 プレイリストに追加したい画像や動画を選択します。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。

.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。

選択したファイルが、プロジェクターに接続されているUSBメモリーにコピーされます。

9 次のいずれかの操作を行います。

- アップロードした画像や動画を既存のプレイリストに追加したいときは、[プレイリストに追加] を選択し、追加するプレイリストを選択します。
- 新しいプレイリストを作成したいときは、[新規プレイリストを作成] を選択します。

10 プレイリストを編集します。



- 1 プレイリスト名を編集できます。
- 2 繰り返し再生するかどうかを設定します。

- ③ お気に入りに登録します。
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- ④ プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- ⑤ 画像や動画を追加します。
- ⑥ 画像や動画を一覧から削除します。
- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。



エフェクト機能を使うときは、[リフレッシュモード] を定期的に行ってください。

☞ [管理] > [リフレッシュモード]

11 終了したら、[完了] を選択します。



- [リモコン] または [プレイリスト] 画面からプレイリストを再生できます。
- プレイリストを再生する日時を設定するには、Epson Projector Content Managerを使用します。

▶▶ 関連項目

- 「Web Controlの画面一覧」 [p.103](#)

映像に効果を加える（エフェクト機能）

コンテンツ再生モードでは、映像の色や形を変えて投写できます。

- 1 コンテンツ再生モードが有効な状態で【Menu】ボタンを押し、[動作] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	動作	
映像調整	自動入力検出	オン
信号入出力	光源明るさ制御	
設置	ダイレクトパワーオン	オフ
表示	オートパワーオン	オフ
動作	スリープモード	オン
管理	スリープモード時間	10分
ネットワーク	待機モード	通信オン
メモリー	高速起動	オフ
節電	USB給電	投写時オン
初期・全体設定	インジケータ表示	オン
	方向ボタン反転	オフ
	コンテンツ再生	オフ
	動作初期化	
	管理	
	ユーザーボタン	光源モード
	チャイルドロック	オフ
	操作ボタンロック	オフ

- 2 [エフェクト] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 3** [エフェクト] を [オン] に設定して【Enter】ボタンを押します。

[エフェクト]		戻る
エフェクト	オン	↑
形状フィルター	円1	
カラーフィルター	オフ	
明度	100	

- 4** [形状フィルター] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [形状]：エフェクトの形状を、丸、四角、カスタムから選択します。



Epson Projector Content Managerを使うと、お好きな画像をカスタムに登録できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- [フィルター効果]：選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするかを選択します。
- [サイズ]：選択した形状のサイズを設定します。
- [表示位置]：選択した形状の表示位置を設定します。



カスタムを使用するときは、[サイズ] と [表示位置] 設定は変更できません。

- 6** [カラーフィルター] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 7** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [カラーフィルター]：エフェクトの色を選択します。
- [カスタム]：[赤]、[緑]、[青] をそれぞれ調整します。

- 8** エフェクトの明るさを設定するときは、[明度] を選択します。

- 9** 【Menu】ボタンを押して終了します。

コンテンツ再生モードの制限事項

操作に関する制限事項

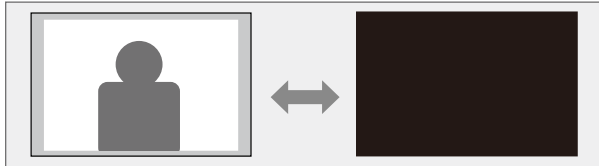
コンテンツ再生モードでは、以下の操作や設定の変更はできません。

- [映像調整] > [色温度] ([カラーフィルター] で [ウォームホワイト]、または [クールホワイト] が設定されているとき)
- [設置] > [スクリーンタイプ]
- [表示] > [無信号時画面]
- [管理] > [ログ保存先]
- 自動入力検出
- [ネットワーク設定] > [Remoteパスワード]
- PC Free

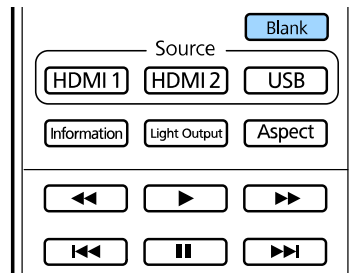
▶▶ 関連項目

- 「映像調整メニュー」 [p.123](#)
- 「スクリーンタイプを設定する」 [p.48](#)
- 「ネットワーク設定メニュー」 [p.136](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.83](#)

投写中の映像を一時的に遮断し、音声のみを再生します。



- 1 リモコンの【Blank】ボタンを押して、映像を遮断します。音声は再生されます。



- 2 投写を再開するときは、再度【Blank】ボタンを押します。



停止中も映像は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リモコンの【Menu】ボタンを押し、[メモリー]を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	ネットワーク設定
映像調整	ネットワーク初期化
信号入出力	メモリー
設置	メモリー保存
表示	メモリー呼出
動作	メモリー名称変更
管理	メモリー削除
ネットワーク	メモリー初期化
メモリー	節電
節電	光源モード ノーマル
初期・全体設定	スリープモード オン ^
	スリープモード時間 10分
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新
	一括設定書き出し
	一括設定読み込み

- 3** 次のいずれかを選択します。
 - [メモリー保存]：現在の設定をメモリーに登録します（10件まで登録できます）。



- 以下の設定を登録できます。
 - カラーモードごとに調整した [映像調整] メニューの設定
 - [信号入出力] メニューの [ビデオレンジ]
 - [動作] メニューの [光源モード] と [明るさレベル]
- すでに登録済みのメモリー名は青いマークで表示されます。保存済みのメモリー名を選択したときは、保存内容を消去して、現在の設定と置き換えます。

- [メモリー呼出]：保存したメモリーを呼び出して、現在の設定と置き換えます。
- [メモリー名称変更]：メモリー名を変更します。
- [メモリー削除]：選択したメモリーを消去します。

- 4** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



- メモリー保存時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示されます。
- 保存されたメモリーを消去するには、[メモリー初期化]を選択します。

▶▶ 関連項目

- 「映像調整メニュー」 [p.123](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)
- 「動作メニュー」 [p.132](#)

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- 操作ボタンロック:操作パネルのボタン操作をできないようにします。イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- セキュリティーケーブル:プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 p.97
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 p.98
- 「セキュアHTTP」 p.98

操作パネルのボタン操作を制限する

プロジェクターのボタンをロックして、本機の無断使用を防ぎます。

- 1 【Menu】 ボタンを押し、[管理] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

よく使う項目	管理	
映像調整	ユーザーボタン	光源モード
信号入出力	チャイルドロック	オフ
設置	操作ボタンロック	オフ
表示	4Kエンハンスメント	オン
動作	ユニフォーミティ	
管理	リフレッシュモード	
ネットワーク	日付&時刻	
メモリー	スケジュール設定	
節電	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
初期・全体設定	一括設定範囲	
	言語	日本語
	情報表示	
	ステータス表示	
	ログ表示	
	管理初期化	
	ネットワーク	
	有線LAN情報	

- 2 ロックの種類を選択して【Enter】 ボタンを押します。
 - プロジェクターの電源ボタンをロックするには、[チャイルドロック] を選択します。
ロック時に電源をオンにするには、電源ボタンを3秒以上押します。



[動作] メニューで [ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは、[チャイルドロック] をオンに設定していても、電源コードを接続するだけでプロジェクターの電源がオンになりますので、ご注意ください。

- プロジェクターのすべてのボタンをロックするときは、[操作ボタンロック] > [全ロック] の順に選択します。



プロジェクターのボタンがロックされていても、リモコンからは操作できます。

- 電源ボタン以外のすべてのボタンをロックするときは、[操作ボタンロック] > [電源以外ロック] の順に選択します。

3 確認メッセージが表示されたら [はい] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

[操作ボタンロック] の設定が有効になります。

4 [チャイルドロック] の設定を有効にするには、プロジェクターを再起動します。

▶ 関連項目

- 「ボタンロックを解除する」 p.98
- 「動作メニュー」 p.132
- 「管理メニュー」 p.134

ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- [管理] メニューで [チャイルドロック] を [オフ] に設定します。
- [管理] メニューの [操作ボタンロック] を [オフ] に設定します。



[操作ボタンロック] は、操作パネルの【Enter】ボタンを約7秒間押し続けることでも解除できます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。

▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 p.134

セキュリティーケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティーケーブルを本機に取り付けることができます。

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムを本機のセキュリティースロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington社のWebサイトをご覧ください。

<https://www.kensington.com/>

セキュアHTTP

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティーを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP] 設定をオンにします。

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

▶ 関連項目

- 「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 p.99
- 「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 p.100

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューと外付けデバイスを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



- 本機では、外付けデバイスとしてUSBメモリーを使用できます。
- 電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【Menu】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 3 [ネットワーク設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 4 [プロジェクター制御] を選択して【Enter】ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
コマンド通信	プロテクト	
Web API設定		
ベーシックコントロール	オフ	▼
PJLink	オフ	▼
AMX Device Discovery	オフ	
Crestron Connected	オフ	▼
Crestron XiO Cloud	オフ	
Control4 SDDP	オフ	
セキュアHTTP	オン	▲
Webサーバー証明書		

- 5 [セキュアHTTP] を [オン] に設定します。
- 6 [Webサーバー証明書] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 7 [登録] を選択して【Enter】ボタンを押します。
- 8 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。
- 9 【Enter】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。
- 10 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 11 証明書のパスワードを入力して【Enter】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.102](#)
- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.111](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.112](#)
- 「PJLinkについて」 [p.113](#)
- 「Crestron Connectedについて」 [p.114](#)
- 「Web API」 [p.116](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.117](#)

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。

コンテンツ再生モードではプレイリストの編集もできます。

注意

以下の場合には、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- [プレイリスト] 画面表示中
- [USBメモリー] 画面表示中



- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。
- 以下のWebブラウザを使用できます。
 - Microsoft Edge (Windows)
 - Safari (Mac、iOS)
 - Chrome (Android)
- お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- [動作] メニューの [待機モード] を [通信オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。

1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

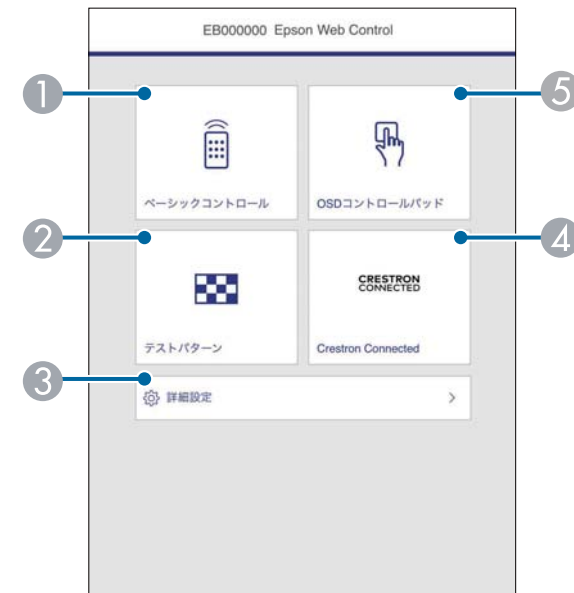
2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

3 お使いの機器でWebブラウザを起動します。

4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、[Epson Web Control] 画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

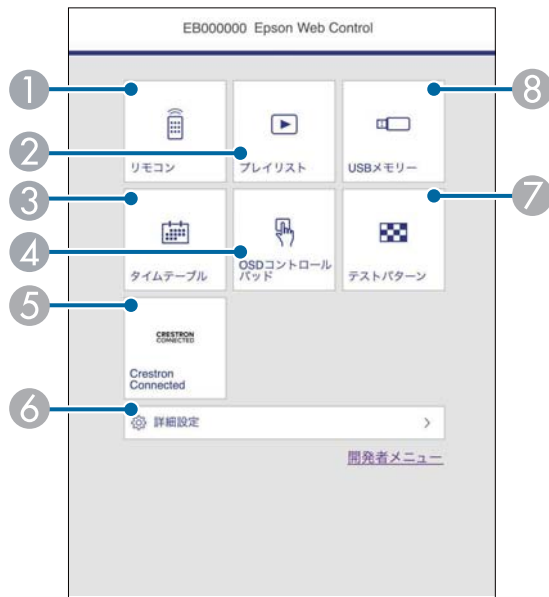
[Epson Web Control] 画面が表示されます。

- 通常モード



- 1 本機をリモート操作します。
- 2 テストパターンを表示します。
- 3 本機の詳細設定をします。
- 4 Crestron ConnectedとCrestron XiO Cloudの操作画面を表示します。
- 5 指やマウスで本機のメニューを操作します。

- コンテンツ再生モード



- ① 本機をリモート操作します。
- ② 再生したいプレイリストを選択します。プレイリストの作成や編集もできます。
- ③ [タイムテーブル] 画面を表示します。
- ④ 指やマウスで本機のメニューを操作します。
- ⑤ Crestron ConnectedとCrestron XiO Cloudの操作画面を表示します。
- ⑥ 本機の詳細設定をします。
- ⑦ テストパターンを表示します。
- ⑧ プレイリスト用の素材データをUSBメモリーに転送します。

5 操作したい項目を選択します。



[Epson Web Control] 画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。あらかじめ以下のパスワードを設定してください。

- [ベーシックコントロール] にアクセスするときは、ユーザー名 **EPSONREMOTE** と [Remoteパスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません)
[ネットワーク] メニューで [ベーシックコントロール] を [オン] にして、パスワードを設定してください。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [ベーシックコントロール]
- その他の画面にアクセスして設定を保存するときは、ユーザー名 **EPSONWEB** と [Web制御パスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません)
[ネットワーク] メニューでパスワードを設定してください。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

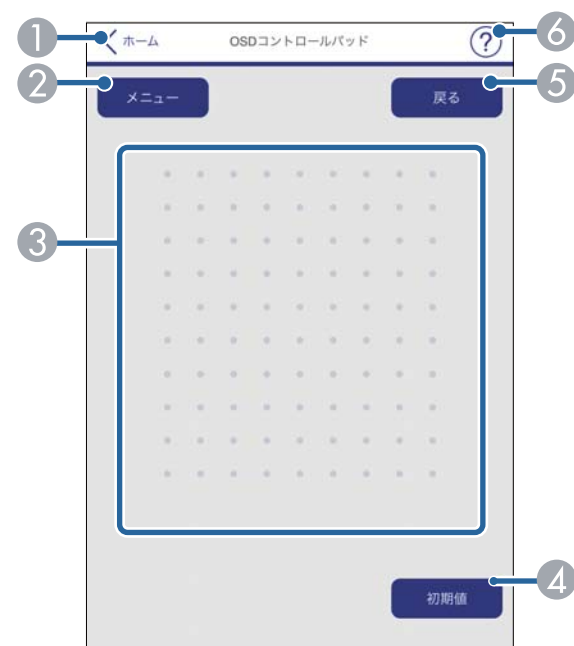
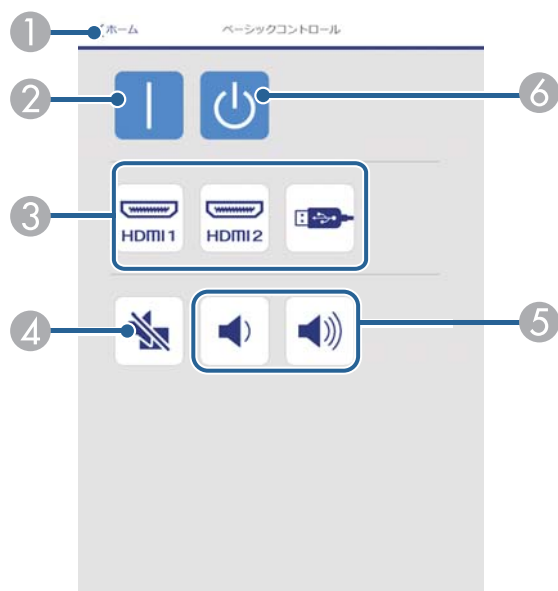
▶▶ 関連項目

- 「Web Controlの画面一覧」 [p.103](#)

Web Controlの画面一覧

ベーシックコントロール

[ベーシックコントロール] 画面では、入力ソースを選択したり、プロジェクターを操作できます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源を入れます。
- ③ 入力ソースを選択します。(入力可能なソースは機種により異なります。)
- ④ 映像を一時的に遮断します。外部スピーカーに接続している場合、音声は再生されます。
- ⑤ 外部スピーカーの音量を調整します。
- ⑥ 本機の電源を切ります。

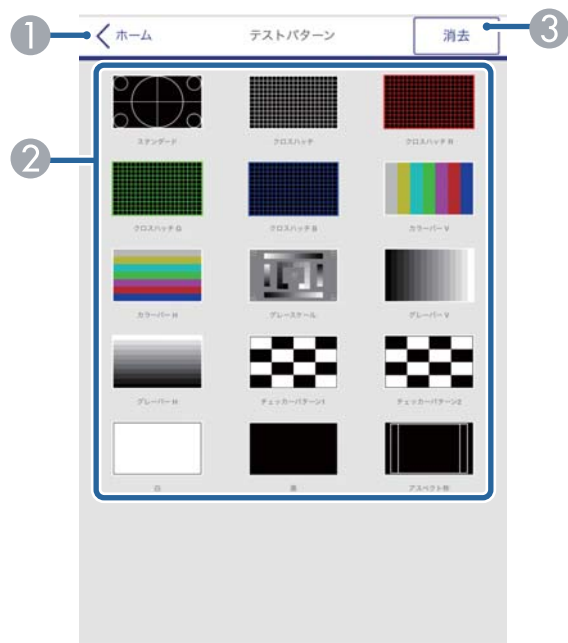
OSDコントロールパッド

[OSDコントロールパッド] 画面では、指やマウスでプロジェクターのメニューを操作できます。

- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 選択した設定を初期値に戻します。
- ⑤ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑥ ヘルプを表示します。

テストパターン

[テストパターン] 画面では、テストパターンを表示できます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
(表示可能なテストパターンは機種により異なります。)
- ③ テストパターンの表示を終了します。

詳細設定

[詳細設定] 画面では、プロジェクターの詳細設定ができます。



- ① メニューを開きます。
- ② 選択しているメニュー名を表示します。
- ③ 本機の設定をします。(設定項目は機種により異なります。)
- ④ 本機の設定をロックまたはアンロックします。
ロックすると、誤ってEpson Web Controlの設定値を変更してしまうことを防ぎます。
- ⑤ 本機の設定を更新します。



以下の項目はWebブラウザでは変更できません。

- [HDMIリンク]
- [固定設置]
- [セッティングプレート調整ガイド]
- [デジタルピクチャーシフト]
- [再設置]
- [コンテンツ再生]
- [言語]
- [ステータス表示]
- [ネットワーク初期化]
- [ファームウェア更新]

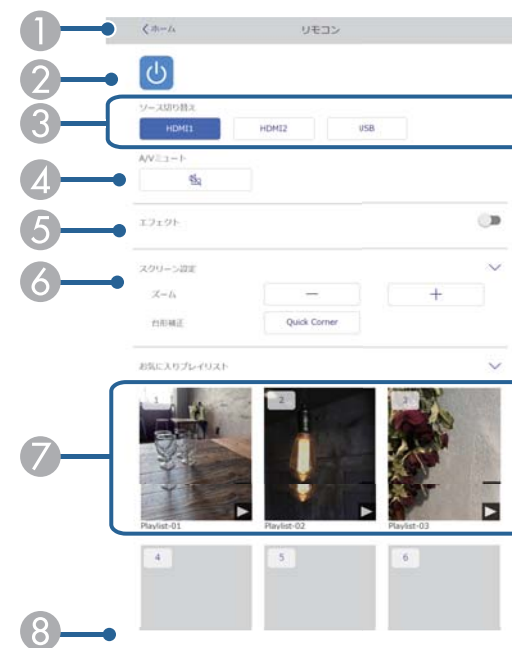


以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。

- 初期設定
- Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
初めてコマンド通信を行うときは、Webブラウザでパスワードを設定する必要があります。
- IPv6設定（手動）
- HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号）
- ログ表示

リモコン（コンテンツ再生モード時のみ）

[リモコン] 画面では、入力ソースの選択、プロジェクターの操作、プレイリストの再生ができます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。（入力可能なソースは機種により異なります。）
- ④ 映像を一時的に遮断します。
- ⑤ 入力ソースがUSB以外のとき、[エフェクト] の項目が表示されます。
[エフェクト] をオン/オフします。投写映像の色や形を変えたいときはオンにしてください。
オンにすると、[エフェクト] 画面が表示されます。あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑥ 画面の設定をします。
- ⑦ お気に入りに登録したプレイリストの一覧です。選択すると再生が始まります。

- ⑧ 再生中のプレイリストの情報を表示します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。

🌀 : エフェクトが設定されています

🔄 : 繰り返し再生が設定されています

⏮️⏭️ : プレイリストの長さ

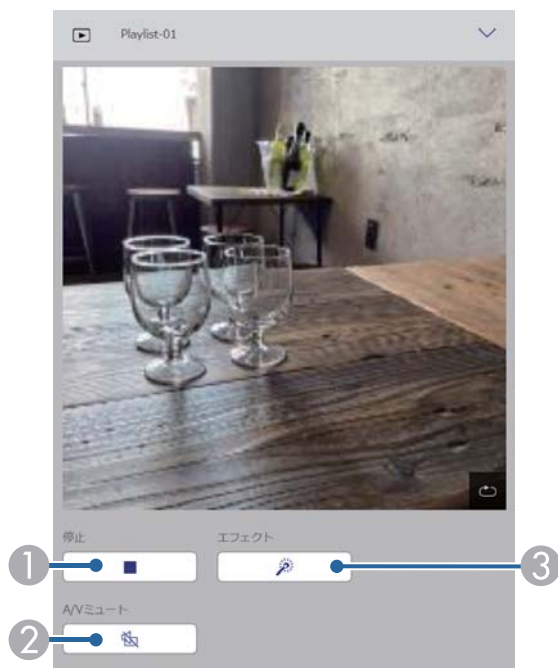
右下の矢印を選択すると、次の画面が表示されます。

- ③ [エフェクト] 画面を表示します。あらかじめ用意されているエフェクトの設定を選択、または明度、カラーフィルター、形状フィルターのエフェクトを個別に設定します。

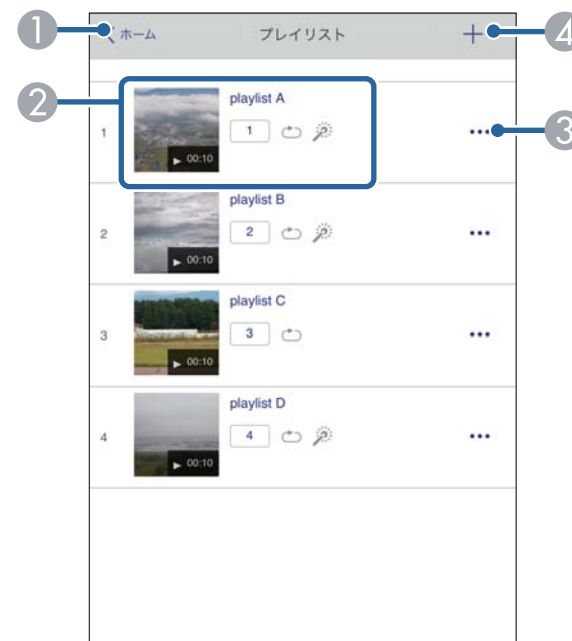
プレイリスト (コンテンツ再生モード時のみ)

[プレイリスト] 画面では、再生したいプレイリストを選択できます。プレイリストの作成や編集もできます。

プレイリスト再生中の画面 (コンテンツ再生モード時のみ)



- ① 投写を停止します。
② 映像を一時的に遮断します。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。

- ② プレイリストを再生します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。
📌：お気に入りに登録された番号
🔄：繰り返し再生が設定されています
🎧：エフェクトが設定されています
- ③ メニューから、プレイリストの編集、複製、お気に入り登録、削除ができます。
[編集] または [複製] を選択したときは、[プレイリスト編集] 画面が表示されます。
- ④ [新規プレイリスト] 画面で新規プレイリストを作成できます。

新規プレイリスト/プレイリスト編集画面（コンテンツ再生モード時のみ）



- ① プレイリスト名を編集できます。
- ② 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- ③ お気に入りに登録します。
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- ④ プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- ⑤ 画像や動画を追加します。
- ⑥ 画像や動画を一覧から削除します。

- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。

USBメモリー（コンテンツ再生モード時のみ）

[USBメモリー] 画面では、プレイリストに追加したい写真や動画をUSBメモリーに転送したり、不要な写真や動画をUSBメモリーから削除できます。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。
.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② プレイリストに追加する写真や動画を、USBメモリーに転送します。
- ③ 写真や動画をUSBメモリーから消去します。

タイムテーブル（コンテンツ再生モード時のみ）

[タイムテーブル] 画面では、タイムテーブルを有効または無効にできません。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② タイムテーブルをオン/オフします。



Epson Projector Content Managerのタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

セキュリティー設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク] メニューからも行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [セキュアHTTP] > [Webサーバー証明書]

- 1 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
- 5 [詳細設定] を選択します。



- 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ブラウザのエラー画面が表示されます。[ネットワーク設定] でパスワードを設定してください。)
- パスワードは、[ネットワーク] メニューで変更できません。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

- 6 ≡ を選択してメニューを開き、[ネットワーク] から [証明書] を選択します。



- 7 登録する証明書を選択します。
- 8 [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 9 設定が終了したら、[確定] をクリックします。

ESC/VP21を使用して外部デバイスからプロジェクターを制御できます。

▶ 関連項目

- 「ESC/VP21コマンドリスト」 [p.112](#)
- 「ケーブル配線」 [p.112](#)

ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン「:」(3Ah)を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信しません。

利用可能なコマンドは本機の『仕様一覧』で確認できます。

▶ 関連項目

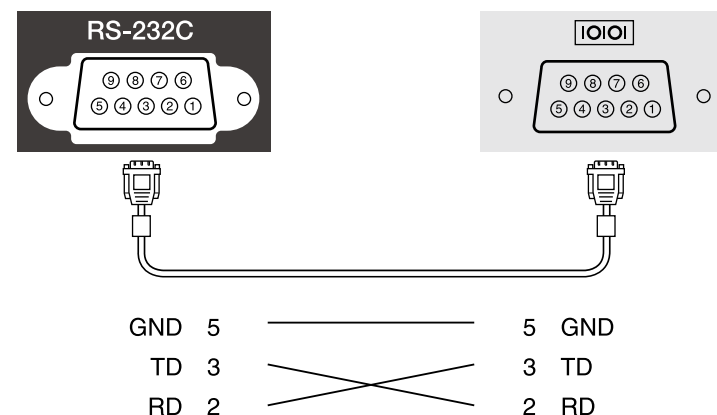
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクター形状：D-Sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名：RS-232C
- ケーブルタイプ：クロスケーブル

以下の図では、左の端子がプロジェクター側、右の端子がコンピューター側を示しています。



信号名	働き
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

JBMIA（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

本機はJBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使用するには、[PJLink] をオンにして [PJLinkパスワード] を設定する必要があります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [PJLink]

次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格の適合性を確認しています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

- 非対応コマンド
非対応のコマンドは本機の『仕様一覧』で確認できます。
- 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI1	32
HDMI2	33
USB	41

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON
- 「機種情報問合せ」で表示する機種名
EPSON 815E/810E

▶ 関連項目

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

Crestron Connectedは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron Connectedを使うと、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御や監視ができます。



【動作】メニューで「待機モード」設定を「通信オン」に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でもプロジェクターを制御できます。

Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

<https://www.crestron.com/>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron Fusionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<https://www.crestron.com/getroomview>

Crestron XiO Cloudを使うと、プロジェクターやその他のさまざまな機器を監視、制御できます。複数の機器を一元的に管理することができます。詳細は以下をご覧ください。

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

▶ 関連項目

- 「Crestron Connectedを設定する」 p.114

Crestron Connectedを設定する

Crestron Connectedを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されていることを確認します。

- 1 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 3 [プロジェクター制御] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
コマンド通信	プロテクト	
Web API設定		
ベーシックコントロール	オフ	▼
PJLink	オフ	▼
AMX Device Discovery	オフ	
Crestron Connected	オフ	▼
Crestron XiO Cloud	オフ	
Control4 SDDP	オフ	
セキュアHTTP	オン	▲
Webサーバー証明書		

- 4** [Crestron Connected] を [オン] に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。



- パスワードが設定されていないときは、パスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
- Crestron XiO Cloudを使用するときは [Crestron XiO Cloud] を [オン] に設定します。

- 5** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

- 6** プロジェクターの電源を入れなおし設定を有効にします。

- 7** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。

- 8** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。

- 9** [Crestron Connected] を選択します。詳細はCrestron社のWebサイトを参照してください。

コンテンツ再生モードでは、Web APIを使ってプロジェクターを操作できません。詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は **EPSONWEB**、パスワードは [Web制御パスワード] で設定されているパスワードを入力してください。
 ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

▶ 関連項目

- 「Web APIを有効にする」 [p.116](#)

Web APIを有効にする

Web APIはプロジェクターのメニューから有効にできます。

- 1** 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 2** [ネットワーク設定] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

- 3** [プロジェクター制御] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
コマンド通信	プロテクト	
Web API設定		
ベーシックコントロール	オフ	▼
PJLink	オフ	▼
AMX Device Discovery	オフ	
Crestron Connected	オフ	▼
Crestron XiO Cloud	オフ	
Control4 SDDP	オフ	
セキュアHTTP	オン	▲
Webサーバー証明書		

- 4** [Web API設定] を選択します。
- 5** [Web API] を [オン] にします。

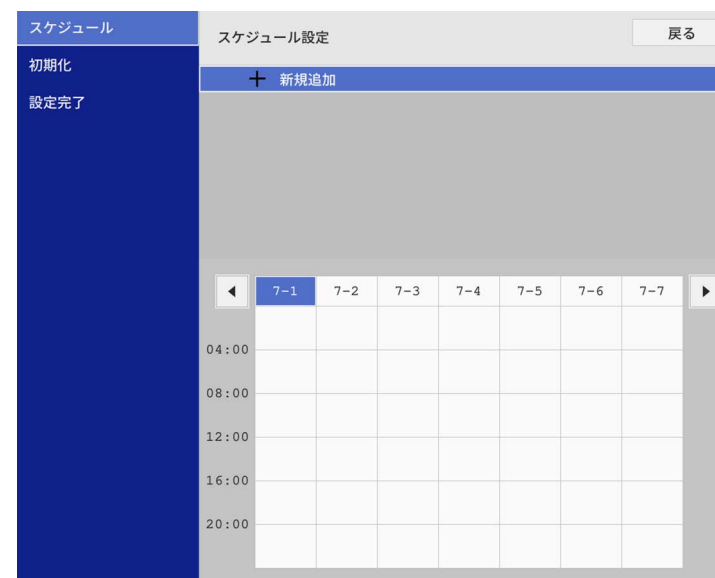
プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時に選択したイベントが自動的に実行されます。

⚠ 警告

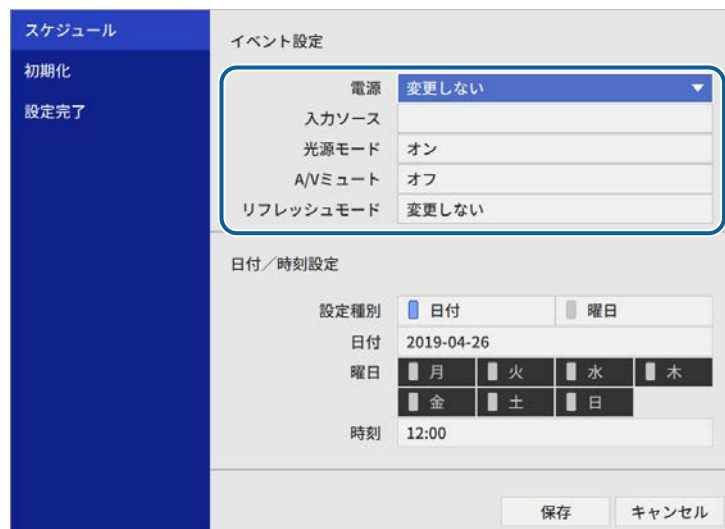
燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。

- 1 [管理] メニューで [日付&時刻] を設定します。
- 2 【Menu】 ボタンを押し、[管理] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 3 [スケジュール設定] を選択して【Enter】 ボタンを押します。
- 4 [スケジュール] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

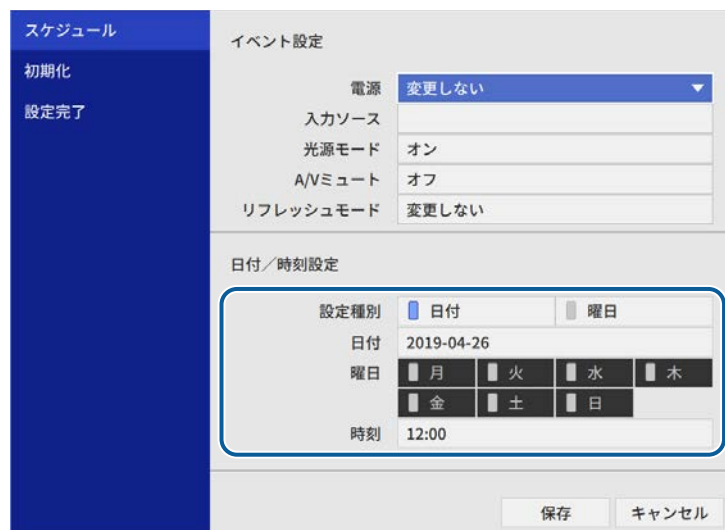
- 5 [新規追加] を選択して【Enter】 ボタンを押します。



6 イベント実行時のプロジェクターの動作内容を設定します。








7 イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。



8 「保存」を選択して【Enter】ボタンを押します。
登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。



- ①  : 有効なイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 無効なイベント
- ②  選択している日付 (強調表示)
- ③  : 1回限りのイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 通信監視のオン/オフ
-  : 無効なイベント

- 9** 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択して【Enter】ボタンを押します。
- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。
 - [有効] / [無効]：選択したイベントを有効または無効にできます。
 - [編集]：イベントの動作内容または日時を変更できます。
 - [削除]：登録したイベントを一覧から削除できます。
 - [新規追加]：すでにイベントが登録されている日に別のイベントを登録します。
- 11** [設定完了] を選択して [スケジュール設定] 画面を閉じます。

登録したイベントをすべて削除するには [初期化] を選択します。

メニューの設定

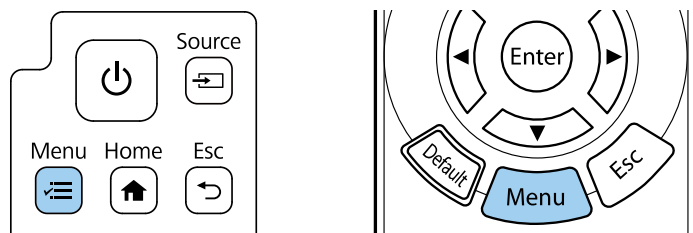
プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.121](#)
- 「ソフトキーボードを操作する」 [p.122](#)
- 「映像調整メニュー」 [p.123](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)
- 「設置メニュー」 [p.128](#)
- 「表示メニュー」 [p.131](#)
- 「動作メニュー」 [p.132](#)
- 「管理メニュー」 [p.134](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.136](#)
- 「メモリーメニュー」 [p.140](#)
- 「節電メニュー」 [p.141](#)
- 「初期・全体設定メニュー」 [p.142](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.143](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



メニューが表示されます。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 3 設定を変更するには、【Enter】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、[初期・全体設定] を選択します。
- 6 メニューの設定が終わったら、【Esc】ボタンを押します。
- 7 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

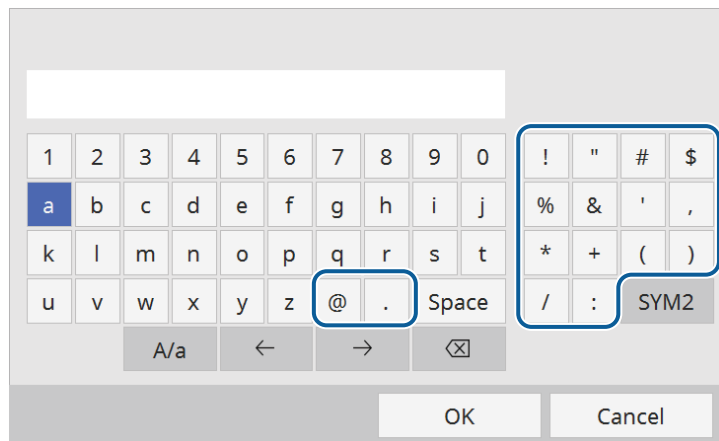


✓が表示される項目には関連するメニューがあります。設定をオンにしたり、特定の値を設定すると、関連するメニューを展開して表示します。



数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【Enter】ボタンを押します。



A/aキーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。
SYM1/2キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードのOKを選択して入力を確定します。
Cancelを選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

▶ 関連項目

- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.122](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~

[映像調整] メニューでは、投写映像の画質を調整できます。カラーモードや入力ソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	5
ネットワーク	ホワイトバランス	
メモリー	フレーム補間	オフ
節電	ダイナミックコントラスト	オフ
初期・全体設定	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	0
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート
	初期値に戻す	
	映像調整初期化	

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
ホワイトバランス	色温度	選択したカラーモードに応じて色温度を設定します。値を高くすると青みがかかった映像になり、値を低くすると赤みがかかった映像になります。 [カラーフィルター] が [ウォームホワイト] または [クールホワイト] 以外のとき表示されます。 ☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト] > [カラーフィルター]
	G-M補正	映像の色合いを細かく調整します。値を高くすると緑がかかった映像になり、値を低くすると赤みがかかった映像になります。
	カスタム	オフセット、ゲインをR (赤)、G (緑)、B (青) の成分ごとに調整します。
	グレースケール	選択した調整レベルに対して、赤、緑、青、明るさの補正を行います。
フレーム補間	オフ 弱 標準 強	映像の動きの滑らかさを調整します。以下の場合に表示されます。 • 入力ソースがHDMIのとき。 • [映像処理] が [きれい] のとき ☛ [信号入出力] > [映像処理]
ダイナミックコントラスト	高速 標準 オフ	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。
イメージ強調	イメージ強調プリセット	[イメージ強調] の設定値をプリセットの値で一括で設定します。

設定	選択肢	説明
	ノイズリダクション	映像のざらつきを抑えます。 [映像処理] が [きれい] のときに表示されます。 ☛ [信号入出力] > [映像処理]
	MPEGノイズリダクション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。 [映像処理] が [きれい] のときに表示されます。 ☛ [信号入出力] > [映像処理]
	超解像	解像度の低い映像を投写するときに、解像度を高めて映像のボケを軽減します。
	自動コントラスト強調	映像のコントラストを部分的に自動調整して、鮮やかでメリハリのある映像にします。
	初期化	[イメージ強調] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。
ダイナミックトーンマッピング	オン オフ	[オン] にすると、HDRコンテンツの明るさに基づいて、PQ (Perceptual Quantizer) カーブの設定を最適化します。暗い映像や明るい映像の視認性を改善します。 [ダイナミックレンジ] が [オート]、[映像信号] がHDR10のときに表示されます。 ☛ [信号入出力] > [ダイナミックレンジ] > [映像信号]

設定	選択肢	説明
シーン適応ガンマ補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。コントラストを強調したいときは、大きい値を選択します。
ガンマ	-2~2 カスタム 初期化	補正値を選んだり、ガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。
RGBCMY	レベル調整	R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) ごとに色相、彩度、明度を調整します。
初期値に戻す	—	現在のカラーモードで調整したすべての値を初期値に戻します。
入力ソース	—	入力ソースごとに保存されるメニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比 (縦横比) を設定します。 入力ソースがHDMIのとき表示されず。
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。
映像調整初期化	—	[映像調整] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[明るさ] の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明るさを変更するには、[動作] メニューの [光源明るさ制御] を設定します。

▶▶ 関連項目





- 「映像の色合いを調整する」 [p.73](#)
- 「カラーモードの種類」 [p.69](#)
- 「アスペクトモードの種類」 [p.67](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[信号入出力] メニューで設定します。入力ソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	信号入出力	
映像調整	入力ソース	HDMI1
信号入出力	入力信号フォーマット	
設定	カラースペース	オート
表示	ダイナミックレンジ	
動作	映像処理	きれい
管理	初期値に戻す	
ネットワーク	EDID	
メモリー	HDMI IN EQレベル	
節電	HDMIリンク	
初期・全体設定	信号入出力初期化	
	設定	
	固定設置	オフ
	テストパターン	
	セッティングプレート調整ガ...	
	設置モード	フロント・上下反転
	幾何学歪み補正	ポイント補正
	幾何学歪み補正ウィザード	

設定	選択肢	説明
カラースペース	オート BT.709 BT.2020	色空間の変換方式を設定します。 入力ソースがHDMIのとき表示されま す。
ダイナミックレン ジ	ダイナミックレン ジ	映像の暗部、明部の表示できる範囲を 切り替えます。[オート] (推奨) [SDR] [HDR10] [HLG] から選択します。 入力ソースがHDMIのとき表示されま す。
	映像信号	映像信号を表示します。
	HDR10設定	HDR PQ方式でのダイナミックレンジ のPQ (Perceptual Quantizer) カーブを 切り替えます。 [ダイナミックレンジ] が [オート] で入力信号がHDR10のとき表示され ます。
	HLG 設定	HDR HLG方式でのダイナミックレンジ のHLG (Hybrid Log Gamma) カーブを 切り替えます。 [ダイナミックレンジ] が [オート] で [映像信号] が [HLG] に設定され ている、または [ダイナミックレン ジ] が [HLG] に設定されている時の み表示されます。

設定	選択肢	説明
入力ソース	—	入力ソースごとに保存されるメニュ ーが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入力 ソースの映像が投写されていること を確認してください。
入力信号フォーマ ット	ビデオレンジ	接続された機器の設定に合わせて、本 機のビデオレベルを設定します。 入力ソースがHDMIのとき表示されま す。

設定	選択肢	説明
映像処理	オート (ALLM) きれい 速い	<p>ゲームなどの動きの速い投写映像に対して、応答速度を向上させる処理をします。</p> <p>[EDIDモード] が [Up to 4K 60Hz 18Gbps])のときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [きれい]: [フレーム補間] を [オフ] にすると、映像処理の速度を改善します。  [映像調整] > [フレーム補間] • [速い]: [フレーム補間]、ノイズリダクション、[MPEGノイズリダクション] を無効にします。  [映像調整] > [フレーム補間]  [映像調整] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]  [映像調整] > [イメージ強調] > [MPEGノイズリダクション]
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。
EDID	EDID (HDMI1) EDID (HDMI2)	<p>映像機器に通知する本機の解像度情報を設定します。映像の解像度に合わせて、必要に応じて設定を変更してください。</p> <p>入力ソースを切り替えることなく、ソースごとにEDIDを設定できます。</p>

設定	選択肢	説明
HDMI IN EQレベル	HDMI1 HDMI2	<p>HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。</p> <p>入力ソースを切り替えることなく、ソースごとに設定できます。</p>
HDMIリンク	接続機器一覧	<p>HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。</p> <p>[HDMIリンク] が [オン] のときに表示されます。</p>
	HDMIリンク	[オン] にすると、HDMIリンク機能が有効になります。
	電源オン連動	<p>本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [双方向]: 本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 • [接続機器→PJ]: 接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 • [PJ→接続機器]: 本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。
信号入出力初期化	—	[信号入出力] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

[設置] メニューでは、プロジェクターの設置環境に合わせた設定ができます。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ...
表示	設置モード フロント・上下反転
動作	幾何学歪み補正 ポイント補正
管理	幾何学歪み補正ウィザード
ネットワーク	デジタルズーム
メモリー	リモコン受光部 オフ
節電	スクリーンタイプ 16:9
初期・全体設定	高地モード オフ
	入カソース HDMI1
	ブランキング
	初期値に戻す
	再設置
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青

設定	選択肢	説明
設置モード	フロント	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
	リア	
	フロント・上下反転	
	リア・上下反転	
幾何学歪み補正	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
	湾曲補正	曲面に投写した映像のゆがみを補正します。
	ポイント補正	投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。
	ゆがみ補正(スマートフォン)	Epson Setting Assistantを使用して、投写映像のゆがみを補正します。
	フレームフィット(スマートフォン)	Epson Setting Assistantを使用して、スクリーンにフィットするように投写映像の形状と位置を補正します。

設定	選択肢	説明
固定設置	オン オフ	プロジェクターを特定の場所に固定して使うときは、[オン] に設定します。
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。 (【Esc】 ボタンを押すと、パターン表示を終了します。)
セッティングプレート調整ガイド	—	本機の設置時に、ガイドスクリーンを表示します。

設定	選択肢	説明
	メモリー	<p>設定値をメモリーに登録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [メモリー保存]：補正した映像の形状を、メモリーとして登録します。 ・ [メモリー呼出]：メモリーとして登録した映像の形状を呼び出します。 ・ [メモリー名称変更]：保存したメモリーの名称を変更します。 ・ [メモリー削除]：保存したメモリーを削除します。 ・ [メモリー初期化]：保存したメモリーをすべて削除します。
幾何学歪み補正ウィザード	—	対話形式で順番に映像の形状を補正できます。
デジタルズーム	レベル調整	投写映像のサイズを調整します。
デジタルピクチャーシフト	位置調整	<p>本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。</p> <p>[デジタルズーム] をワイド側に最大にしているときは投写位置を調整できません。</p>
リモコン受光部	フロント/リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ] にすると、リモコンからの操作ができなくなります。

設定	選択肢	説明
スクリーンタイプ	4:3 16:9 16:10	<p>投写面のアスペクト比を設定し、投写面に合わせたサイズの映像を投写します。</p> <p>[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。</p>
スクリーン位置	位置調整	<p>本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。</p> <p>[スクリーンタイプ] がプロジェクターの解像度と同一のアスペクト比に設定されているとき、この機能は使用できません。</p>
高地モード	オン オフ	標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。
入力ソース	—	<p>入力ソースごとに保存されるメニューが表示されます。</p> <p>設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。</p>
ブランキング	上 下 左 右	<p>設定した領域の映像を非表示にします。</p> <p>[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。</p>
初期値に戻す	—	<p>現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。</p> <p>[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。</p>
再設置	—	プロジェクターを再設置するときに、投写映像を調整するためのウィザードを開きます。

設定	選択肢	説明
設置初期化	—	<p>[設置] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デジタルズーム] • [デジタルピクチャーシフト]

▶▶ 関連項目

- 「ピントを調整する」 [p.53](#)
- 「設置モードを変更する」 [p.46](#)
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.20](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.54](#)
- 「映像の大きさを調整する」 [p.63](#)
- 「スクリーンタイプを設定する」 [p.48](#)

[表示] メニューでは、プロジェクターの各種表示設定ができます。

よく使う項目	表示	
映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン
設置	ホーム画面自動表示	オン
表示	メッセージ表示	オン
動作	メニューカラー	白
管理	液晶アライメント	オフ
ネットワーク	表示初期化	
メモリー	動作	
節電	自動入力検出	オン
初期・全体設定	光源明るさ制御	
	ダイレクトパワーオン	オフ
	オートパワーオン	オフ
	スリープモード	オン
	スリープモード時間	10分
	待機モード	通信オン
	高速起動	オフ
	USB給電	投写時オン

設定	選択肢	説明
無信号時画面	黒 青 ロゴ	映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色を選択します。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。
スタートアップ表示	オン オフ	[オン] にすると、投写開始時にロゴを表示します。
ホーム画面自動表示	オン オフ	[オン] にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示します。

設定	選択肢	説明
メッセージ表示	オン オフ	[オン] にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。
メニューカラー	黒 白 ロゴ	ホーム画面とプロジェクターメニューのカラーテーマを設定します。
液晶アライメント	オン オフ	[オン] にすると、液晶アライメントが調整できます。
	調整色	調整する色を選択します。
	パターン色	調整時の背景パターンの色を選択します。
	調整開始	液晶アライメントの調整を開始します。
	初期化	[液晶アライメント] で調整したすべての値を初期値に戻します。
表示初期化	—	[表示] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

[動作] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

よく使う項目	動作
映像調整	自動入力検出 オン
信号入出力	光源明るさ制御
設置	ダイレクトパワーオン オフ
表示	オートパワーオン オフ ▼
動作	スリープモード オン ▲
管理	スリープモード時間 10分
ネットワーク	待機モード 通信オン
メモリー	高速起動 オフ
節電	USB給電 投写時オン
初期・全体設定	インジケータ表示 オン
	方向ボタン反転 オフ
	コンテンツ再生 オフ ▼
	動作初期化
	管理
	ユーザーボタン 光源モード
	チャイルドロック オフ
	操作ボタンロック オフ

設定	選択肢	説明
自動入力検出	オン オフ	[オン] にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。 [高速起動] モードで本機を起動したときは、この機能は無効です。 [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。

設定	選択肢	説明
光源明るさ制御	光源モード	光源の明るさを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [ノーマル]：明るさを落としたいときに選択します。 [ミディアム]：明るさレベルは約75%になります。 [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約50%になります。 [カスタム]：明るさレベルを設定します。
	明るさレベル	[カスタム] を選択したときに、明るさを設定します。
ダイレクトパワーオン	オン オフ	[オン] にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。
オートパワーオン	HDMI1 オフ	[HDMI1] にすると、[HDMI1] からの映像信号を検出したときに、自動的に本機の電源が入ります。
起動条件	接続検出 信号検出	[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。 [接続検出]：接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [信号検出]：HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。

設定	選択肢	説明
スリープモード	オン オフ	[オン] にすると、一定時間映像信号の入力がないとき自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1～30分	[スリープモード] で電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
待機モード	通信オン 通信オフ	スタンバイ状態のときにネットワーク経由で本機を監視・制御するときは、[通信オン] に設定します。 以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [オートパワーオン] が [HDMI1] 以外に、[起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [USB給電] が [投写時オン] に設定されている
起動時入力設定	入力ソース	本機をコンテンツ再生モードで起動したときに投写する入力ソースを選択します。
高速起動	20分 60分 90分 時間無制限 オフ	高速起動モードを維持する時間を設定します。本機の電源を切ると高速起動モードに入ります。高速起動モード中に電源ボタンを押すと、約5秒で投写できます。 USB端子からの映像を投写するときは、通常の起動時間となります。 [オートパワーオン] が [HDMI1] に、[起動条件] が [接続検出] に設定されているときに表示されます。

設定	選択肢	説明
USB給電	投写時オン 常時オン	[常時オン] に設定すると、本機が映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けます。 [オートパワーオン] が [HDMI1] に、[起動条件] が [接続検出] に設定されているときに表示されます。 [常時オン] に設定すると待機電力が上がります。
インジケータ表示	オン オフ	[オフ] に設定すると、異常時や警告時以外は本機のインジケータを消灯します。
方向ボタン反転	オン オフ	本機を天吊り設置しているときは [オン] にして、操作パネルの上下左右ボタンの動作方向を反転させます。
コンテンツ再生	オン オフ	[オン] に設定すると、プレイリストを再生できます。
エフェクト	エフェクト 形状フィルター カラーフィルター 明度	映像に色や形の装飾を追加します。 コンテンツ再生モードで、プレイリストを再生でき、書き込み不可のエラーがないときに表示されます。
USBビューアー	—	USBメモリーに保存されているプレイリストを再生します。
動作初期化	—	[動作] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶▶ 関連項目

- ・ 「明るさを設定する」 [p.78](#)
- ・ 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.89](#)

[管理] メニューでは、プロジェクターの管理者向け設定ができます。

よく使う項目	管理	
映像調整	ユーザーボタン	光源モード
信号入出力	チャイルドロック	オフ
設置	操作ボタンロック	オフ
表示	4Kエンハンスメント	オン
動作	ユニフォーミティー	
管理	リフレッシュモード	
ネットワーク	日付&時刻	
メモリー	スケジュール設定	
節電	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
初期・全体設定	一括設定範囲	
	言語	日本語
	情報表示	
	ステータス表示	
	ログ表示	
	管理初期化	
	ネットワーク	
	有線LAN情報	

設定	選択肢	説明
ユーザーボタン	メニュー項目	リモコンの【User】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
チャイルドロック	On Off	お子様が誤って電源を入れないように、プロジェクターの電源ボタンをロックします。 [操作ボタンロック] が [電源以外ロック]、または [オフ] のときに表示されます。

設定	選択肢	説明
操作ボタンロック	全ロック 電源以外ロック オフ	操作パネルのボタン操作制限を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [全ロック]：すべてのボタンをロックします。 • [電源以外ロック]：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 • [オフ]：ボタンをロックしません。
4Kエンハンスメント	オン オフ	1画素を0.5画素ずつ斜めにシフトさせることで解像度を2倍にして投写します。高解像度の映像信号を精細に投写します。 [信号入出力] メニューの [アスペクト] が [リアル] のときは設定できません。
ユニフォーミティー	ユニフォーミティー	[オン] にすると、画面全体の色味のバランスを調整します。
	調整レベル	調整レベルを選択します。
	調整開始	調整するエリアを選択し、赤、緑、青ごとの色味を調整します。
	初期化	[ユニフォーミティー] で調整したすべての値を初期値に戻します。
リフレッシュモード	時間	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減する映像を投写し続ける時間を設定します。
	メッセージ表示	[オン] にすると、リフレッシュモード実行中であることが画面に表示されます。

設定	選択肢	説明
	開始	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減します。設定した時間が経過すると、本機の電源をオフにします。リモコンのボタンを操作すると、リフレッシュモードを中止します。
日付&時刻	日付&時刻 夏時間設定 インターネット時刻	本機の日付と時刻を設定します。夏時間を有効にするときは、[夏時間設定]を選択します。[インターネット時刻]をオンにすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。
スケジュール設定	—	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。
ログ保存先	内部メモリー USBおよび内部メモリー	エラーログや操作ログの保存先を設定します。 [動作]メニューの[コンテンツ再生]が[オフ]のときに表示されます。
一括設定範囲	すべて 一部	一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは[すべて]を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは[一部]を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力]メニューの[EDID] • [ネットワーク]メニュー
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
情報表示	プロジェクター情報	プロジェクターや映像信号の情報を確認します。現在表示している入力ソースによって表示する項目が異なります。

設定	選択肢	説明
ステータス表示	System Version Network Wired Input Signal	プロジェクターのステータス情報を表示します。
ログ表示	温度警告情報 電源オンオフ履歴	[ログ保存先]で指定した場所に保存されたプロジェクターのログ情報を確認します。
管理初期化	—	[管理]メニューで調整した、[言語]を除くすべての値を初期値に戻します。

▶▶ 関連項目

- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.97](#)
- 「日時を設定する」 [p.42](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.117](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.45](#)

[ネットワーク] メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

よく使う項目	ネットワーク
映像調整	有線LAN情報
信号入出力	ネットワーク設定
設置	ネットワーク初期化
表示	メモリー
動作	メモリー保存
管理	メモリー呼出
ネットワーク	メモリー名称変更
メモリー	メモリー削除
節電	メモリー初期化
初期・全体設定	節電
	光源モード ノーマル
	スリープモード オン ^
	スリープモード時間 10分
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新

設定	選択肢	説明
有線LAN情報	有線LAN情報	有線LANのステータス、詳細情報を表示します。
ネットワーク設定	—	ネットワーク設定を構成します。詳しくは [ネットワーク設定] メニューをご覧ください。
ネットワーク初期化	—	[ネットワーク] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定メニュー」 p.136

ネットワーク設定メニュー

[ネットワーク設定] メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (" * + , / ; < = > ? [\] スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
Web制御パスワード	32文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や操作をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONWEB です。デフォルトのパスワードは設定されていません。[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ブラウザーのエラー画面が表示されます。[ネットワーク設定] でパスワードを設定してください。)
有線LAN	—	[有線LAN] メニューを参照。
プロジェクター制御	—	[プロジェクター制御] メニューを参照。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定 - 有線LANメニュー」 [p.137](#)
- 「ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー」 [p.137](#)

ネットワーク設定 - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (xは0～255の数値)。255.255.255.255、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。

設定	選択肢	説明
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。127.x.x.xのIPアドレスは使用できません (xは0～255の数字)。この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。DHCPサーバーからの情報取得後も、数値は0.0.0.0のままです。
IPv6	オン オフ	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
自動構成	オン オフ	[オン] にすると、RA (Router Advertisement) からIPv6アドレスを自動で取得します。
一時アドレスの使用	オン オフ	[オン] にすると、一時IPv6アドレスを使用します。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にIPアドレスを表示するときは、[オン] にします。

ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー

[プロジェクター制御] メニューでは、本機をネットワーク経由で設定・制御をするための設定ができます。

設定	選択肢	説明
コマンド通信	プロテクト 互換	<p>コマンド通信を行う際の認証方法を 選択します。</p> <p>コマンド通信を行うときは、[Monitor パスワード] または [Web制御パスワ ード] を設定してください。</p> <p>☛ [ネットワーク] > [ネットワー ク設定] > [Web制御パスワード] [Monitorパスワード] (半角英数字16 文字以内) を使って平文認証を行うと きは [互換] に設定します。</p> <p>スイッチャーやコントローラーを組 み合わせるときは、[互換] を選択し てください。</p>
Web API設定	Web API	Web APIでプロジェクターを制御する ときは [オン] を選択します。
	認証タイプ	<p>Web API通信を行うときの認証方法を 選択します。</p> <p>[Open] : 認証を設定しません。</p> <p>[Digest] : API認証 (ダイジェスト認 証) を使用します。</p> <p>詳しくは『プロジェクター用Web API 仕様書』をご覧ください。</p>
ベーシックコント ロール	オン オフ	<p>[Epson Web Control] の [ベーシック コントロール] で本機の制御をする ときは、[オン] に設定します。</p> <p>[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。</p>

設定	選択肢	説明
Remoteパスワー ド	8文字以内の半角 英数字 (*:スペースは使 用不可)	[Epson Web Control] の [ベーシック コントロール] にアクセスするための 認証用パスワードを設定します。(ユ ーザー名は EPSONREMOTE です。デ フォルトのパスワードは設定されて いません。)
PJLink	オン オフ	PJLink通知機能を使うときは、[オン] に設定します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半 角英数字 (@以外の記号は 使用不可)	<p>PJLink対応アプリケーションを使って 本機を制御するときの認証用パスワ ードを設定します。</p> <p>初めてPJLink機能を使用するときは、 [PJLinkパスワード] を設定する必要が あります。</p>
通知先IPアドレス	IPアドレス	<p>PJLink通知機能が有効なとき、プロジ ェクターのステータスを通知するコ ンピューターのIPアドレスを入力しま す。0~255の数字を入力します。</p> <p>127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255の IPアドレスは使用できません (xは0~ 255の数値)。</p>
AMX Device Discovery	オン オフ	[オン] にすると、AMX Device Discoveryを使用して本機の検出がで きます。
Crestron Connected	オン オフ	[オン] にすると、Crestron Connected を使用してプロジェクターの監視と 制御ができます。
パスワード	20文字以内の半 角英数字	[Crestron Connected] を有効にするた めの認証用パスワードを設定します。 デフォルトのパスワードは設定され ていません。

設定	選択肢	説明
Crestron XiO Cloud	オン オフ	[オン] にすると、Crestron XiO Cloud を使用してプロジェクターとその他のさまざまな機種 of 監視と制御ができます。
Control4 SDDP	オン オフ	[オン] にすると、Control4 SDDP (Simple Device Discovery Protocol) を使って本機の情報を送信します。
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン] に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。

[メモリー] メニューでは、映像調整の調整値を保存、呼び出し、管理ができます。

よく使う項目	ネットワーク設定
映像調整	ネットワーク初期化
信号入出力	メモリー
設置	メモリー保存
表示	メモリー呼出
動作	メモリー名称変更
管理	メモリー削除
ネットワーク	メモリー初期化
メモリー	節電
節電	光源モード ノーマル
初期・全体設定	スリープモード オン ^
	スリープモード時間 10分
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新
	一括設定書き出し
	一括設定読み込み

設定	選択肢	説明
メモリー保存	Memory1~10	設定値をメモリーに保存します。
メモリー呼出	Memory1~10	メモリーに保存された調整値を投写中の映像に適用します。
メモリー名称変更	Memory1~10	保存したメモリーの名称を変更します。
メモリー削除	Memory1~10	保存したメモリーを削除します。
メモリー初期化	—	保存したメモリーをすべて削除します。

▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.96](#)

[節電] メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。

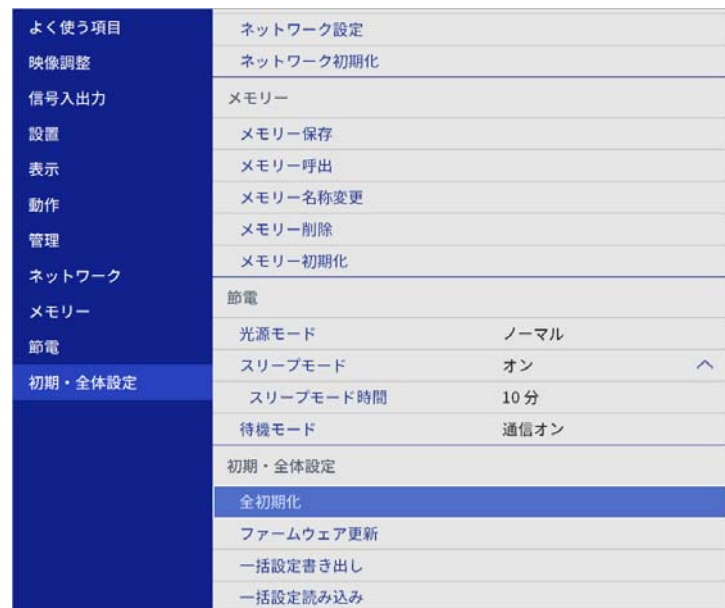
よく使う項目	ネットワーク設定		
映像調整	ネットワーク初期化		
信号入出力	メモリー		
設置	メモリー保存		
表示	メモリー呼出		
動作	メモリー名称変更		
管理	メモリー削除		
ネットワーク	メモリー初期化		
メモリー	節電		
節電	光源モード	ノーマル	
初期・全体設定	スリープモード	オン	へ
	スリープモード時間	10分	
	待機モード	通信オン	
	初期・全体設定		
全初期化			
ファームウェア更新			
一括設定書き出し			
一括設定読み込み			

設定	選択肢	説明
光源モード	—	[動作] メニューの [光源モード] を参照。
スリープモード	—	[動作] メニューの [スリープモード] を参照。
スリープモード時間	—	[動作] メニューの [スリープモード時間] を参照。
待機モード	—	[動作] メニューの [待機モード] を参照。

▶▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.132](#)

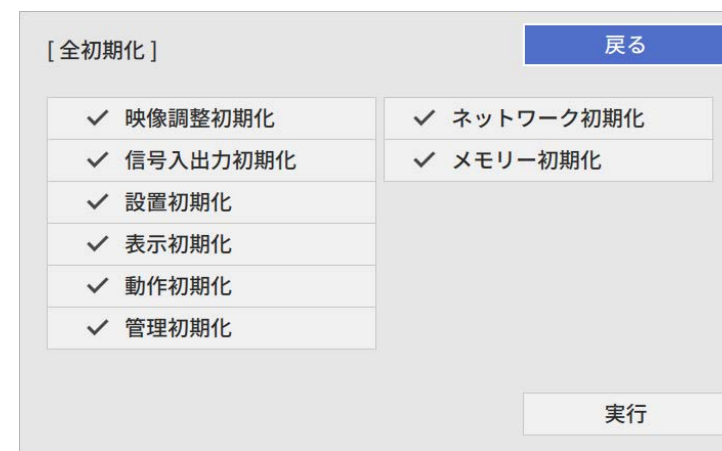
[初期・全体設定] メニューでは、本機の設定を初期化できます。また、プロジェクターのファームウェアを更新できます。



設定	選択肢	説明
一括設定読み込み	はい なし	USBメモリーやコンピューターに保存されたメニュー設定を読み込みます。

全初期化項目

[全初期化] を選択すると、次の画面が表示されます。



設定	選択肢	説明
全初期化	—	すべての設定を初期値に戻します。
ファームウェア更新	—	ファームウェア更新モードになり、USB-AまたはUSB-B端子を使ってファームウェアのアップデートができます。
一括設定書き出し	はい いいえ	本機で設定したメニューの内容を、USBメモリーやコンピューターに書き出します。書き出したメニュー設定は、同じ型番のプロジェクターにコピーできます。

特定のメニューを初期化しないときは、メニューのチェックボックスを外します。[実行] を選択すると、初期化します。

以下の設定は、初期値に戻りません。

- [デジタルズーム]
- [デジタルピクチャーシフト]
- [言語]

▶▶ 関連項目

- 「ファームウェアを更新する」 p.159

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する
[光源使用時間] や [ステータス] などのプロジェクター固有の情報はコピーできません。



- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
 - [信号入出力] メニューの [EDID]
 - [ネットワーク] メニュー
 - [管理] > [一括設定範囲]

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 [p.143](#)
- 「コンピューターを使って一括設定する」 [p.144](#)

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- FAT 16/32形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定が正しく保存されません。
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケータがすべて点灯したら、【Esc】ボタンを離します。インジケータが点滅になると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 5** USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

- 6** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 7** 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

- 8** リモコンまたは操作パネルの【Menu】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 9** インジケーターがすべて点灯したら、【Menu】ボタンを離します。（インジケーターは約75秒間点灯します。）

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 10** USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。
 - Windows 10以降
 - macOS 10.13.x以降
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 2** コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのUSB-B端子を、USBケーブルで接続します。

- 3** リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 4** インジケーターがすべて点灯したら、【Esc】ボタンを離します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 5** リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

- 6** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 7** USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

- 8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 9** USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのUSB-B端子に接続します。

- 10** リモコンまたは操作パネルの【Menu】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 11** インジケーターがすべて点灯したら、【Menu】ボタンを離します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 12** コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 14** USBケーブルを取り外します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

▶ 関連項目

- 「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.145](#)

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
橙：速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターのメンテナンス」 [p.148](#)
- 「投写窓を清掃する」 [p.149](#)
- 「障害物検知センサーを清掃する」 [p.150](#)
- 「本機を清掃する」 [p.151](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.152](#)
- 「液晶パネルの色ずれを補正する (液晶アライメント)」 [p.157](#)
- 「ファームウェアを更新する」 [p.159](#)

プロジェクターの投写窓と障害物検知センサーは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機内部の温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターの投写窓は定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- 投写窓のホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、ブロアーで取り除いてから投写窓を拭いてください。

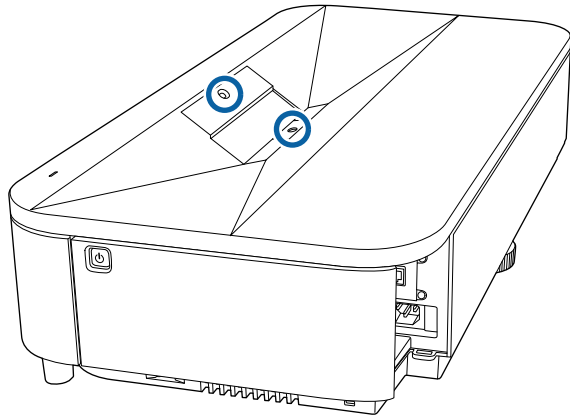
警告

- 投写窓の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。
- レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- 光源消灯後すぐに投写窓を拭かないでください。投写窓の破損の原因となります。
- 投写窓の表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

障害物がないのに、投写窓付近の障害物を取り除くようメッセージが表示されるときは、障害物検知センサーを掃除してください。定期的に掃除することをお勧めします。センサーのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。



⚠ 警告

障害物検知センサーに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

障害物検知センサーは傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。センサーの表面に傷がつくと、誤作動の原因となります。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- 本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2 mg/m3の環境下での使用を想定しています。）

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

▶ 関連項目

- 「エアフィルターを清掃する」 [p.152](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.154](#)
- 「吸気口を清掃する」 [p.156](#)

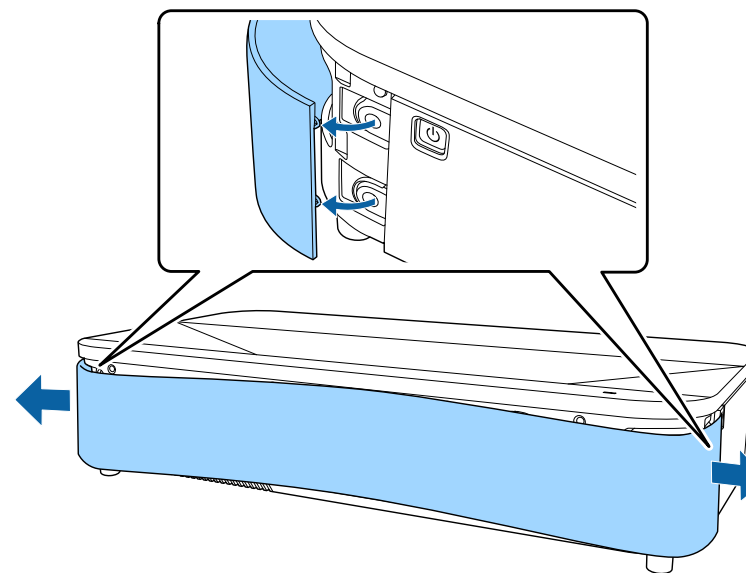
エアフィルターを清掃する

以下の場合、エアフィルターを清掃してください。

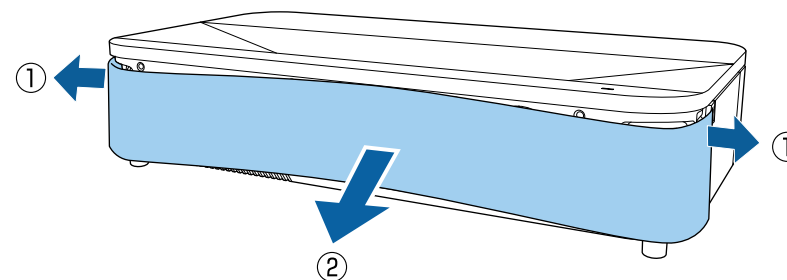
- エアフィルターが汚れたとき
- 清掃を促すメッセージが表示されたとき

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

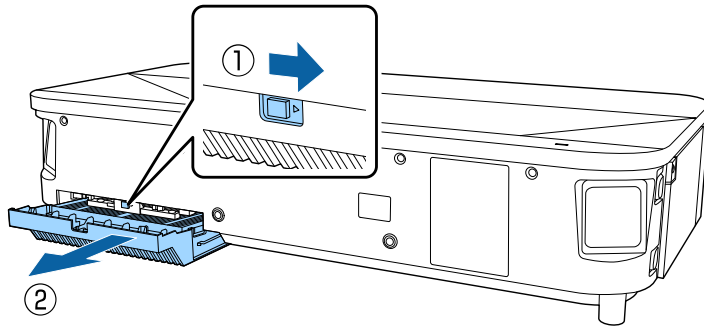
2 フロントカバーの左右にあるカバー固定部を取り外します。



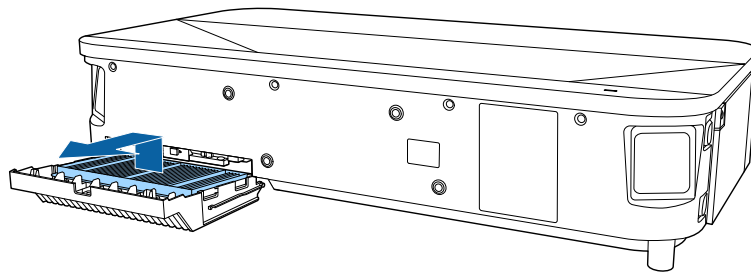
3 フロントカバーを取り外します。



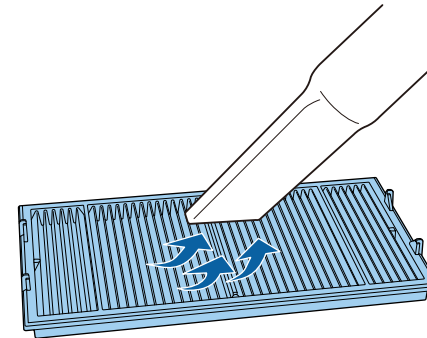
- 4** エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、エアフィルターカバーを開けます。



- 5** エアフィルターカバーからエアフィルターを抜き出します。



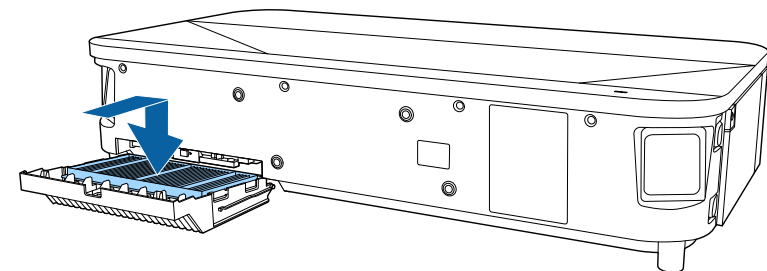
- 6** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側（ツメのある面）から吸い取ります。



注意

- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

- 7** エアフィルターのツメ（4箇所）を下にしてセットします。

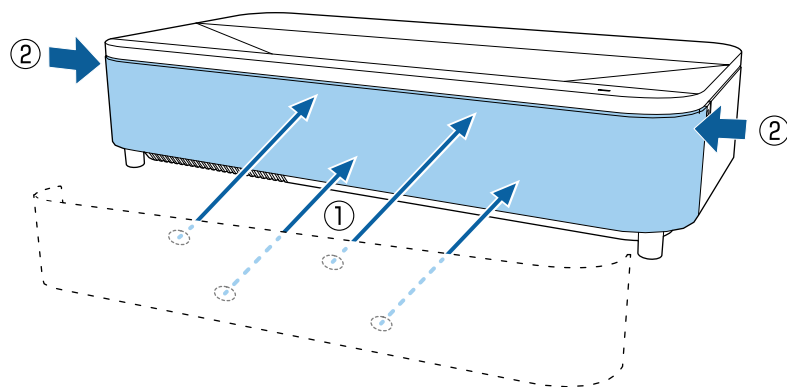


注意

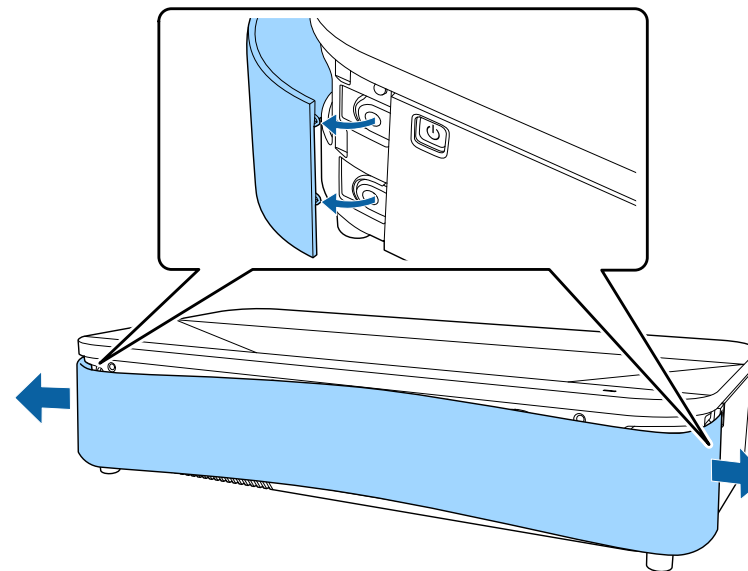
ツメを上に向けてセットした状態で無理にカバーを閉めないでください。プロジェクターの故障の原因となります。

8 カチッと音がするまでエアフィルターカバーを差し込みます。

9 フロントカバーを取り付けます。



2 フロントカバーの左右にあるカバー固定部を取り外します。



エアフィルターを交換する

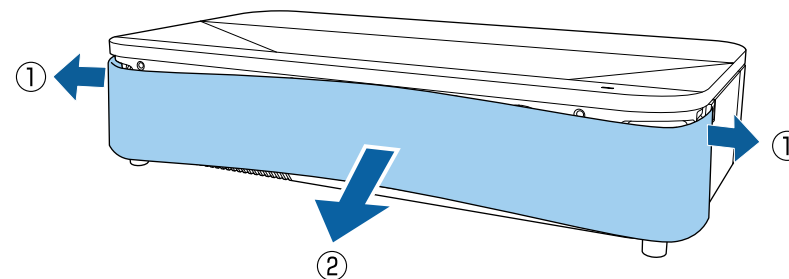
以下の場合、エアフィルターを交換してください。

- エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される
- エアフィルターが破損している

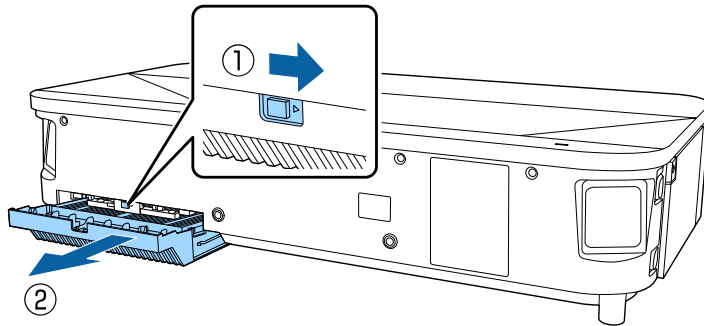
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

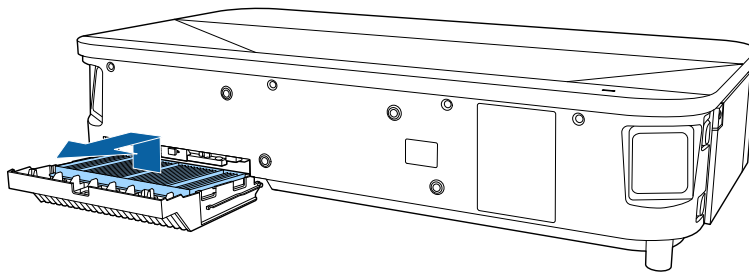
3 フロントカバーを取り外します。



- 4** エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、エアフィルターカバーを開けます。



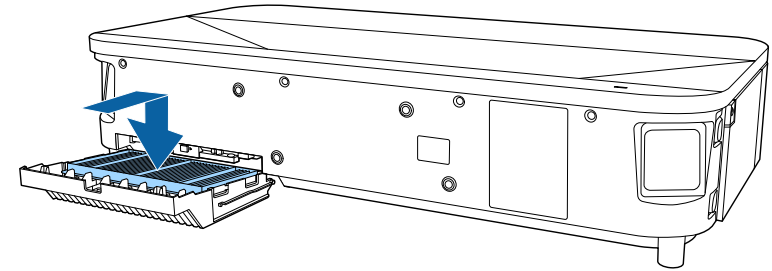
- 5** エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- フィルターの枠：ポリプロピレン
- フィルター：ポリプロピレン、PET

- 6** 新しいエアフィルターを、ツメ（4箇所）を下にしてセットします。

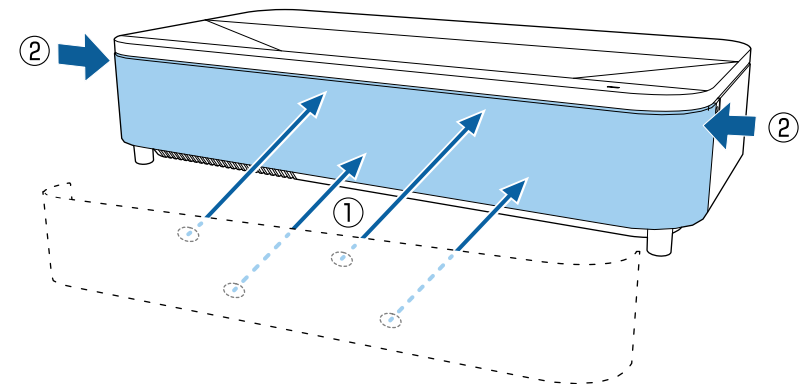


注意

ツメを上に向けてセットした状態で無理にカバーを閉めないでください。プロジェクターの故障の原因となります。

- 7** カチッと音がするまでエアフィルターカバーを差し込みます。

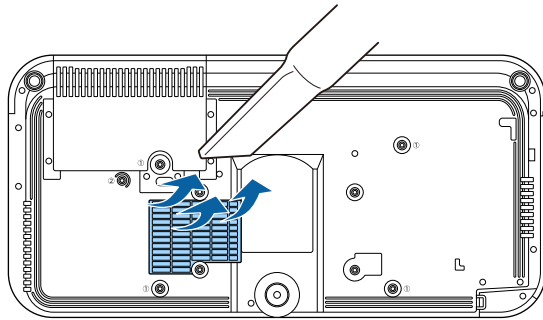
- 8** フロントカバーを取り付けます。



吸気口を清掃する

換気が妨げられて本機の内部温度が上昇しないように、本機の吸気口は定期的に掃除してください。また、吸気口の表面に付着したホコリに気付いたときにも掃除してください。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** 底面を上にしてします。
- 3** 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。



液晶アライメント機能を使って、液晶パネルの画素の色ずれ（赤・青）を補正します。水平・垂直方向に0.125画素ずつ、それぞれ±3画素の範囲内で調整できます。



- 調整できる色は赤と青です。緑は基準色パネルのため、調整できません。
- 液晶アライメントでの調整後は、映像が劣化することがあります。
- 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

1 【Menu】ボタンを押し、[表示]メニューを選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	表示	
映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン
設置	ホーム画面自動表示	オン
表示	メッセージ表示	オン
動作	メニューカラー	白
管理	液晶アライメント	オフ
ネットワーク	表示初期化	
メモリー	動作	
節電	自動入力検出	オン
初期・全体設定	光源明るさ制御	
	ダイレクトパワーオン	オフ
	オートパワーオン	オフ
	スリープモード	オン
	スリープモード時間	10分
	待機モード	通信オン
	高速起動	オフ
	USB給電	投写時オン

2 [液晶アライメント] を選択して【Enter】ボタンを押します。

3 [液晶アライメント] を選択して、[オン] に設定します。

よく使う項目	表示	
映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン
設置	ホーム画面自動表示	オン
表示	メッセージ表示	オン
動作	メニューカラー	白
管理	液晶アライメント	オン
ネットワーク	調整色	R
メモリー	パターン色	R/G/B
節電	調整開始	
初期・全体設定	初期化	
	表示初期化	
	動作	
	自動入力検出	オン
	光源明るさ制御	
	ダイレクトパワーオン	オフ
	オートパワーオン	オフ
	スリープモード	オン

4 [調整色] を選択して、以下のいずれかを選択します。

- [R]：赤を調整します。
- [B]：青を調整します。

5 [パターン色] を選択して、調整時に表示するグリッドの色を選択します。[調整色] の設定によって選択できる色は異なります。

- [R/G/B]：グリッドは白で表示されます。
- [R/G]：グリッドは黄色で表示されます。
- [G/B]：グリッドはシアンで表示されます。

6 [調整開始] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 7** 次のいずれかを選択します。
- 液晶パネル全体の調整をするときは [画面全体をシフトする] を選択して、手順8に進みます。
 - より詳細な調整をするときは [4隅を調整する] を選択して、手順10に進みます。

- 8** リモコンの矢印ボタンを使って [調整色] で選択した色を調整し、【Enter】ボタンを押します。



調整結果が画面全体のグリッドに反映されます。

- 9** 次のいずれかを選択します。
- より詳細な調整をするときは [4隅を調整する] を選択します。
 - 終了するときは [終了] を選択します。

- 10** リモコンの矢印ボタンを使って、オレンジの四角で表示されたコーナーの色を調整し、【Enter】ボタンを押します。

- 11** 4隅の調整が終わったら【Enter】ボタンを押します。

- 12** 次のいずれかを選択します。
- さらに調整が必要なときは [交点を選択して調整] を選択します。リモコンの矢印ボタンを使って、調整が必要な交点を選択し、【Enter】ボタンを押します。調整を行い、もう一度【Enter】ボタンを押します。同様の手順で他の交点を調整します。
 - 終了するときは [終了] を選択します。

[初期・全体設定] メニューの [ファームウェア更新] を選択すると、プロジェクターがファームウェア更新モードになります。USB-AまたはUSB-B端子を使用してファームウェアを更新します。

▶ 関連項目

- 「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 p.159
- 「コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する」 p.160

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新します。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

- 1** エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。

- 2** ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージのルート（最上位のフォルダー）にコピーします。



- USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。
- USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外のファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 3** 本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われなかったりすることがあります。

- 4** 【Menu】 ボタンを押し、[初期・全体設定] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

よく使う項目	ネットワーク設定	
映像調整	ネットワーク初期化	
信号入出力	メモリー	
設置	メモリー保存	
表示	メモリー呼出	
動作	メモリー名称変更	
管理	メモリー削除	
ネットワーク	メモリー初期化	
メモリー	節電	
節電	光源モード	ノーマル
初期・全体設定	スリープモード	オン
	スリープモード時間	10分
	待機モード	通信オン
	初期・全体設定	
	全初期化	
	ファームウェア更新	
	一括設定書き出し	
	一括設定読み込み	

プロジェクターのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理] メニューの [情報表示] を選択し、[バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケータが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

- 5** [ファームウェア更新] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

- 6** [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



- ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。
- ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSBストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われなくなることがあります。

コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、プロジェクターのファームウェアを更新します。



- ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。
- ファームウェアを更新するには、お使いのコンピューターのOSが以下のいずれかである必要があります。
 - Windows 10以降
 - macOS 10.13.x以降

- 1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクト用ファームウェアファイルをダウンロードします。



- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクト用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 2 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクトのUSB-B端子に接続します。

- 3 【Menu】ボタンを押し、[初期・全体設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	ネットワーク設定
映像調整	ネットワーク初期化
信号入出力	メモリー
設置	メモリー保存
表示	メモリー呼出
動作	メモリー名称変更
管理	メモリー削除
ネットワーク	メモリー初期化
メモリー	節電
節電	光源モード ノーマル
初期・全体設定	スリープモード オン ^
	スリープモード時間 10分
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新
	一括設定書き出し
	一括設定読み込み

- 4 [ファームウェア更新] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5 [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



ファームウェアの更新中は、プロジェクトから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクトが正常に起動しないことがあります。

プロジェクトのインジケータがすべて点灯し、ファームウェア更新モードになります。コンピューター上で、プロジェクトがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 6 コンピューター上で、リムーバブルディスクのルート（最上位のフォルダー）にファームウェアファイルをコピーします。



- ファームウェア以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。ファイルやフォルダーが失われる可能性があります。
- ファームウェアファイルがリムーバブルディスクにコピーされていない状態でUSBケーブルまたは電源ケーブルが抜けたときは、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

- 7 コンピューター上で、USBデバイスの取り外しを行い、プロジェクトからUSBケーブルを外します。

プロジェクトのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了すると、プロジェクトがスタンバイ状態になります。[動作]メニューの[ダイレクトパワーオン]が[オン]に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理] メニューの [情報表示] を選択し、[バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



- すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ファームウェア更新モードのまま20分間操作が行われないと、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「トラブルの対処方法」 [p.164](#)
- 「インジケータの見方」 [p.165](#)
- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.167](#)
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.173](#)
- 「コンテンツ再生モードに関するトラブル」 [p.175](#)
- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.176](#)
- 「HDMIリンクで操作できない」 [p.177](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

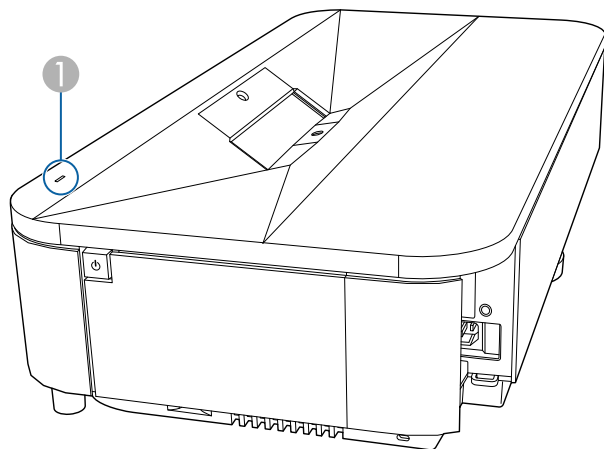
- インジケーターで本機の状態を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



[動作] メニューの [インジケータ表示] が [オフ] に設定されている場合は、正常な投写中にインジケータは消灯しています。



① ステータスインジケータ

インジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	投写中の状態です。
青点滅	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒たつと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。

インジケータの状態	状態と対処方法
	リフレッシュモード動作中です。 ☛ [管理] > [リフレッシュモード]
	ネットワーク監視、または高速起動モードの準備状態のため、すべての操作が無効になります。
消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
橙点滅	レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
<p>橙点灯</p>	<p>内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • 高温にならない環境で使用するようにします。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にします。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	<p>レーザー警告です。</p> <p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
	<p>エアフィルター風量警告または風量低下異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

- 「エアフィルターを清掃する」 [p.152](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.154](#)

▶▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 [p.134](#)

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「映像が表示されない」 [p.167](#)
- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.168](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.169](#)
- 「映像の一部が表示されない」 [p.169](#)
- 「映像がゆがむ」 [p.169](#)
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.170](#)
- 「映像がぼやける」 [p.170](#)
- 「映像の明るさや色合いが違う」 [p.171](#)
- 「映像に残像が残る（焼き付き）」 [p.171](#)
- 「音が出ない、小さい」 [p.171](#)
- 「映像と音声がずれる」 [p.172](#)
- 「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.172](#)
- 「PC Freeで映像が投写できない」 [p.172](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【Blank】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- 本機とビデオ機器が直接接続されていることを確認します。
- メディアストリーミング端末から投写するときは、USB給電ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

- ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。[管理]メニューで[操作ボタンロック]、または[チャイルドロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- プロジェクターのどのボタンを押しても解除できない場合は、本機が故障している可能性があります。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- [映像調整]メニューの[明るさ]を調整します。
- 光源の明るさを設定します。
 - ☛ [動作] > [光源明るさ制御]
- [表示]メニューの[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

▶ 関連項目

- 「ボタンロックを解除する」 [p.98](#)
- 「管理メニュー」 [p.134](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)
- 「映像調整メニュー」 [p.123](#)
- 「動作メニュー」 [p.132](#)

- 「表示メニュー」 [p.131](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 操作パネルの【Source】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- ビデオ機器のCEC電源連動機能を有効にして、電源を入れ直します。
- HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。
- 問題が解決しないときは、[初期・全体設定]メニューの[全初期化]で本機のすべての設定を初期化します。

▶ 関連項目

- 「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 [p.168](#)
- 「Macのノートパソコンから映像を出力する」 [p.168](#)

Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンからの投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1** キーボードのWindowsキーを押しながらPキーを押し、[複製]を選択します。
- 2** ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの[ディスプレイ]ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。
- 3** 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを[ミラー]または[複製]に設定します。

Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

- 1** [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]を選択します。
- 2** 必要に応じて、[ディスプレイ]または[カラーLCD]を設定します。
- 3** [調整]または[アレンジメント]をクリックします。
- 4** [ディスプレイをミラーリング]を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- [信号入出力] メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。
- HDMIケーブルで接続しているときは、[信号入出力] メニューの [HDMI IN EQレベル] を変更します。設定を変更した後に、プロジェクターの再起動が必要になることがあります。画面の指示に従って操作してください。
- スティック型端末を接続しているときは、[信号入出力] メニューの [HDMI IN EQレベル] を [オート] に設定します。映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、設定を変更してください。

▶▶ 関連項目

- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)
- 「対応解像度」 [p.181](#)

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのスクリーンに合わせて、[設置] メニューの [スクリーンタイプ] が正しく設定されているか確認します。

映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整します。

- [設置] メニューの [デジタルズーム] で映像の大きさを調整済みの場合は、[デジタルピクチャーシフト] で映像の表示位置を調整します。
 - ☛ [設置] > [デジタルズーム] > [デジタルピクチャーシフト]
- リモコンの **[Aspect]** ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。
- コンテンツ再生モードで投写しているときは、[エフェクト] 機能の設定を確認します。
 - ☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]
- [設置] メニューで [設置モード] を正しく設定します。

▶▶ 関連項目

- 「設置メニュー」 [p.128](#)
- 「映像の位置を調整する (スクリーン位置)」 [p.49](#)
- 「映像調整メニュー」 [p.123](#)
- 「対応解像度」 [p.181](#)
- 「映像に効果を加える (エフェクト機能)」 [p.93](#)

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- [Quick Corner] を使って、コーナーの形状を個別に補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [Quick Corner]

- 湾曲したスクリーンに投写するときは、[湾曲補正]で映像の形状を補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [湾曲補正]
- [ポイント補正]を使って、部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [ポイント補正]

▶▶ 関連項目

- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.55
- 「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」 p.58
- 「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 p.60

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ケーブルの両端が確実に接続されている
 - 延長ケーブルを使用していない
- [映像調整]メニューの[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]を設定します。
 - ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
 - ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [MPEGノイズリダクション]
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- 映像のゆがみを補正したときは、[映像調整]メニューの[シャープネス]を低い値に設定して、投写映像の画質を向上させます。

- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- [信号入出力]メニューで[EDID]を正しく設定します。
- [信号入出力]メニューの[HDMI IN EQレベル]を変更します。



eARC/ARC非対応のAVアンプをHDMI2 (eARC/ARC)端子に接続すると、映像が乱れることがあります。

▶▶ 関連項目

- 「映像調整メニュー」 p.123
- 「対応解像度」 p.181
- 「信号入出力メニュー」 p.126

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- テストパターンを表示して、フォーカスレバーでピントを調整します。
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- 本機の投写窓を掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に本機を設置するようにします。

- [映像調整]メニューの[シャープネス]を調整して、投写映像の画質を向上させます。

- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶▶ 関連項目

- 「ピントを調整する」 p.53
- 「投写窓を清掃する」 p.149
- 「映像調整メニュー」 p.123
- 「信号入出力メニュー」 p.126
- 「対応解像度」 p.181

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【Color Mode】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- [映像調整] メニューで [明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]、[RGBCMY]などを設定します。
- [信号入出力] メニューで [ダイナミックレンジ] を正しく設定します。
- [信号入出力] メニューで、[入力信号フォーマット] や [EDID] を正しく設定します。
- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。

▶▶ 関連項目

- 「映像を最適化する (カラーモード)」 p.69
- 「映像調整メニュー」 p.123

- 「信号入出力メニュー」 p.126
- 「管理メニュー」 p.134

映像に残像が残る (焼き付き)

投写映像に残像 (焼き付き) が残るときは、[リフレッシュモード] を使って軽減します。[管理] メニューで、[リフレッシュモード] > [開始] を選択します。

▶▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 p.134

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機とビデオ/オーディオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ビデオ/オーディオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- eARC/ARC対応のAVアンプやスピーカーをお使いのときは、以下をご確認ください。
 - 本機のeARC/ARC対応端子に接続されているか確認します。eARC/ARCの対応音声形式について詳しくは、『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。
 - お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
 - お使いの機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.28](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)

映像と音声がずれる

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- [信号入出力] メニューの [映像処理] が [きれい] のときは、[映像調整] メニューの [フレーム補間] を [オフ] に設定します。
- [信号入出力] メニューの [映像処理] を [速い] に設定します。
- 接続機器の音声出力の設定を変更してください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

PC Freeで映像が投写できない

お使いのUSB機器の転送速度が遅いと、動画を正しく表示できない場合があります。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.173](#)
- 「リモコンで操作できない」 [p.173](#)
- 「パスワードが入力できない」 [p.174](#)
- 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.174](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設置]メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- 本機のボタンはセキュリティ上の目的でロックされていることがあります。[管理]メニューで[操作ボタンロック]、または[チャイルドロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- 本機の光源が予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[動作]メニューの[スリープモード]を[オフ]にします。
- 本機の光源が消え、ステータスインジケータが点灯しているときは、本機の内部高温異常(オーバーヒート)で電源がオフになっています。

- プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- 「ボタンロックを解除する」 [p.98](#)
- 「管理メニュー」 [p.134](#)
- 「動作メニュー」 [p.132](#)
- 「設置メニュー」 [p.128](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。

- [設置] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部] がオフに設定されているときは、リモコンの【Menu】 ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.35](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.36](#)
- 「設置メニュー」 [p.128](#)

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

プレイリストを再生できないときは、次の対処法を確認してください。

- [コンテンツ再生] を [オン] に設定します。
 - ☛ [動作] > [コンテンツ再生]
- プレイリストがUSBメモリーに保存されていることを確認します。
- USBメモリーが直接本機に接続されていることを確認します。マルチカードリーダーやUSBハブを使用しないでください。
- お使いのUSBメモリーに複数のパーティションが作成されていると、プレイリストが正しく再生されないことがあります。パーティションをひとつにしてからプレイリストを保存してください。
- 解像度の異なるプロジェクターで同じプレイリストを再生しないでください。[エフェクト] 機能を使って追加された色や形の装飾が正しく再生されないことがあります。
 - ☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]

▶▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.132](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.176](#)

- 「動作メニュー」 [p.132](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ユーザー名を確認してください。(ユーザー名は変更できません。)
 - [ベーシックコントロール] にアクセスするときのユーザー名：**EPSONREMOTE**
 - その他の画面にアクセスするときのユーザー名：**EPSONWEB**
- インフラストラクチャーモードの場合、プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- お使いのWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control] 画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- [動作] メニューの [待機モード] が [通信オン] のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定メニュー」 [p.136](#)

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
- 接続機器が [接続機器一覧] に表示されているか確認します。HDMI CEC規格に準拠していない機器は [接続機器一覧] に表示されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。
 - ☛ [信号入出力] > [HDMIリンク] > [接続機器一覧]
- HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。

▶ 関連項目

- 「信号入出力メニュー」 [p.126](#)
- 「HDMIリンク機能」 [p.81](#)

付録

お使いの製品の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.179](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.180](#)
- 「対応解像度」 [p.181](#)
- 「本機仕様」 [p.182](#)
- 「外形寸法図」 [p.183](#)
- 「Epson Projector Content Managerの対応機能」 [p.184](#)
- 「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.185](#)
- 「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 [p.187](#)
- 「用語解説」 [p.189](#)
- 「一般のご注意」 [p.191](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2024年10月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- 「スクリーン」 [p.179](#)
- 「設置用金具」 [p.179](#)
- 「外付けオプション」 [p.179](#)
- 「消耗品」 [p.179](#)

スクリーン

100型超短焦点スクリーン **ELPSC35**

120型超短焦点スクリーン **ELPSC36**

壁などに取り付けるスクリーンです。(アスペクト比 16:9)

設置用金具

セッティングプレート **ELPMB75**

壁に取り付けるときに使います。

天吊金具 **ELPMB22**

薄型天吊金具 **ELPMB30**

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット **ELPWR01**

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ450 (450mm) **ELPFP13**

パイプ700 (700mm) **ELPFP14**

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

外付けオプション

Android TV™ 端末 **ELPAP12**

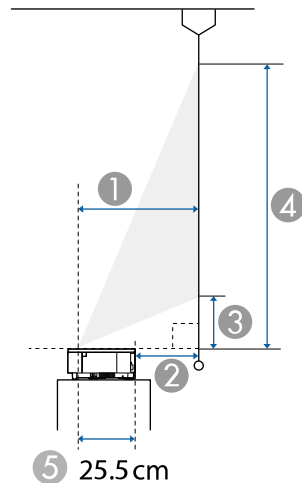
メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

消耗品

エアフィルター **ELPAF64**

使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



- ① 投写距離 (cm)
- ② 本機背面からスクリーンまでの長さ (cm)
- ③ 本機からスクリーン下端までの長さ (cm)
- ④ 本機からスクリーン上端までの長さ (cm)
- ⑤ レンズ中心から本機の背面までの長さ (cm)

16:9スクリーンサイズ		①	②	③	④
ワイド					
80型	177 × 100	27.8	2.3	10.8	110.4
90型	199 × 112	31.6	6	12.8	124.9
100型	221 × 125	35.3	9.8	14.9	139.4
110型	244 × 137	39	13.5	16.9	153.9
120型	266 × 149	42.8	17.3	19	168.4

16:9スクリーンサイズ		①	②	③	④
ワイド					
140型	310 × 174	50.3	24.7	23	197.4
160型	354 × 199	57.8	32.2	27.1	226.4

4:3スクリーンサイズ		①	②	③	④
ワイド					
66型	134 × 101	28.1	2.6	11	111.6
70型	142 × 107	29.9	4.4	12	118.7
80型	163 × 122	34.5	9	14.5	136.4
90型	183 × 137	39.1	13.6	17	154.1
100型	203 × 152	43.7	18.1	19.5	171.9
120型	244 × 183	52.8	27.3	24.4	207.3
130型	264 × 198	57.4	31.9	26.9	225.1

16:10スクリーンサイズ		①	②	③	④
ワイド					
74型	159 × 100	27.8	2.3	10.8	110.4
80型	172 × 108	30.2	4.7	12.1	119.8
90型	194 × 121	34.3	8.8	14.3	135.5
100型	215 × 135	38.3	12.8	16.5	151.2
110型	237 × 148	42.4	16.9	18.7	166.8
120型	259 × 162	46.4	20.9	21	182.5
130型	280 × 175	50.5	24.9	23.2	198.2
148型	319 × 199	57.8	32.2	27.1	226.4

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は『仕様一覧』をご覧ください。

商品名	EH-QS100B/EH-QS100W
外形サイズ	幅695×高さ145×奥行き341 mm (突起部を含まず)
液晶パネルサイズ	0.62型
表示方式	3LCD
有効画素数	Full HD (横1,920×縦1,080ドット) ×3
スクリーン解像度	4,147,200ピクセル*
フォーカス調整	手動
光源	レーザーダイオード
光源出力	最大126 W
波長	449 - 461 nm
レーザークラス(内部のレーザー光源)	クラス4
光源寿命**	最大約20,000時間
スピーカー	なし
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 4.0 - 1.8 A
消費電力(100-120Vエリア)	動作時：346 W
消費電力(220-240Vエリア)	動作時：333 W
待機時消費電力	通信オン：2.0 W 通信オフ：0.4 W
動作高度	標高 0～3048 m
動作温度範囲	標高0～2,286 m：0～+40°C (湿度20～80%、結露しないこと) 標高2,287～3,048 m：0～+35°C (湿度20～80%、結露しないこと)

保存温度範囲	-10～+60°C (湿度10～90%、結露しないこと)
質量	約12.0 kg

* ピクセルシフト技術により、4K相当の解像度を実現しています。

** 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。(大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2mg/m³の環境下での使用を想定しています。使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。)

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

傾斜角度

垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。

▶▶ 関連項目

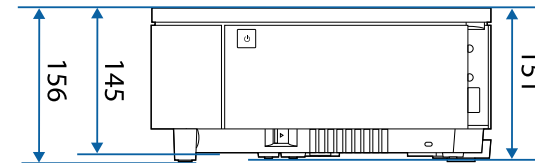
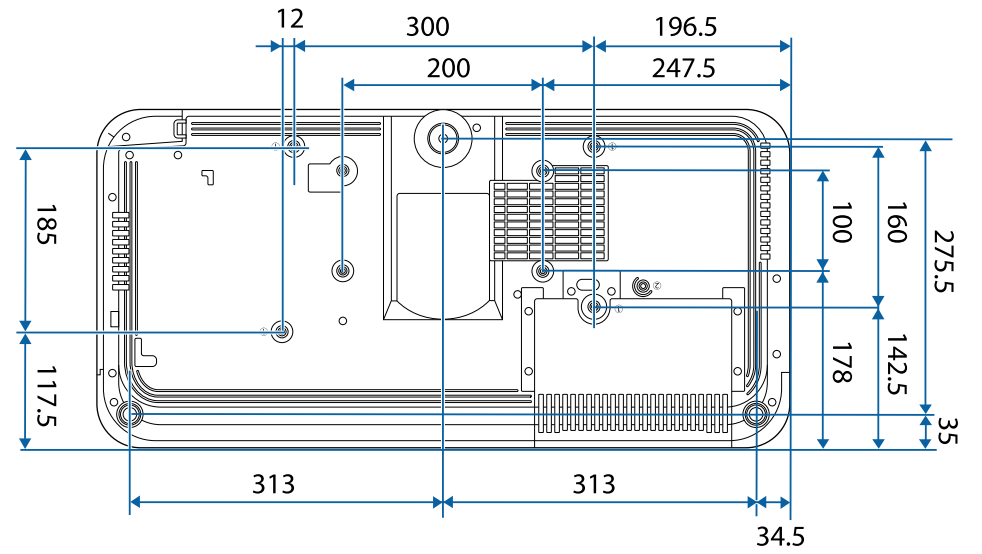
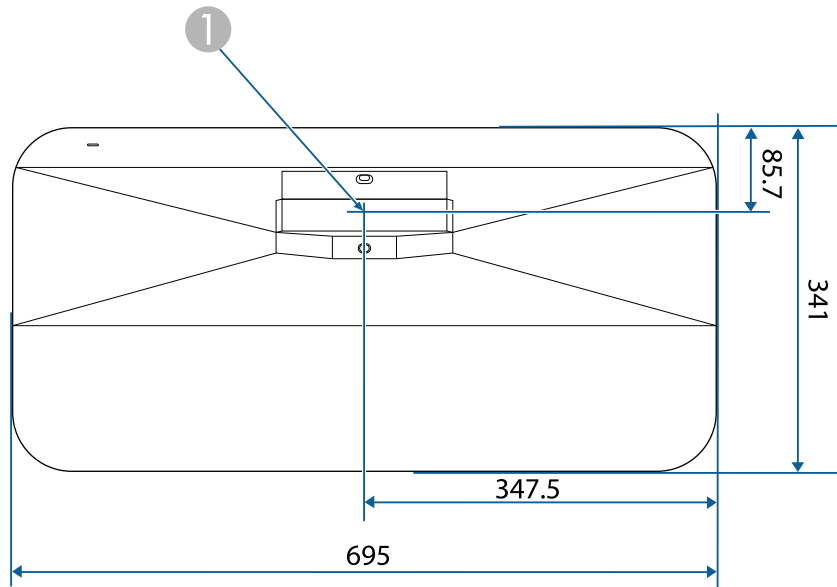
- 「接続端子」 p.182

接続端子

HDMI端子	2系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin (オス)
USB-A端子	2系統	USBコネクタ (Aタイプ)
USB-B端子	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)
LAN端子	1系統	RJ-45



- USB端子はUSB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。









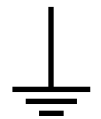

単位：mm

本機はEpson Projector Content Managerの以下の機能をサポートしています。

機能/設定項目		EH-QS100B/EH-QS100W
同期再生		-
ネットワーク経由でプロジェクターにプレイリストを保存する		✓
[設定] > [動画形式]	自動選択	✓
	AVI形式	✓
	MP4形式	✓

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No. 5172	クラスII機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスII機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いたはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IRなど） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
30		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本機はJIS C 6802:2014およびIEC60825-1に適合したクラス1レーザー製品です。

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

⚠ 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

- 使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

▶ 関連項目

- 「レーザー警告ラベル」 [p.187](#)

レーザー警告ラベル

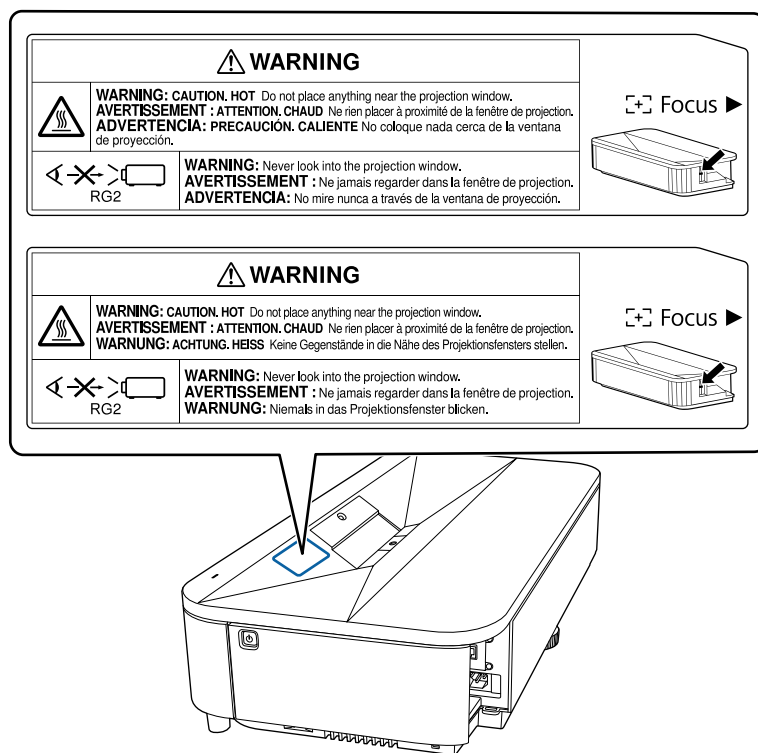
本機には以下のレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



上面

投写中は、光源から放射される光をのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)



⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞき込まないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効（ON）にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL： http://www.amx.com/
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といえます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といえます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
Full HD	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,080ドットのことを呼びます。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） 画面のアスペクト比は16:9
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。

リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク (サブネット) のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「使用限定について」 p.191
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 p.191
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 p.191
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 p.191
- 「表記について」 p.191
- 「商標について」 p.192
- 「ご注意」 p.192
- 「著作権について」 p.192

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- 日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- 電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にしてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 11 operating system

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 8.1」、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 10.13.x
- macOS 10.14.x
- macOS 10.15.x
- macOS 11.0.x

- macOS 12.0.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「macOS 10.13.x」、「macOS 10.14.x」、「macOS 10.15.x」、「macOS 11.0.x」、「macOS 12.0.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について


EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

MacおよびmacOSはApple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

ChromeはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Crestron[®]、Crestron Connected[®]、Crestron Fusion[®]、Crestron RoomView[®]、およびCrestron XiO Cloud[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2024 Seiko Epson Corporation

2025.2 414546501JA